

町民満足度調査 報告書

令和5年12月

厚岸町

問10 満足度・重要度の左右対称グラフについて、地区別の前回調査比較は平成30年度の資料がなかったため、平成29年度調査と比較しています。

調査の概要.....	1
1 調査の目的	1
2 調査対象	1
3 抽出方法	1
4 調査方法	1
5 調査時期	1
6 回収結果	1
7 数値等の基本的な取扱いについて	1
アンケート結果	2
あなたご自身のことについておたずねします。	2
厚岸町への愛着や定住意向などについておたずねします。	6
厚岸町の現状と今後の取組についておたずねします。	15
新型コロナウイルス感染症について	22
情報通信機器の利用状況と町のデジタル化について	46
SDGsについて	52
厚岸町の行政に望むことや自由意見についておたずねします。	53

調査の概要

1 調査の目的

現在、厚岸町では令和2年度からの10年間を計画期間とする『第6期厚岸町総合計画』に沿ってまちづくりを進めていますが、計画策定から3年が経過し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大など、計画策定時には想定していなかった社会情勢の変化が生じており、計画の推進に大きな影響を与えています。

こうした状況の中、総合計画に掲げた『めざすまちの姿』を確実に実現させるためには、厚岸町を取り巻く状況変化を踏まえた、新たな「まちづくりの指針」を定める必要があることから、『第6期厚岸町総合計画』の見直しに向けた取組を進めています。

この調査は、厚岸町のまちづくりに関する町民の皆様のご意見をお伺いし、計画づくりに生かすことを目的としています。

2 調査対象

厚岸町内にお住まいの15歳以上の方（中学生を除く。）

3 抽出方法

無作為抽出

4 調査方法

郵送による調査票の配布・回収（WEBによる回答を併用）

5 調査時期

令和5年7月

6 回収結果

配布数 3,000

回収数 788

回収率 26.3%

7 数値等の基本的な取扱いについて

・比率は全て百分率（%）で表し、少数点以下第2位を四捨五入して算出しています。したがって、合計が100%を上下する場合があります。

・基数となるべき実数は“n=〇〇〇”として掲載し、各比率はnを100%として算出しています。（回答者総数又は該当者数）

・複数回答については、ひとりの回答者が2つ以上の回答を出してもよい設問であるため、合計比率は100%を超える場合があります。

・文中、グラフ中の選択肢の文言は、作図の都合上、簡略化している場合があります。

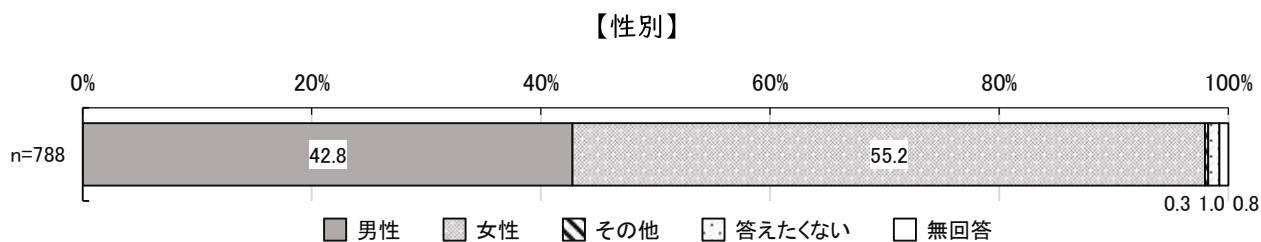
・本文中の“「」”内は[アンケートの回答項目]、“『』”内は[アンケートの回答項目を複数あわせて表示したもの]となります。

アンケート結果

あなたご自身のことについておたずねします。

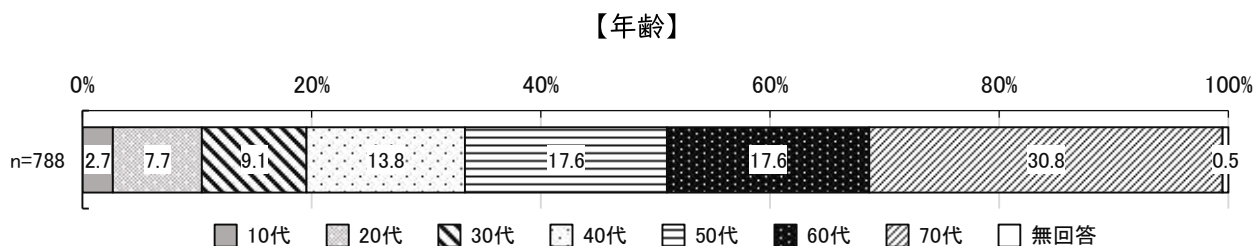
問1 性別をお知らせください。(1つに○印)

性別については、「男性」が42.8%、「女性」が55.2%となっています。



問2 年齢をお知らせください。(1つに○印)

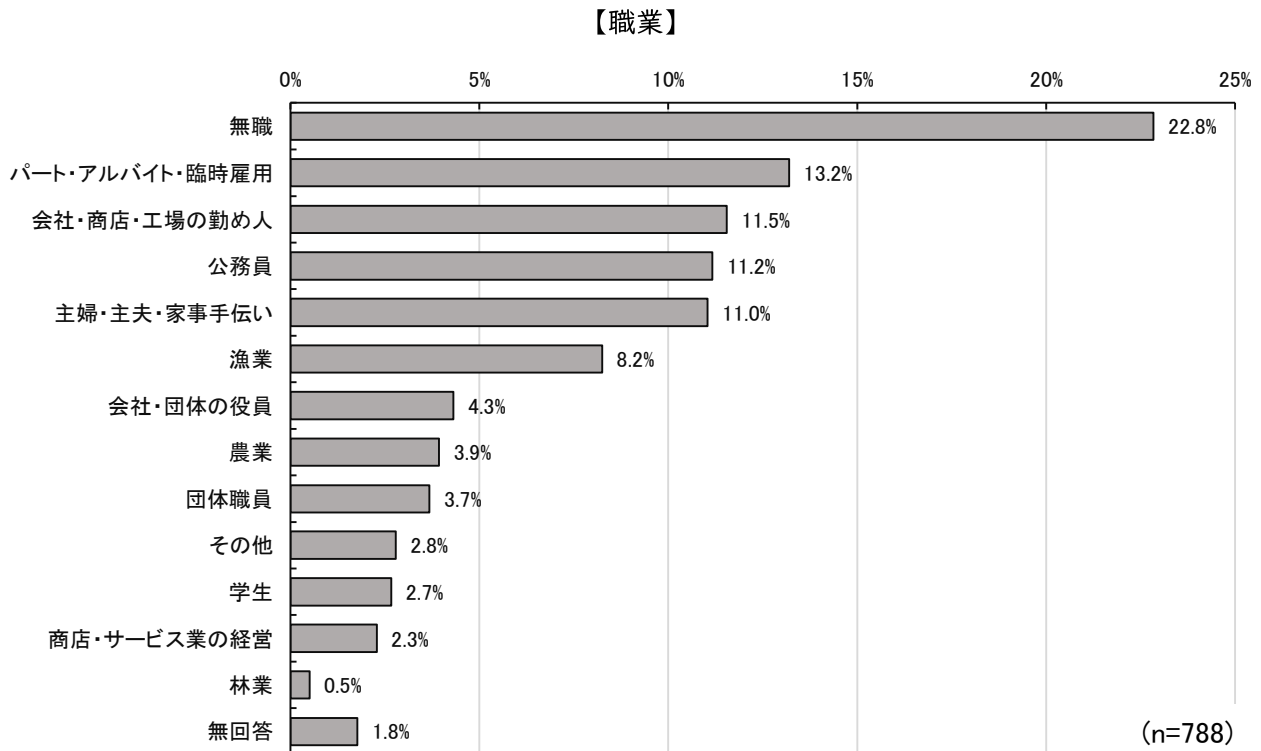
年齢については、「70代」が30.8%と最も高く、次いで「50代」「60代」(それぞれ17.6%)、「40代」(13.8%)、「30代」(9.1%)、「20代」(7.7%)、「10代」(2.7%)の順となっています。



問3

あなたの職業をお知らせください。(1つに○印、職業を複数お持ちの方は、主な職業を1つお選びください)

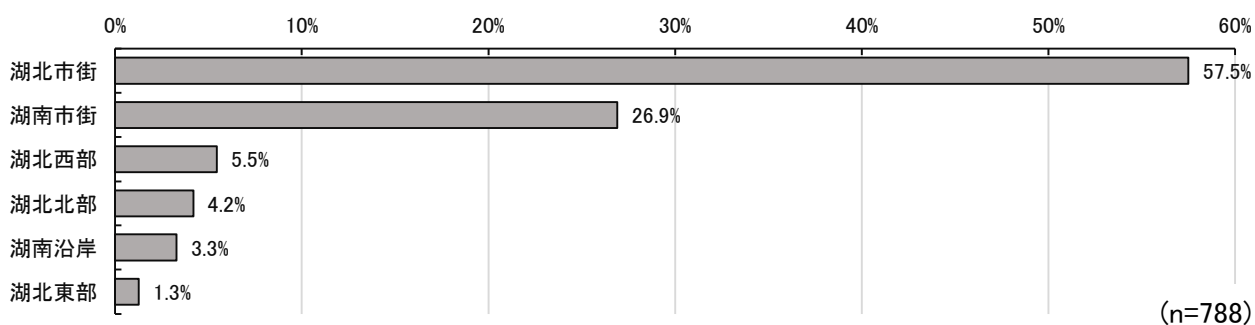
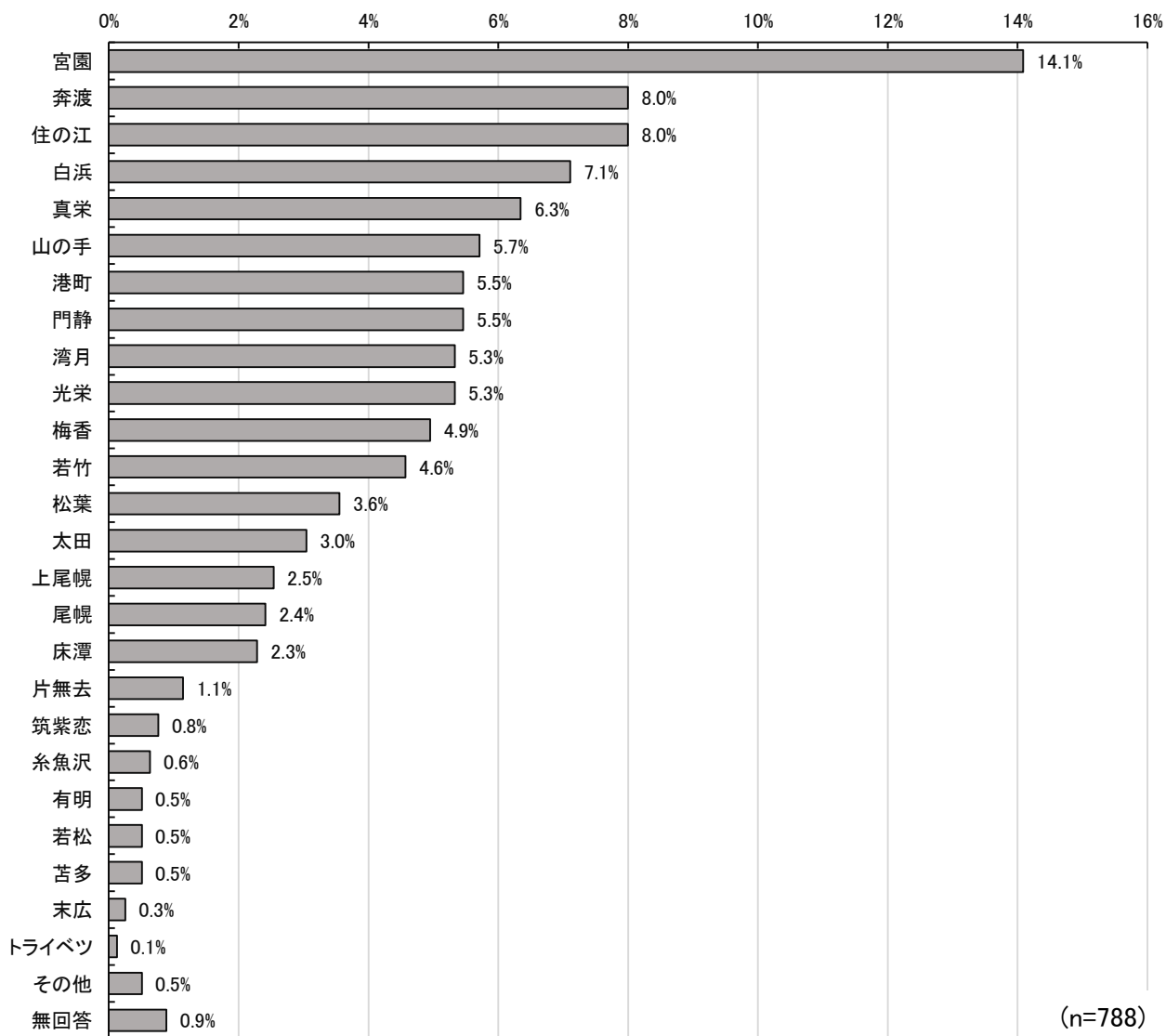
職業については、「無職」が22.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト・臨時雇用」(13.2%)、「会社・商店・工場の勤め人」(11.5%)、「公務員」(11.2%)、「主婦・主夫・家事手伝い」(11.0%)等の順となっています。



問4 現在のお住まいをお知らせください。(1つに○印)

現在のお住まいについては、「宮園」が14.1%と最も高く、次いで「奔渡」「住の江」(それぞれ8.0%)、「白浜」(7.1%)、「真栄」(6.3%)等の順となっています。

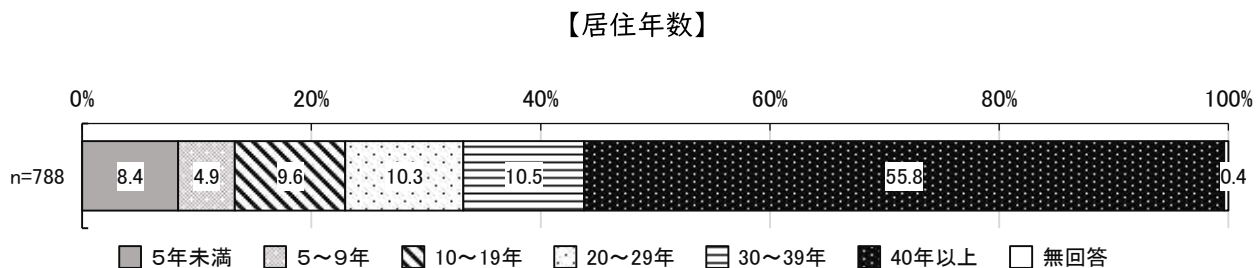
【居住地区】



湖南市街(湾月、有明、若竹、松葉、梅香、奔渡)、湖南沿岸(筑紫恋、床潭、末広)、湖南市街(港町、真栄、宮園、白浜、住の江、山の手、門静、光栄)、湖北北部(太田、片無去)、湖北東部(糸魚沢、若松、トライベツ)、湖北西部(尾幌、上尾幌、苫田)

問5 厚岸町での居住年数をお知らせください。(1つに○印)

厚岸での居住年数については、「40年以上」が55.8%と最も高く、次いで「30～39年」(10.5%)、「20～29年」(10.3%)、「10～19年」(9.6%)、「5年未満」(8.4%)、「5～9年」(4.9%)の順となっています。



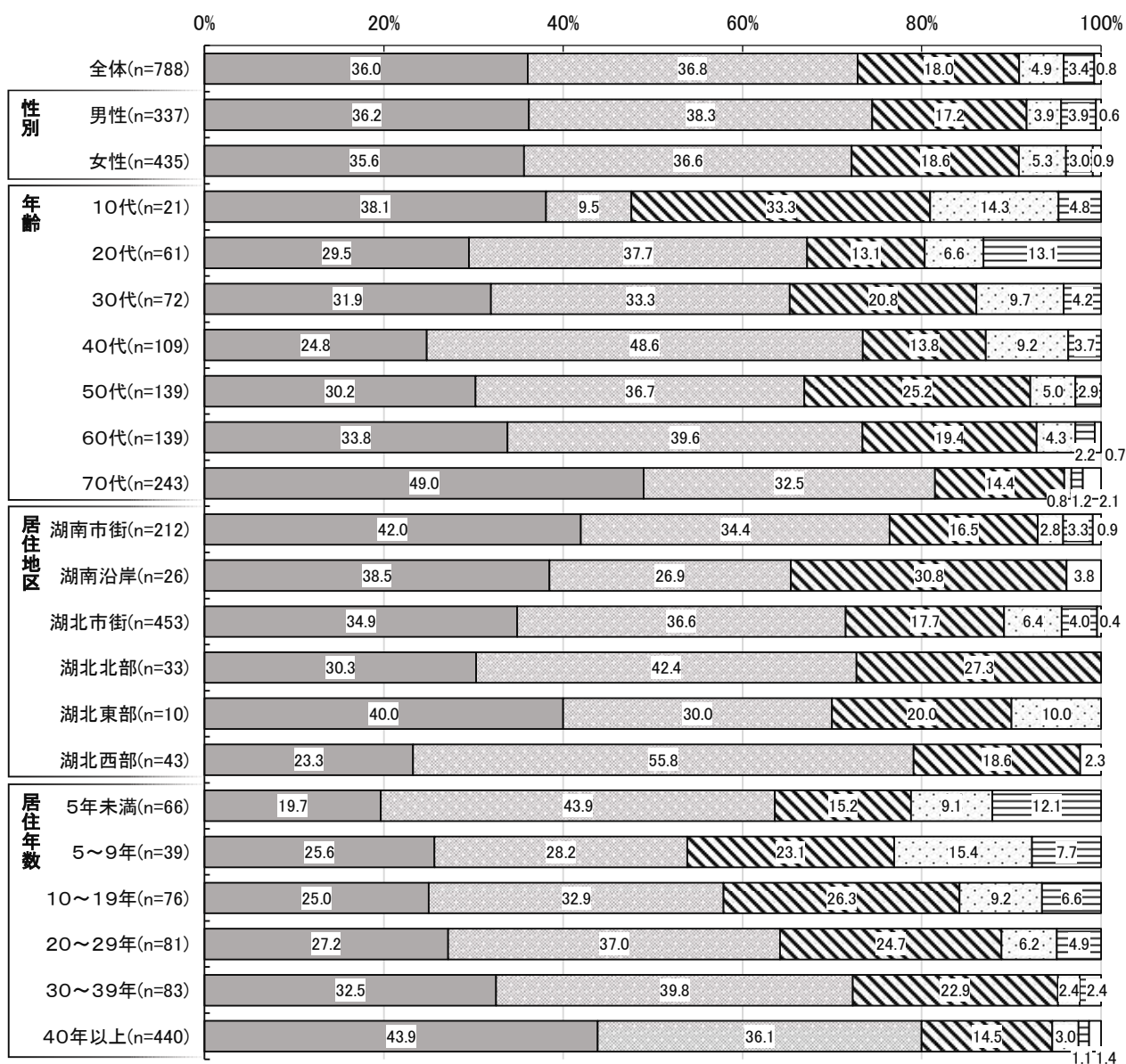
厚岸町への愛着や定住意向などについておたずねします。

問6 あなたは、厚岸町に愛着をどの程度かんじていますか。(1つに○印)

厚岸町にどの程度愛着を感じているかについては、「どちらかといえば感じている」が36.8%と最も高く、次いで「感じている」(36.0%)、「どちらともいえない」(18.0%)、「どちらかといえば感じていない」(4.9%)、「感じていない」(3.4%)の順となっています。

属性別にみると、性別ではあまり大きな差はみられませんでした。年齢別では、「どちらかといえば感じている」では、10代が9.5%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区別では、「感じている」では、湖北西部が23.3%で他の地区に比べて割合が低くなっています。居住年数別では、「感じている」では、5年未満が19.7%で、他の居住年数に比べて割合が低く、居住年数が長くなるにつれ、割合が高くなっています。

【厚岸町の愛着度】



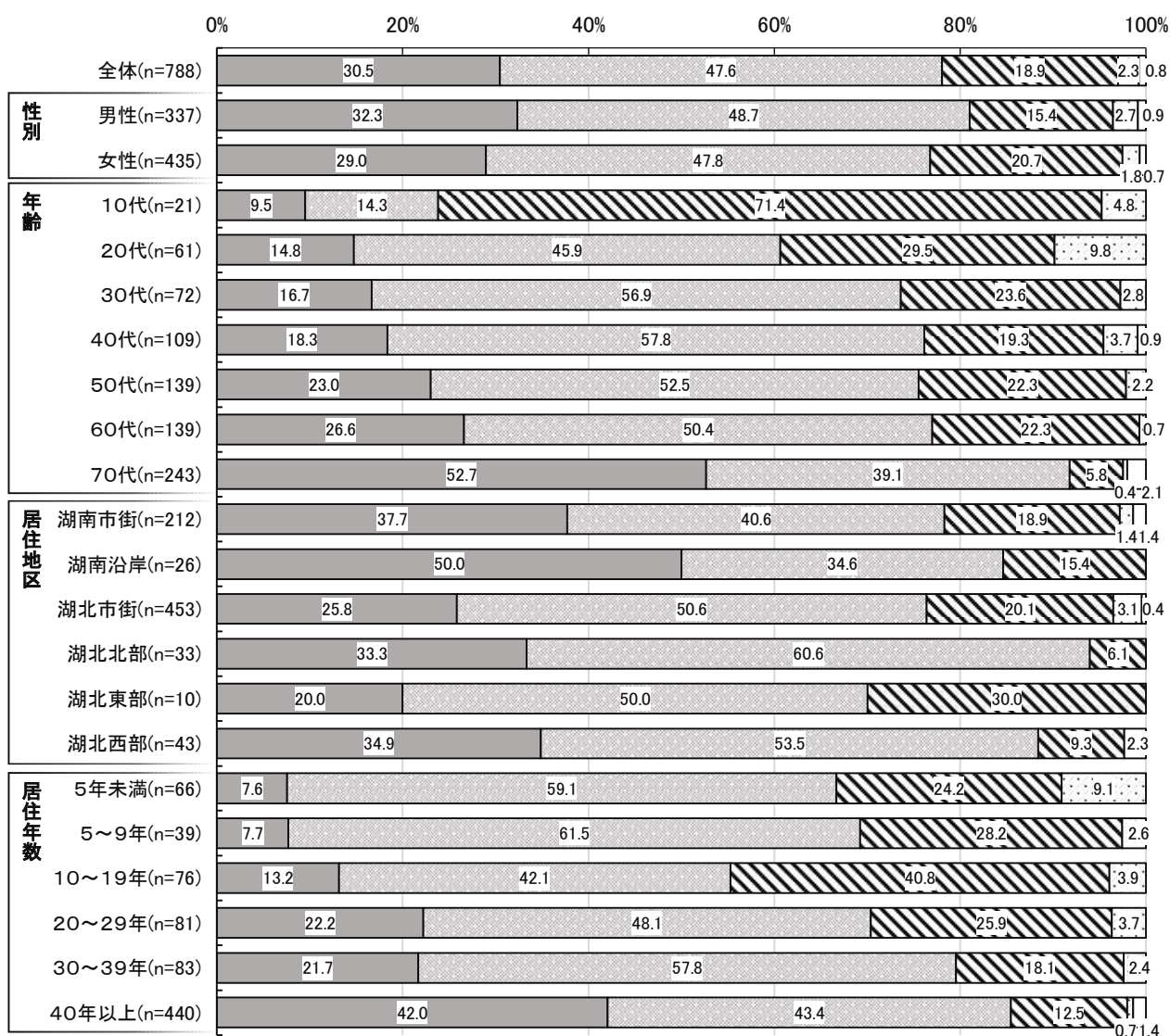
☒ 感じている
 ☒ どちらかといえば感じている
 ☒ どちらともいえない
☐ どちらかといえば感じていない
 ☐ 感じていない
 ☐ 無回答

問7 あなたは、これからも厚岸町に住み続けたいと思いますか。(1つに○印)

定住意向については、「できれば住み続けたい」が47.6%と最も高く、次いで「ずっと住み続けたい」(30.5%)、「できれば転出したい」(18.9%)、「すぐにでも転出したい」(2.3%)の順となっています。

属性別にみると、性別では、「できれば転出したい」では、女性が20.7%で男性よりも割合がやや高くなっています。年齢別では、「できれば転出したい」では、10代が71.4%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、「ずっと住み続けたい」では、湖南沿岸が50.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。居住年数別では、「ずっと住み続けたい」では、5年未満が7.6%で、居住年数が長くなるにつれ、割合が高くなっています。

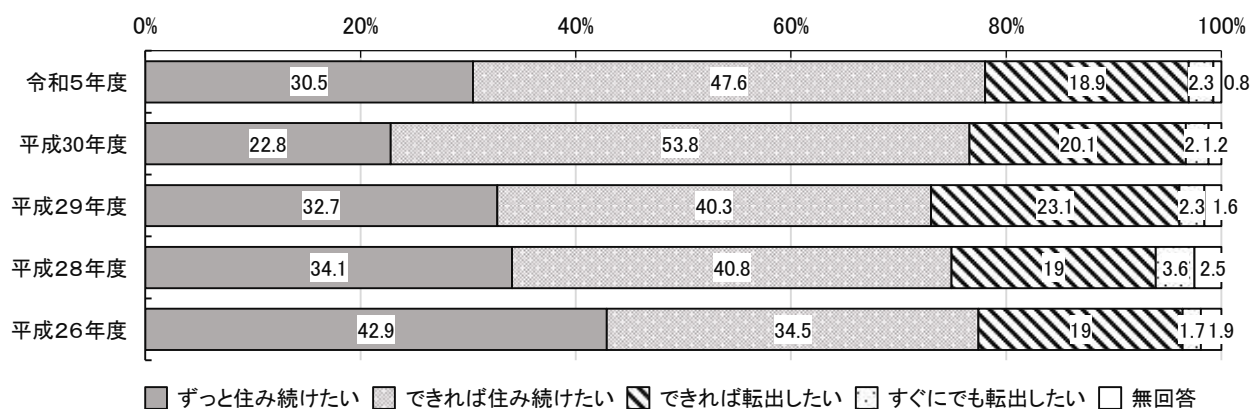
【定住意向】



☐ ずっと住み続けたい
 ☐ できれば住み続けたい
 ☒ できれば転出したい
 ☐ すぐにでも転出したい
 ☐ 無回答

前回調査と比べると、令和5年度調査では、「できれば住み続けたい」が47.6%で前回調査に比べると割合が高くなっています。

【前回調査との比較】



問8

問7で「1.」または「2.」に○をつけた方にうかがいます。

上記の理由はなんですか。(○印は2つまで)

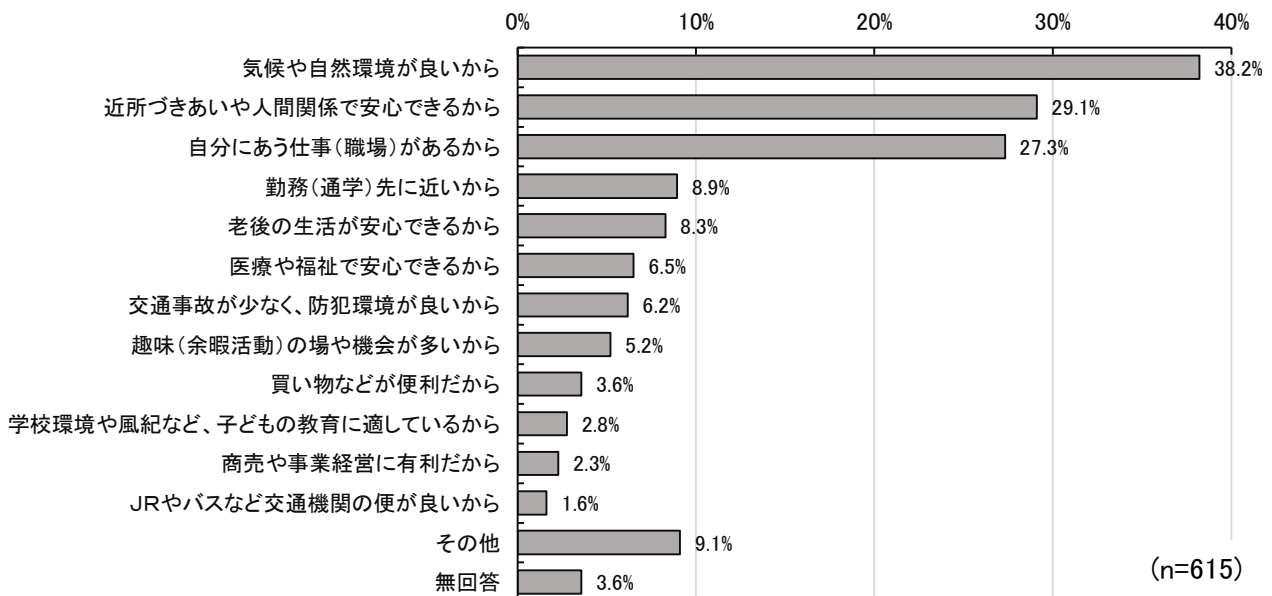
厚岸町に住み続けたい理由については、「気候や自然環境が良いから」が38.2%と最も高く、次いで「近所づきあいや人間関係で安心できるから」(29.1%)、「自分にあう仕事(職場)があるから」(27.3%)、「勤務(通学)先に近いから」(8.9%)等の順となっています。

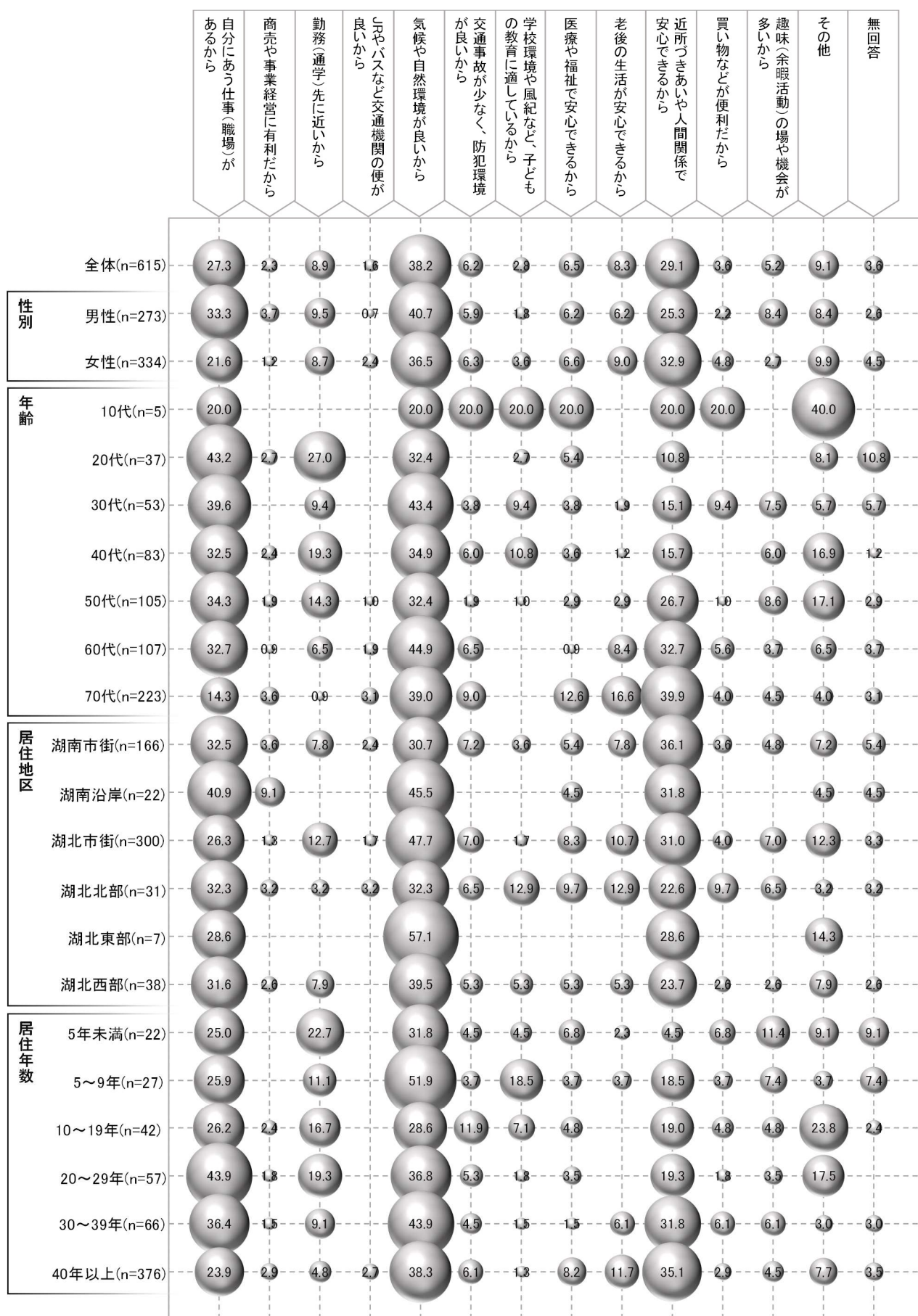
属性別にみると、性別では、「自分にあう仕事(職場)があるから」では、男性が33.3%で女性よりも割合が高くなっています。年齢別では、「勤務(通学)先に近いから」では、20代が27.0%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、「気候や自然環境が良いから」では、湖北東部が57.1%で他の地区に比べて割合が高くなっています。居住年数別では、「気候や自然環境が良いから」では、5～9年が51.9%で他の居住年数に比べて割合が高くなっています。

[その他]

住宅があるから/家族と健康で暮らせる限りは、住み続けたい/生まれ育ったところだから/今は他に住みたいところがないから/お祭りがあり、生まれ育ったまちだから/夏祭りが好きだから/適度に田舎だから/親に近い場所である。なにかあったときのため/なんとなく/子どもの希望/夫の職場があるから/釧路市に近い/厚岸以外行き場所がない/厚岸町には明るいビジョンがない/先祖が住んでいたから/事業経営しているので/厚岸から出ることは考えられない/住み慣れているから/厚岸が好きだから/夫婦が広域の勤務地なので、中間地点に住める町があって良かったです

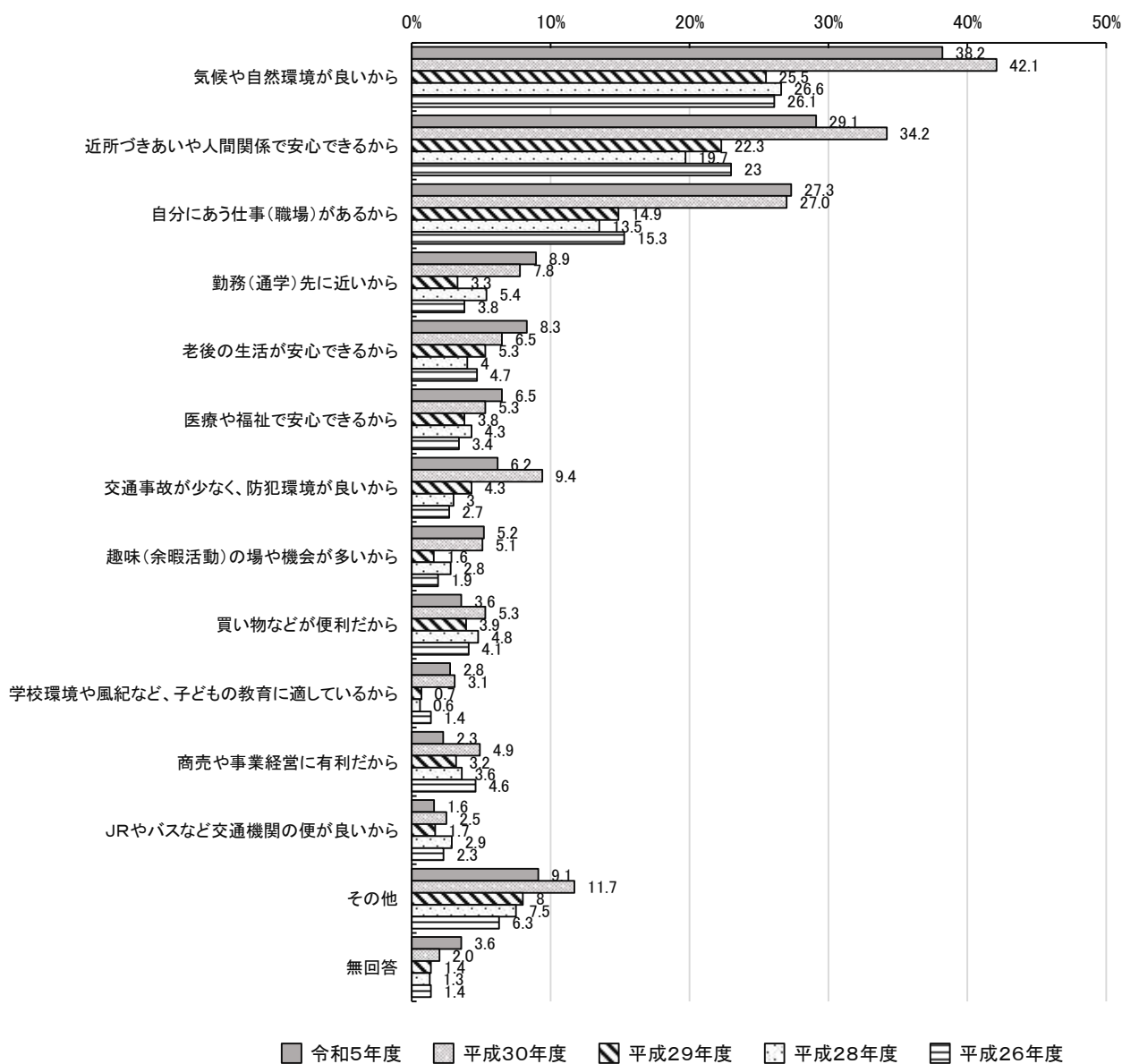
【厚岸町に住み続けたい理由】





前回調査と比べると、厚岸町に住み続けたい理由については、「気候や自然環境が良いから」では、令和5年度調査が38.2%で、平成30年度調査よりも3.9ポイント低くなっています。

【前回調査との比較】



問9

問7で「3.」または「4.」に○をつけた方にうかがいます。

上記の理由はなんですか。(○印は2つまで)

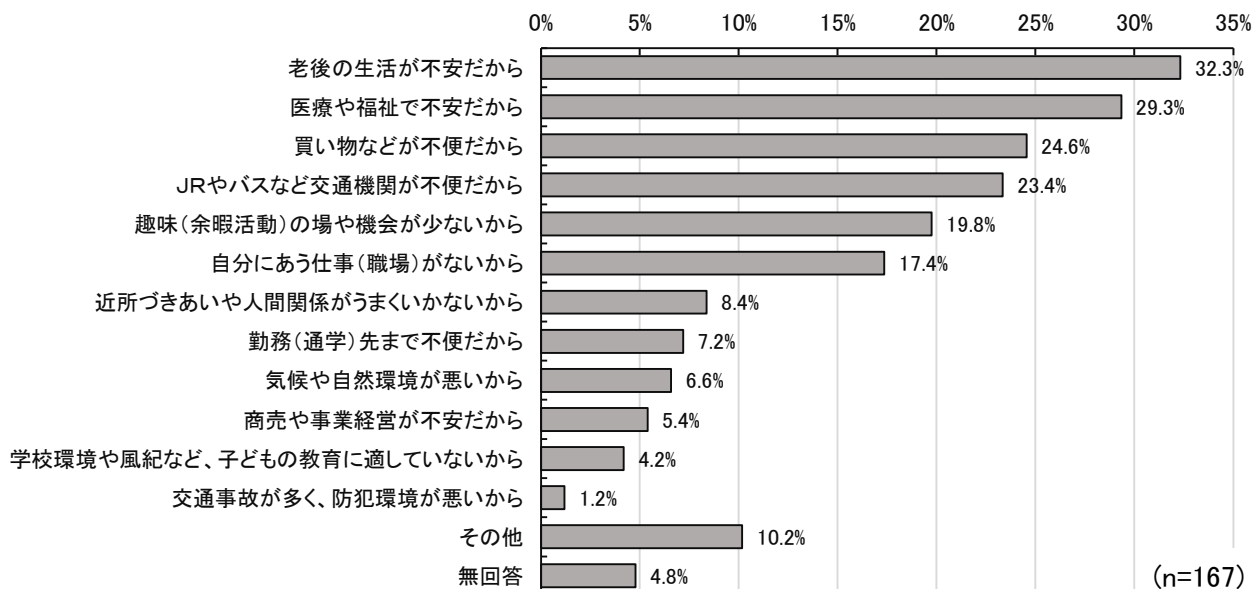
厚岸町から転出したい理由については、「老後の生活が不安だから」が32.3%と最も高く、次いで「医療や福祉で不安だから」(29.3%)、「買い物などが不便だから」(24.6%)、「JR やバスなど交通機関が不便だから」(23.4%)等の順となっています。

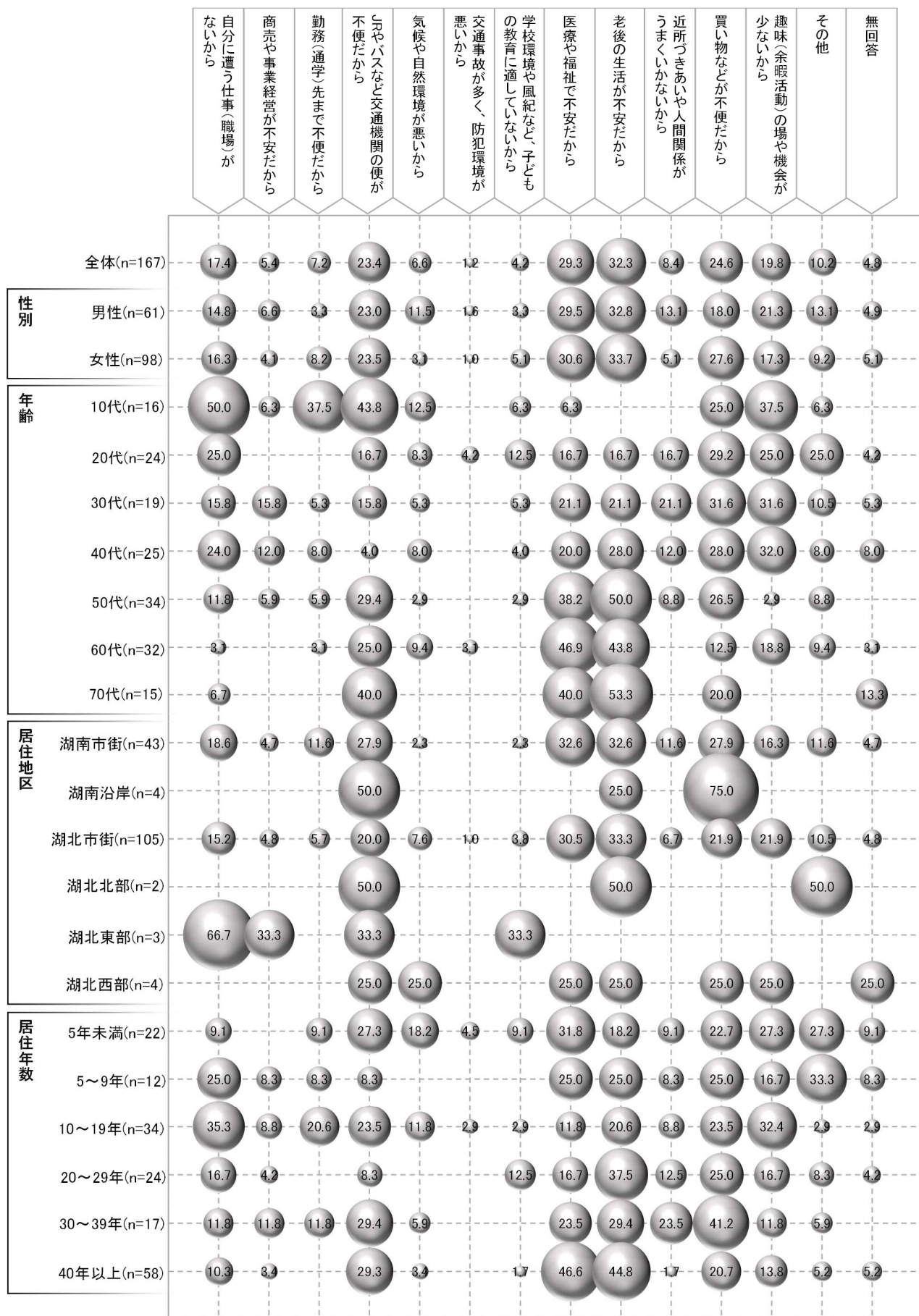
属性別にみると、性別では、「近所づきあいや人間関係がうまくいかないから」では、男性が13.1%で女性よりもやや割合が高くなっています。年齢別では、「JR やバスなど交通機関の便が不便だから」では、40代が4.0%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区別では、「買い物などが不便だから」では、湖南沿岸が75.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。居住年数別では、「買い物などが不便だから」では、30～39年が41.2%で他の居住年数に比べて割合が高くなっています。

[その他]

家族(子ども)が札幌に住んでいるため、近い間に札幌へ住むと思います/職業上転勤を伴うため/地元に帰ることを検討している/温泉、サウナがない/厚岸町に未来を感じない/単身赴任のため/地震と津波が怖いから/介護保険料が高額すぎる。年金がなくなる/他の地域でも暮らしたいから/除雪が悪い、自衛隊の大砲がうるさい、ヘリコプターもうるさい/そもそも若い人が定住する魅力が一つもないです。観光地として数時間滞在するには良い町かもしれませんね/他の市町村に自宅があるため/親の介護/地理的に不便だから/海の事ばかり大切にして子供の事、それ以外の仕事がおそろしくずぶずぶ感がハンパない

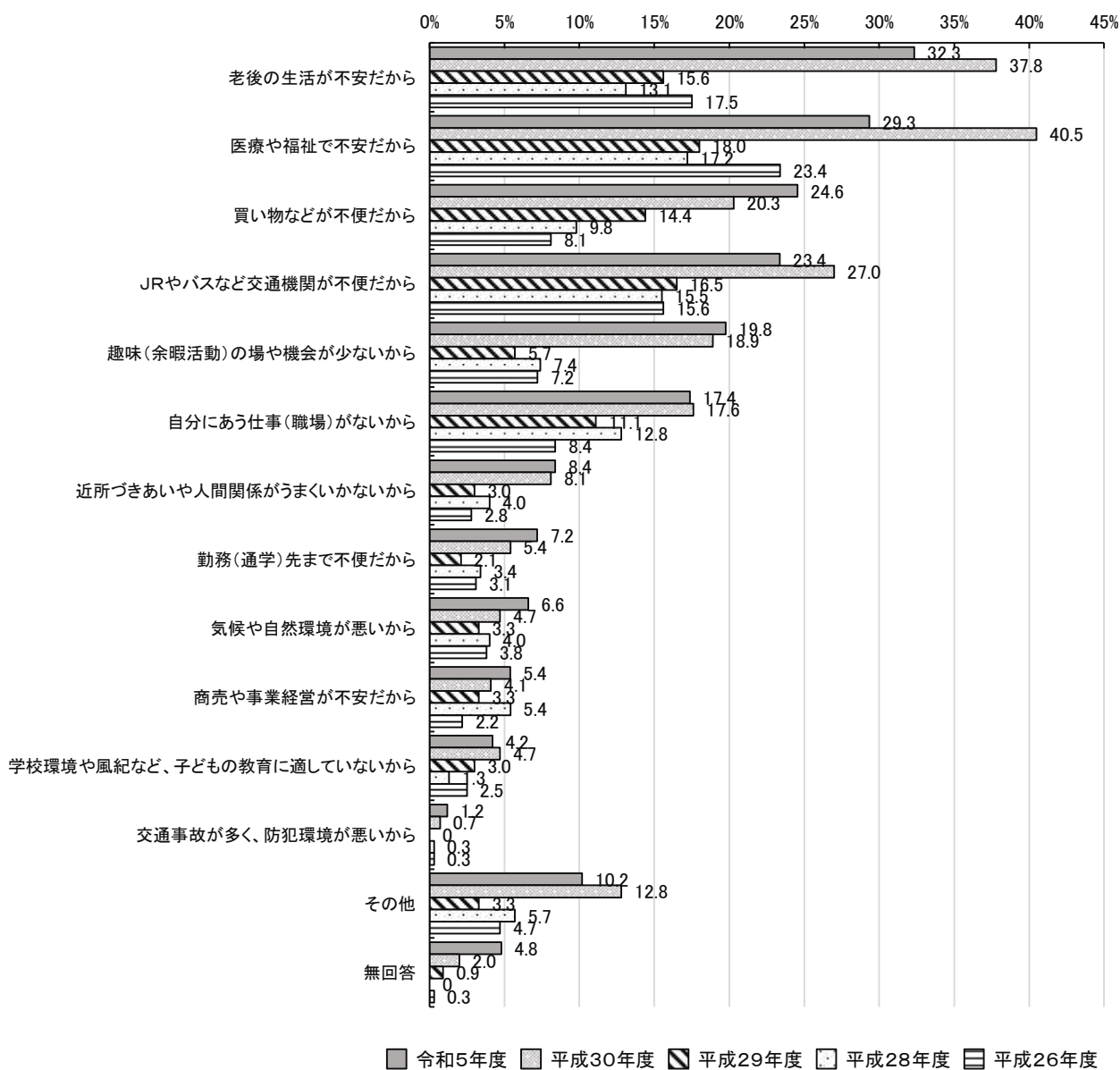
【厚岸町から転出したい理由】





前回調査と比べると、厚岸町から転出したい理由については、「医療や福祉で不安だから」では、令和5年度調査が29.3%で、平成30年度調査よりも11.2ポイント低くなっています。

【前回調査との比較】



厚岸町の現状と今後の取組についておたずねします。

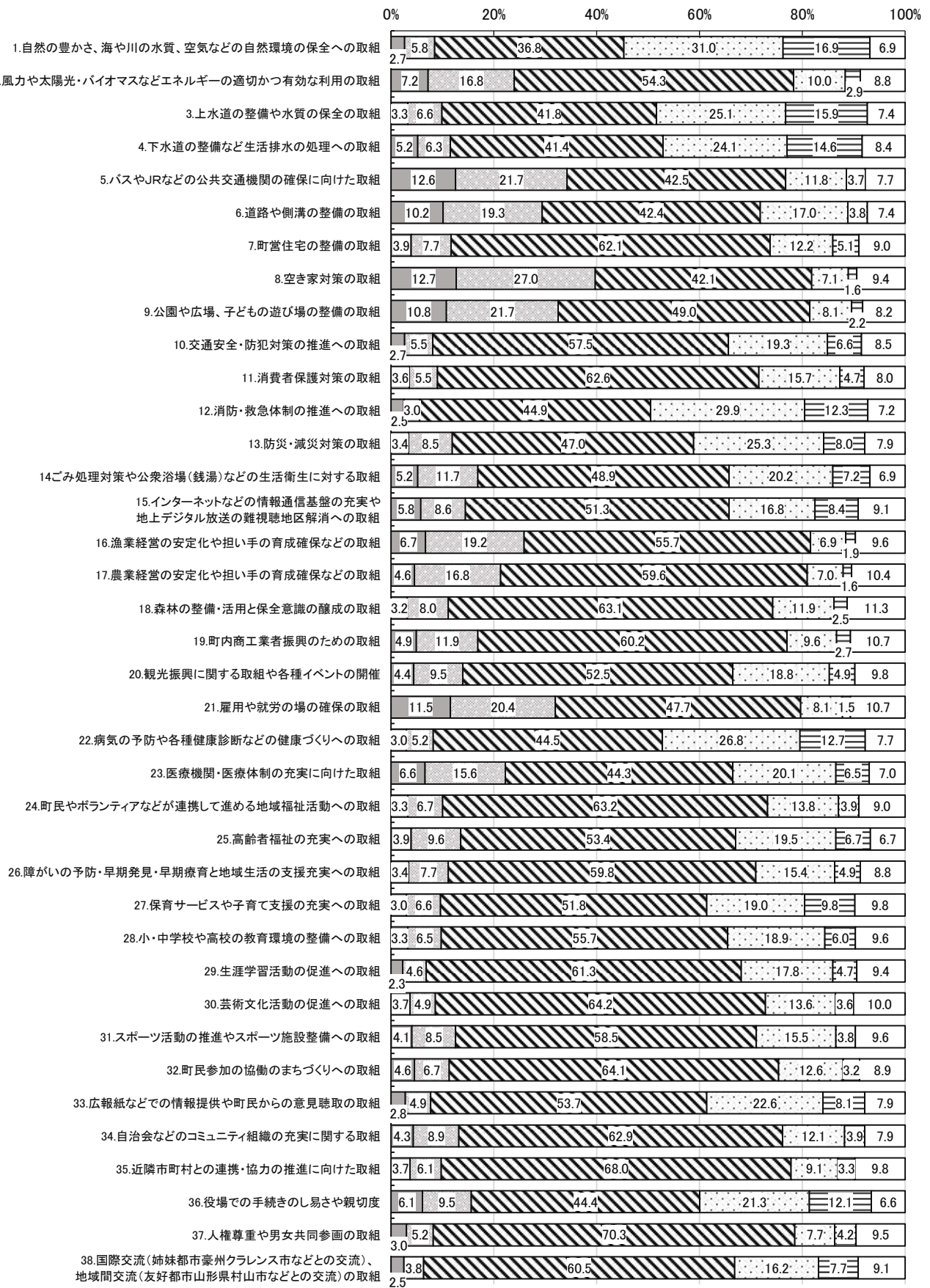
問10 厚岸町の取組について①満足度(どのくらい満足しているか)、②重要度(どのくらい重要だと思うか)を分野ごとにおたずねします。あなたは、下記のそれぞれの項目に対する厚岸町の取組についてどのようにお考えですか、現状の満足度と今後の重要度をお答えください。(○はそれぞれ1つ)

満足度

満足度については、「満足している」と「まあ満足である」を合わせた『厚岸の取組に満足』は「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が47.9%と最も高く、次いで「12. 消防・救急体制の推進への取組」(42.2%)、「3. 上水道の整備や水質の保全の取組」(41.0%)、「22. 病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組」(39.5%)等の順となっています。

また、「満足していない」と「あまり満足していない」を合わせた『厚岸の取組に満足していない』は「8. 空き家対策の取組」が39.7%と最も高く、次いで「5. バスや JR などの公共交通機関の確保に向けた取組」(34.3%)、「9. 公園や広場、子どもの遊び場の整備の取組」(32.5%)、「21. 雇用や就労の場の確保の取組」(31.9%)等の順となっています。

【満足度】



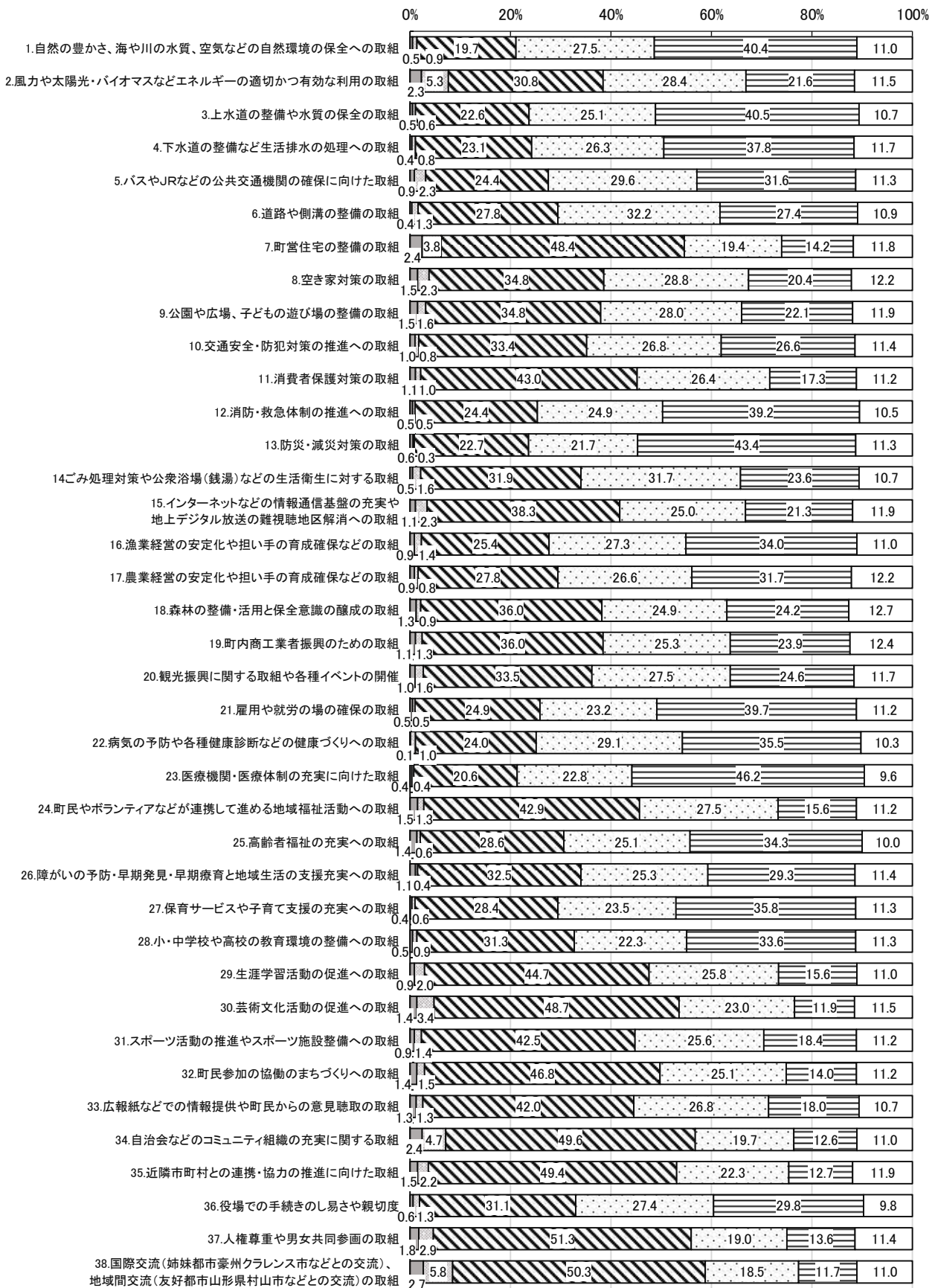
☐ 満足していない
 ☐ あまり満足していない
 ☒ 普通
 ☐ まあ満足である
 ☐ 満足している
 ☐ 無回答

重要度

重要度については、「重要である」と「まあ重要である」を合わせた『厚岸の取組に期待』は、「23. 医療機関・医療体制の充実に向けた取組」が69.0%と最も高く、次いで「3. 上水道の整備や水質の保全の取組」(65.6%)、「13. 防災・減災対策の取組」(65.1%)、「22. 病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組」(64.6%)等の順となっています。

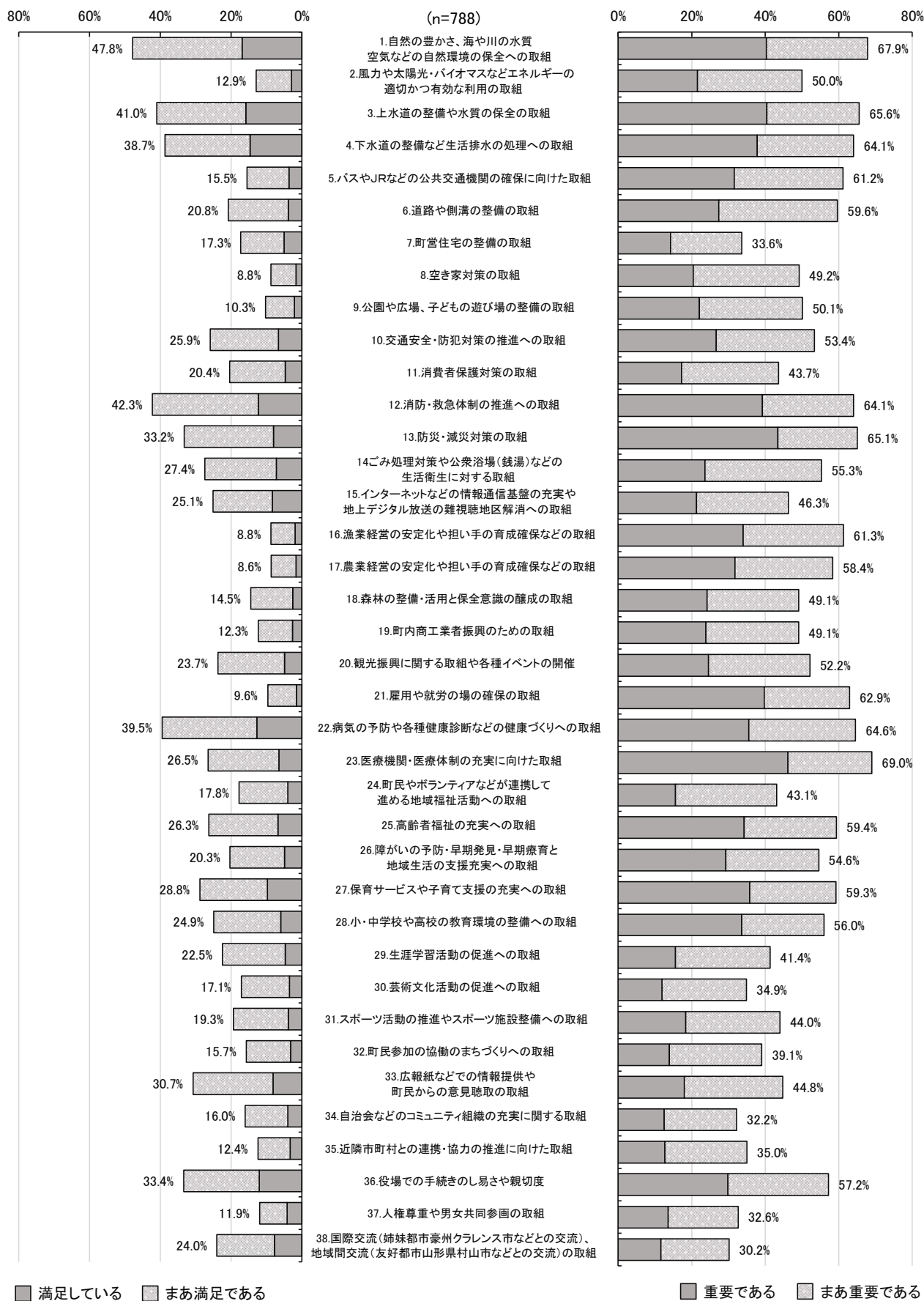
また、「重要ではない」と「あまり重要ではない」を合わせた『厚岸の取組に期待しない』は、「38. 国際交流（姉妹都市豪州クラレンス市などとの交流）、地域間交流（友好都市山形県村山市などとの交流）の取組」が8.5%と最も高く、次いで「2. 風力や太陽光・バイオマスなどエネルギーの適切かつ有効な利用の取組」(7.6%)、「34. 自治会などのコミュニティ組織の充実に関する取組」(7.1%)、「7. 町営住宅の整備の取組」(6.2%)等の順となっています。

【重要度】



☐ 重要ではない
 ☐ あまり重要ではない
 ☐ 普通
 ☐ まあ重要である
 ☐ 重要である
 ☐ 無回答

以下は、地域別の満足度（満足している+まあ満足である）と重要度（重要である+まあ重要である）を左右のグラフで比較しています。



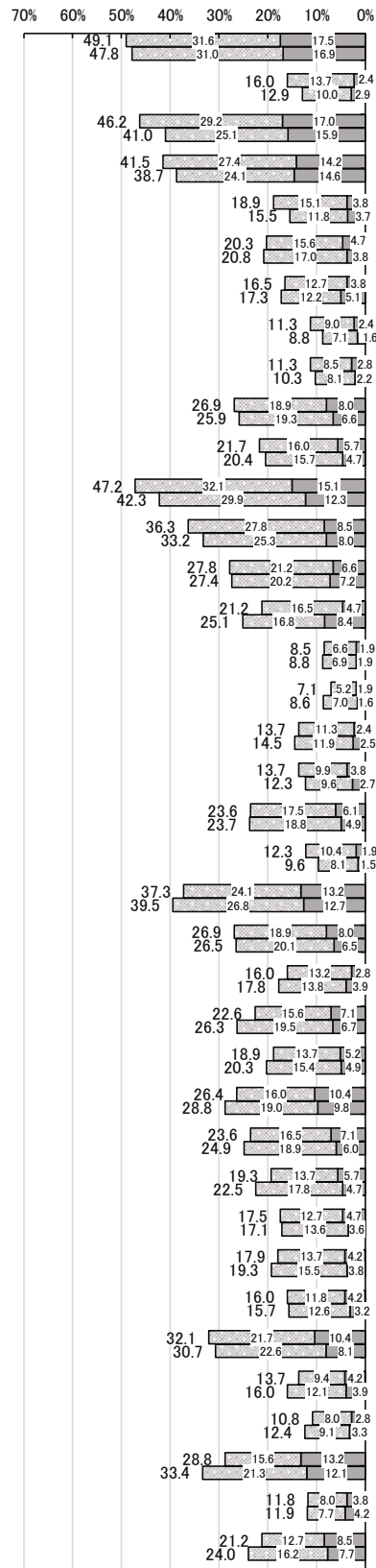
湖南市街

満足度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が49.1%と最も高く、次いで「12. 消防・救急体制の推進への取組」(47.2%)、「3. 上水道の整備や水質の保全の取組」(46.2%)、「4. 下水道の整備など生活排水の処理への取組」(41.5%)等の順となっています。全体と比べると、「3上水道の整備や水質の保全の取組」が全体よりも5.2ポイント高くなっています。

重要度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」「23. 医療機関・医療体制の充実に向けた取組」がそれぞれ66.5%と最も高く、次いで「16. 漁業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組」「21. 雇用や就労の場の確保の取組」(それぞれ64.6%)、「4. 下水道の整備など生活排水の処理への取組」(64.2%)等の順となっています。全体と比べると、「2. 風力や太陽光・バイオマスなどエネルギーの適切かつ有効な利用の取組」が全体よりも7.1ポイント低くなっています。

前回調査と比べると、満足度では、「36. 役場での手続きのし易さや親切度」では、令和5年度調査が28.8%で平成29年度調査よりも11.1ポイント低くなっています。重要度では、「2. 風力や太陽光・バイオマスなどエネルギーの適切かつ有効な利用の取組」では、令和5年度調査が42.9%で平成29年度調査よりも19.6ポイント低くなっています。

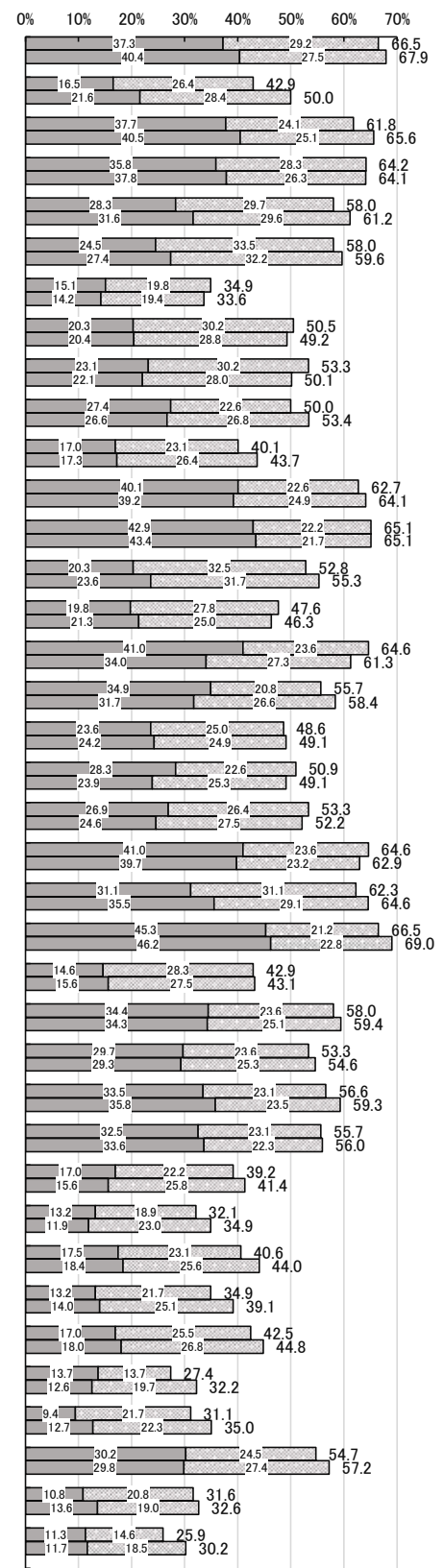
満足度(満足している+まあ満足である)



■ 満足している ■ まあ満足である

上段: 湖南市街 下段全体

重要度(重要である+まあ重要である)

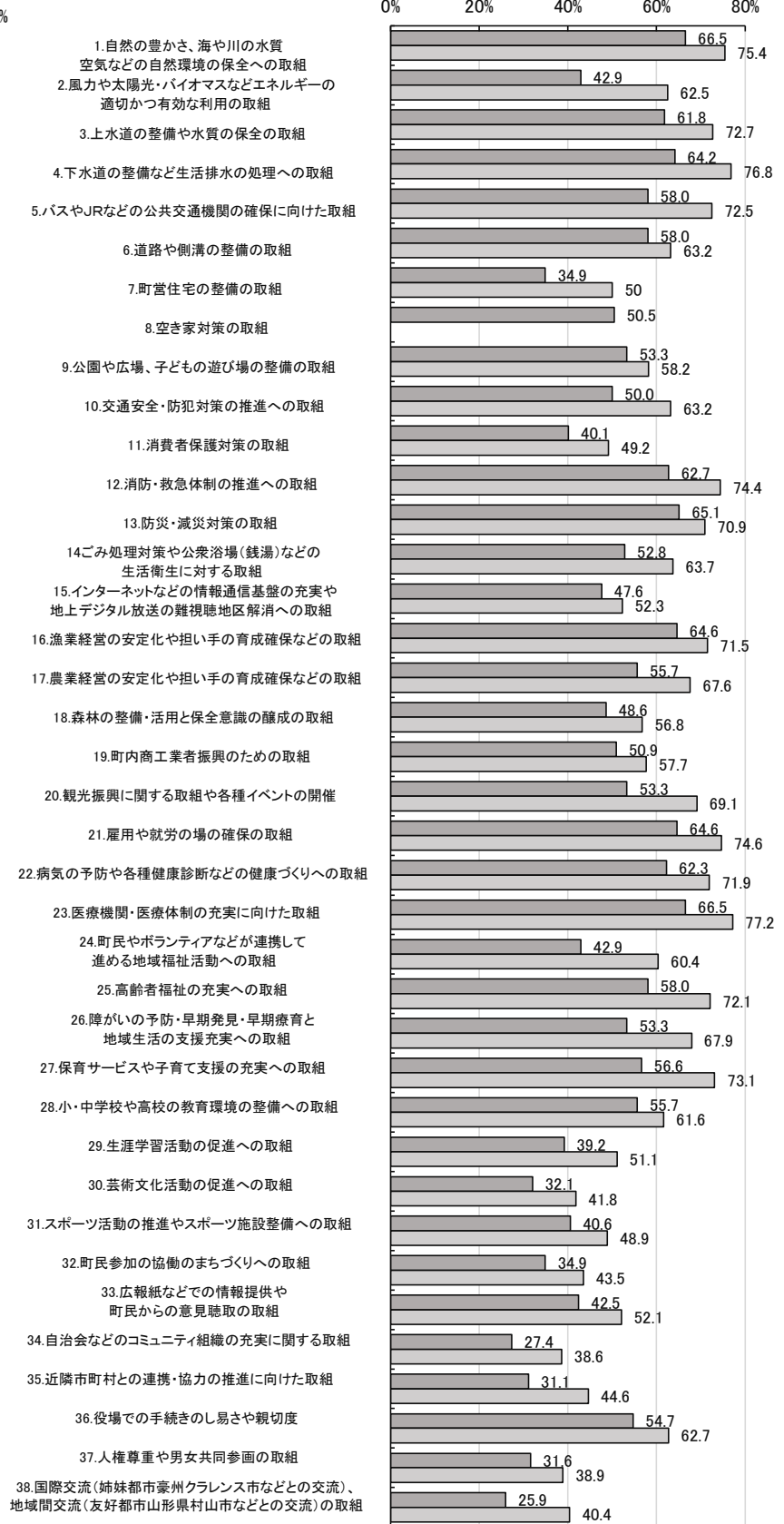
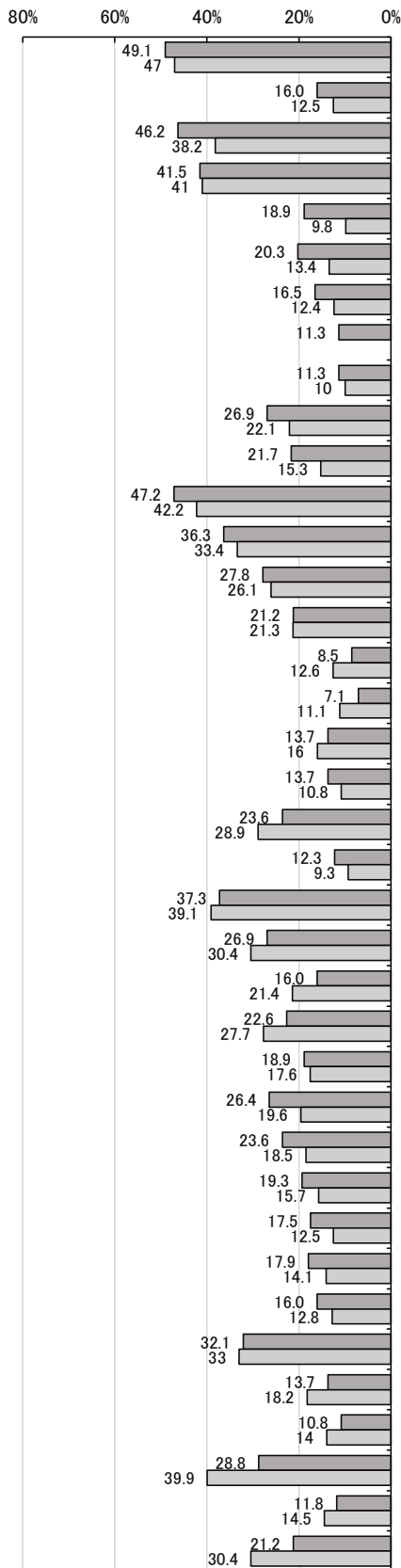


■ 重要である ■ まあ重要である

上段: 湖南市街 下段全体

満足度(満足している+まあ満足である)

重要度(重要である+まあ重要である)



令和5年度(n=212) 平成29年度(n=213)

令和5年度(n=212) 平成29年度(n=213)

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

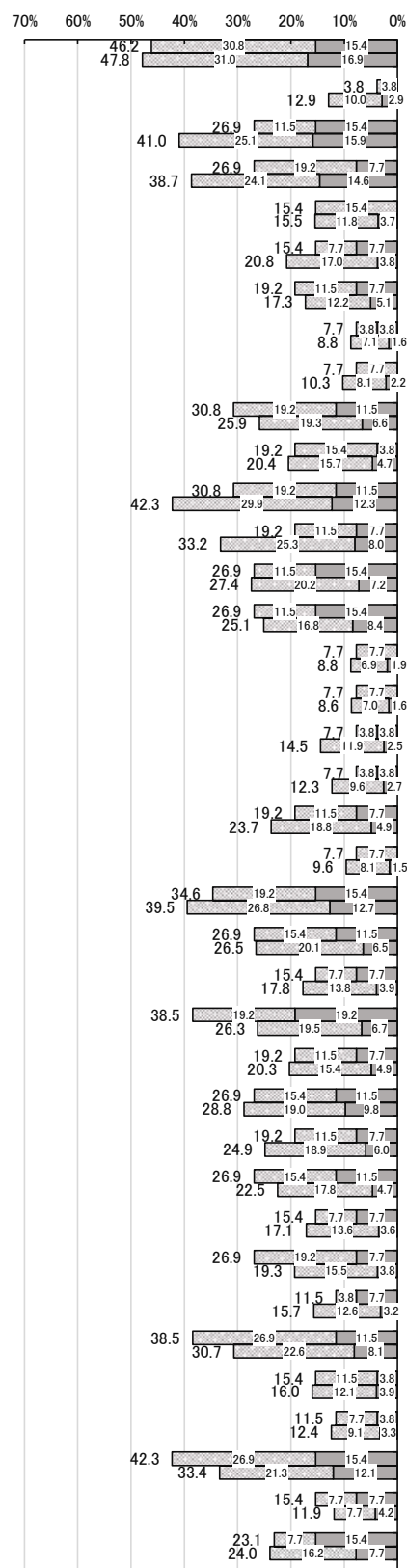
湖南沿岸

満足度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が46.2%と最も高く、次いで「36. 役場での手続きのし易さや親切度」(42.3%)、「25. 高齢者福祉の充実への取組」「33. 広報紙などでの情報提供や町民からの意見聴取の取組」(それぞれ38.5%)等の順となっています。全体と比べると「3. 上水道の整備や水質の保全の取組」が全体よりも14.1ポイント低くなっています。

重要度については、「6. 道路や側溝の整備の取組」「21. 雇用や就労の場の確保の取組」「22. 病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組」「23. 医療機関・医療体制の充実に向けた取組」が53.8%と最も高く、次いで「16. 漁業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組」(50.0%)等の順となっています。全体と比べると、「9. 子どもの遊び場の整備の取組」が全体よりも30.9ポイント低くなっています。

前回調査と比べると、満足度では、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」では、令和5年度調査が46.2%で平成29年度調査よりも32.0ポイント高くなっています。重要度では、「4. 下水道の整備等生活排水の処理への取組」では、令和5年度調査が38.5%で平成29年度調査よりも33.5ポイント低くなっています。

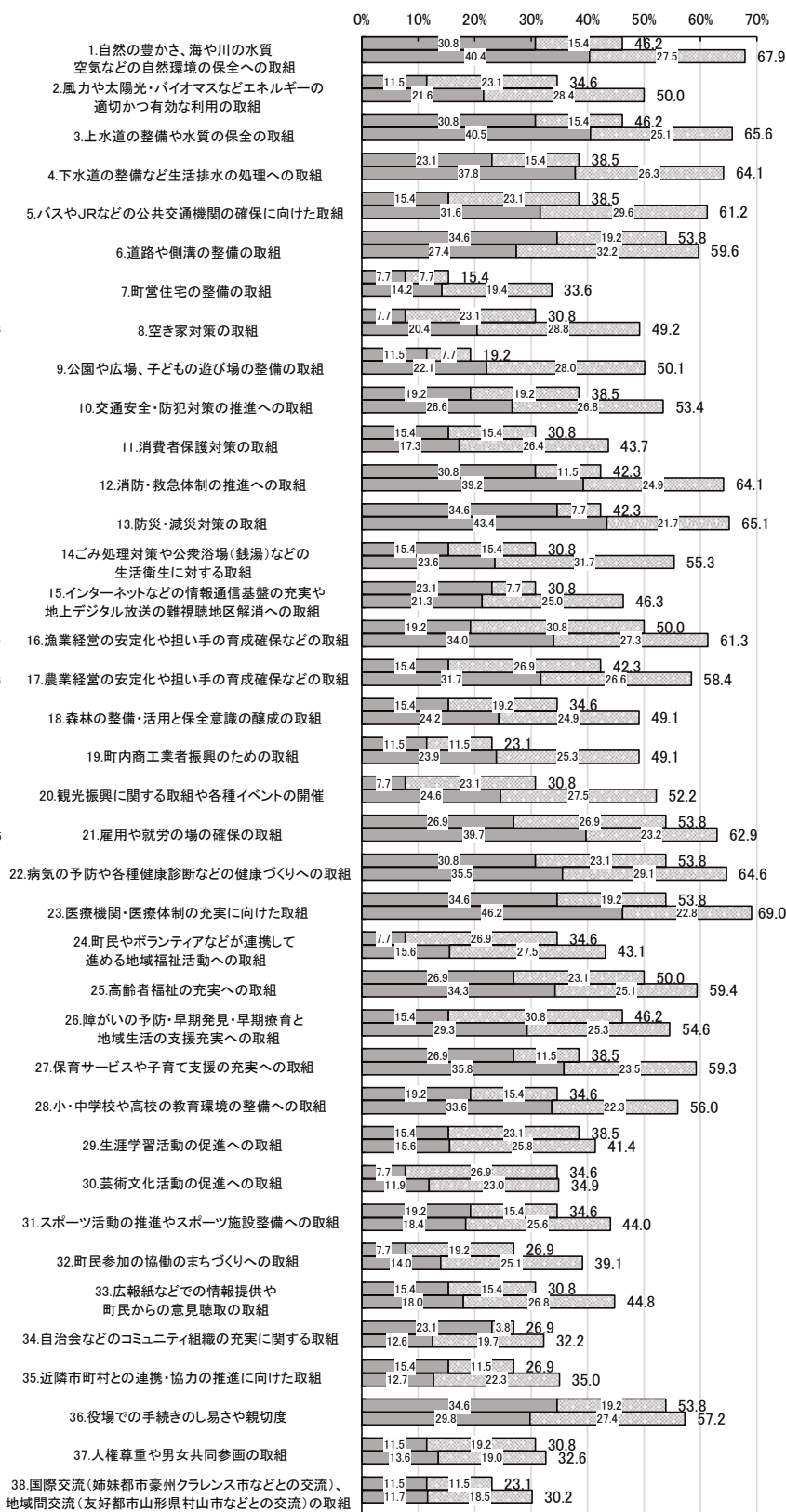
満足度(満足している+まあ満足である)



□満足している □まあ満足である

上段: 湖南沿岸 下段全体

重要度(重要である+まあ重要である)

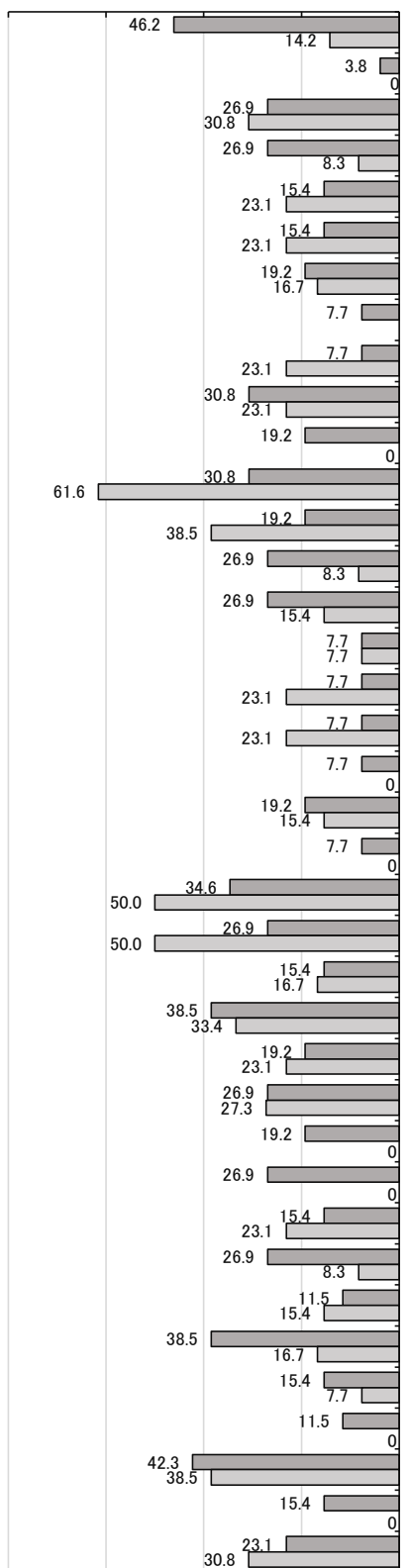


□重要である □まあ重要である

上段: 湖南沿岸 下段全体

満足度(満足している+まあ満足である)

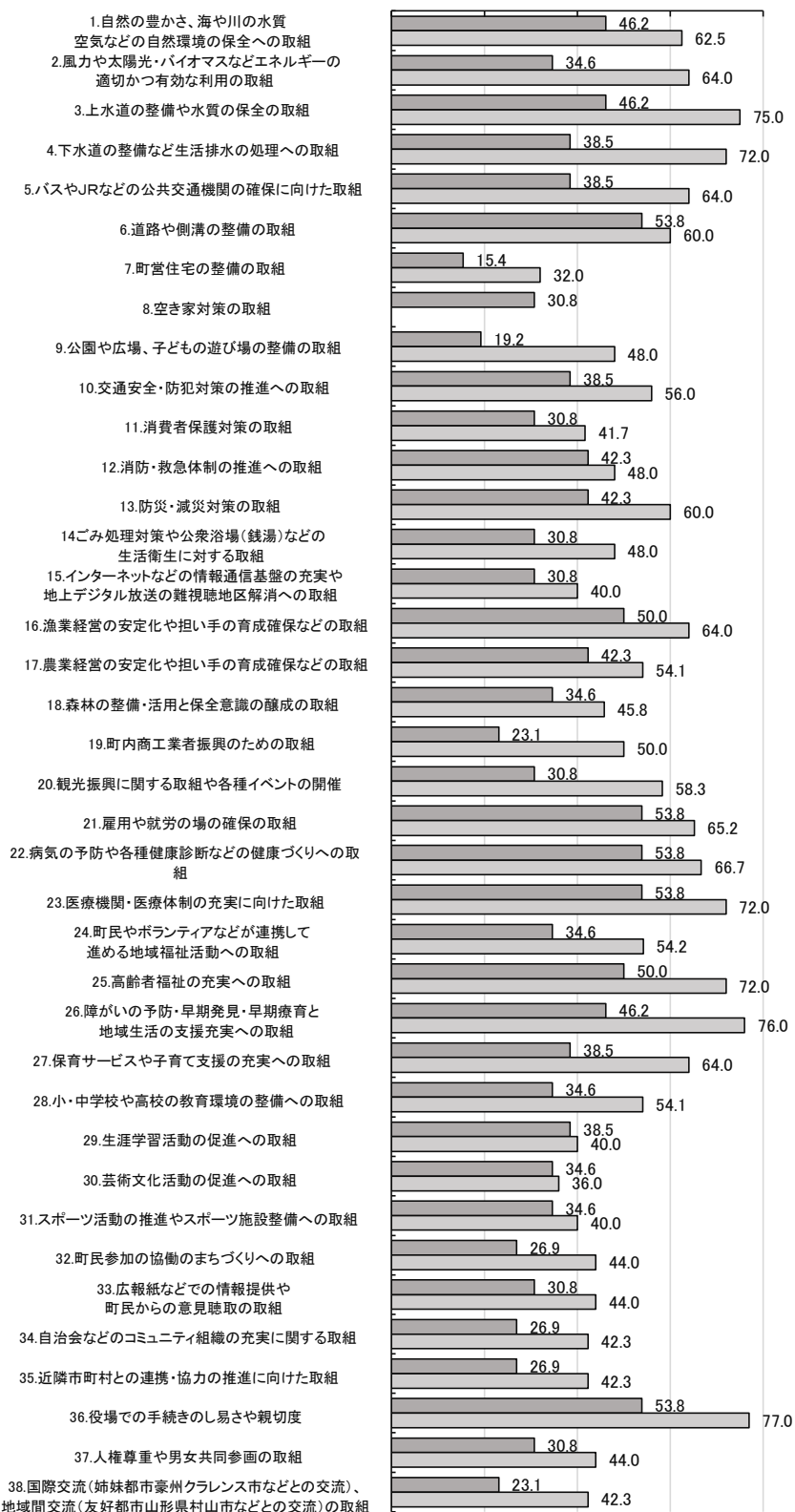
80% 60% 40% 20% 0%



■ 令和5年度(n=26) ■ 平成29年度(n=29)

重要度(重要である+まあ重要である)

0% 20% 40% 60% 80%



■ 令和5年度(n=26) ■ 平成29年度(n=29)

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

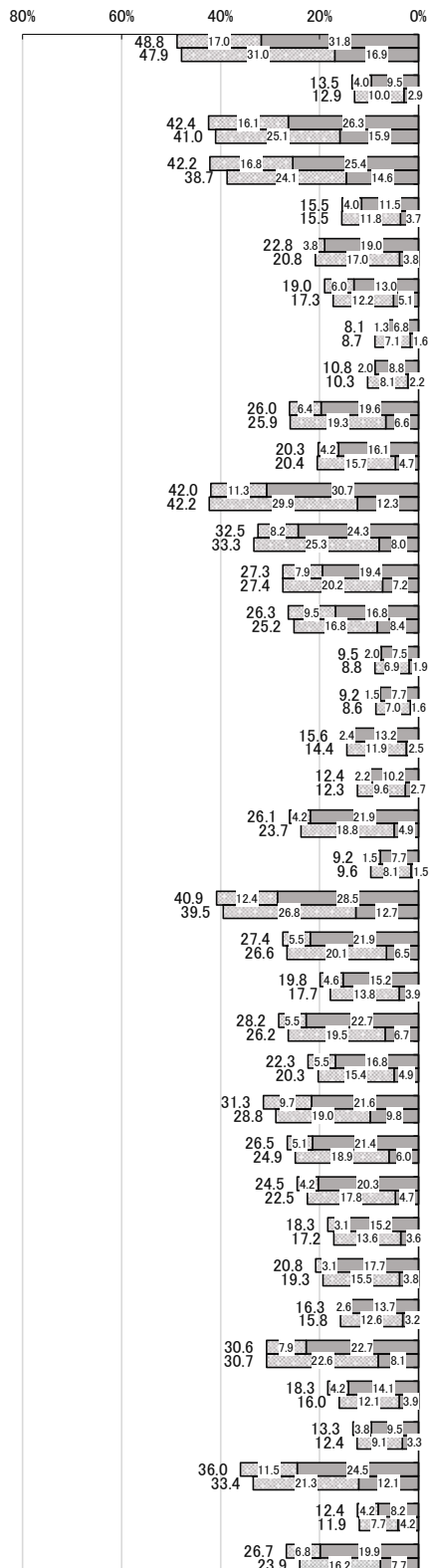
湖北省街

満足度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が48.8%と最も高く、次いで「3. 上水道の整備や水質の保全の取組」(42.4%)、「4. 下水道の整備など生活排水の処理への取組」(42.2%)、「12. 消防・救急体制の推進への取組」(41.9%)等の順となっています。全体と比べると、あまり大きな差はありませんでした。

重要度については、「23. 医療機関・医療体制の充実に向けた取組」が72.8%と最も高く、次いで「3. 上水道の整備や水質の保全の取組」(70.6%)、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」(69.5%)、「22. 病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組」(68.4%)等の順となっています。全体と比べると、「2. 風力や太陽光・バイオマスなどエネルギーの適切かつ有効な利用の取組」が5.8ポイント高くなっています。

前回調査と比べると、満足度については、「36. 役場での手続きのし易さや親切度」では、令和5年度調査が36.0%で平成29年度調査よりも8.4ポイント低くなっています。重要度については、「21. 雇用や就労の場の確保の取組」では、令和5年度調査が65.1%で平成29年度調査よりも14.9ポイント低くなっています。

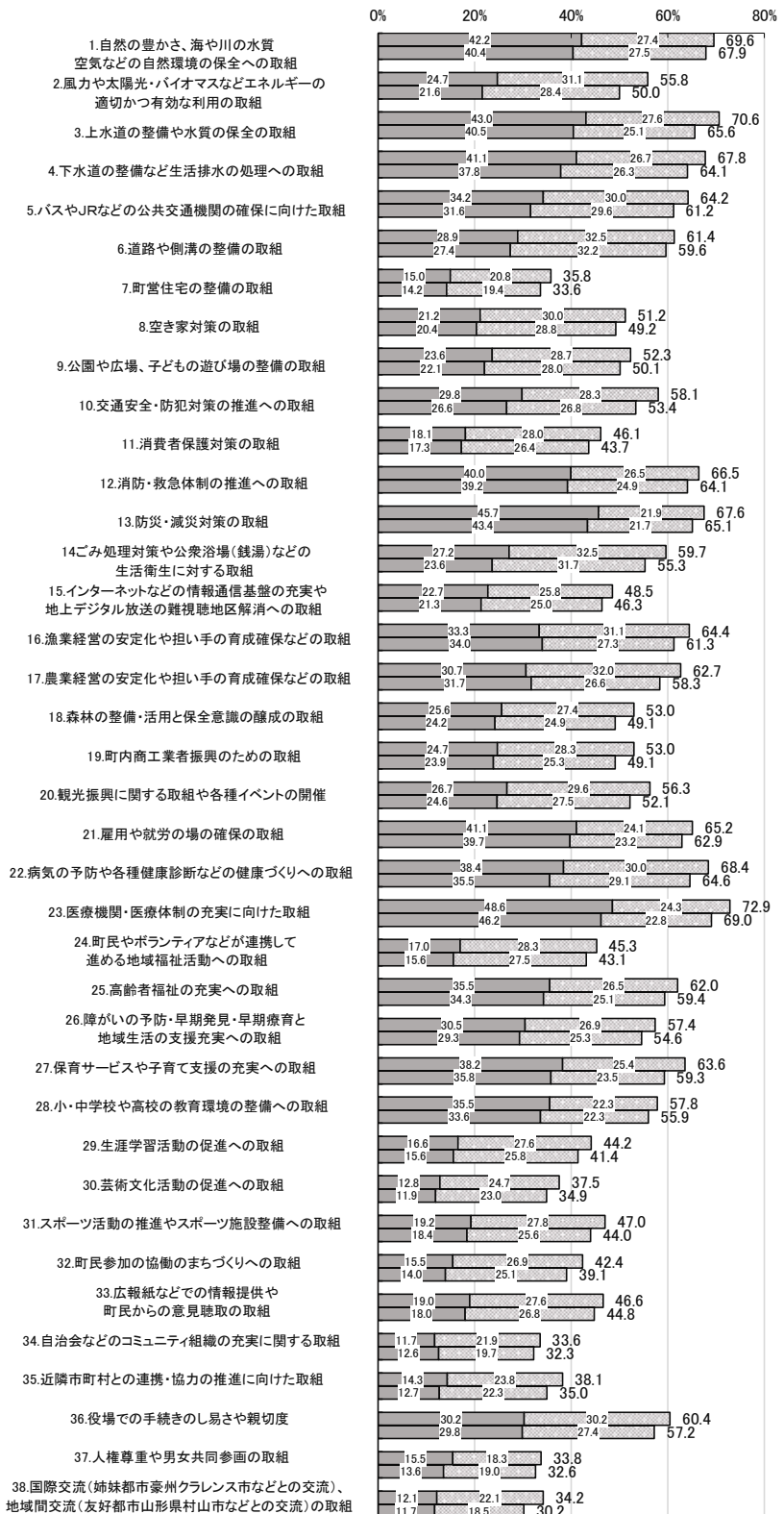
満足度(満足している+まあ満足である)



■ 満足している ■ まあ満足である

上段: 湖北市街 下段: 全体

重要度(重要である+まあ重要である)

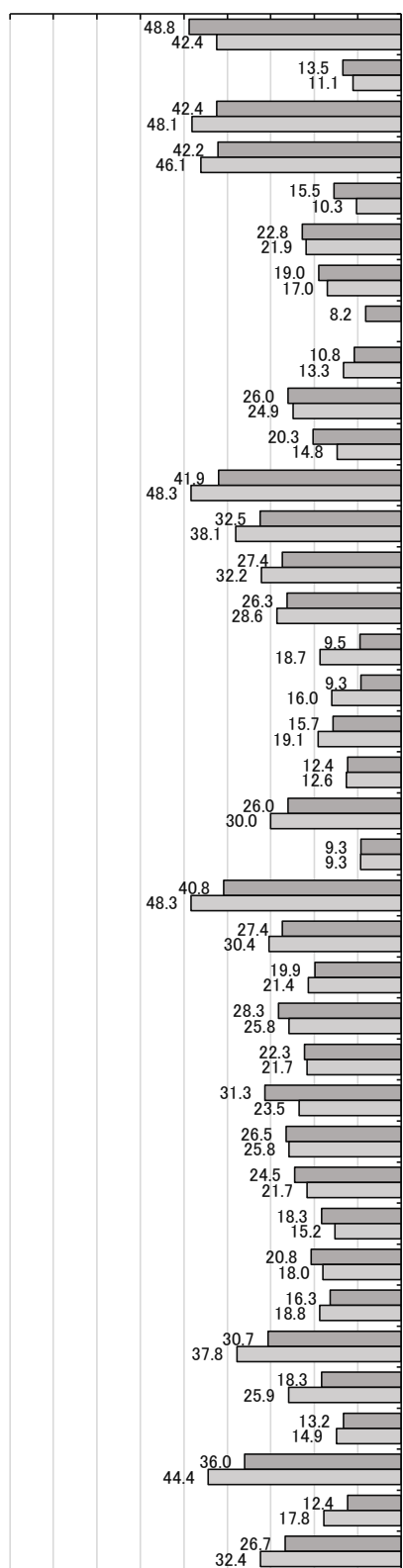


■ 重要である ■ まあ重要である

上段: 湖北市街 下段: 全体

満足度(満足している+まあ満足である)

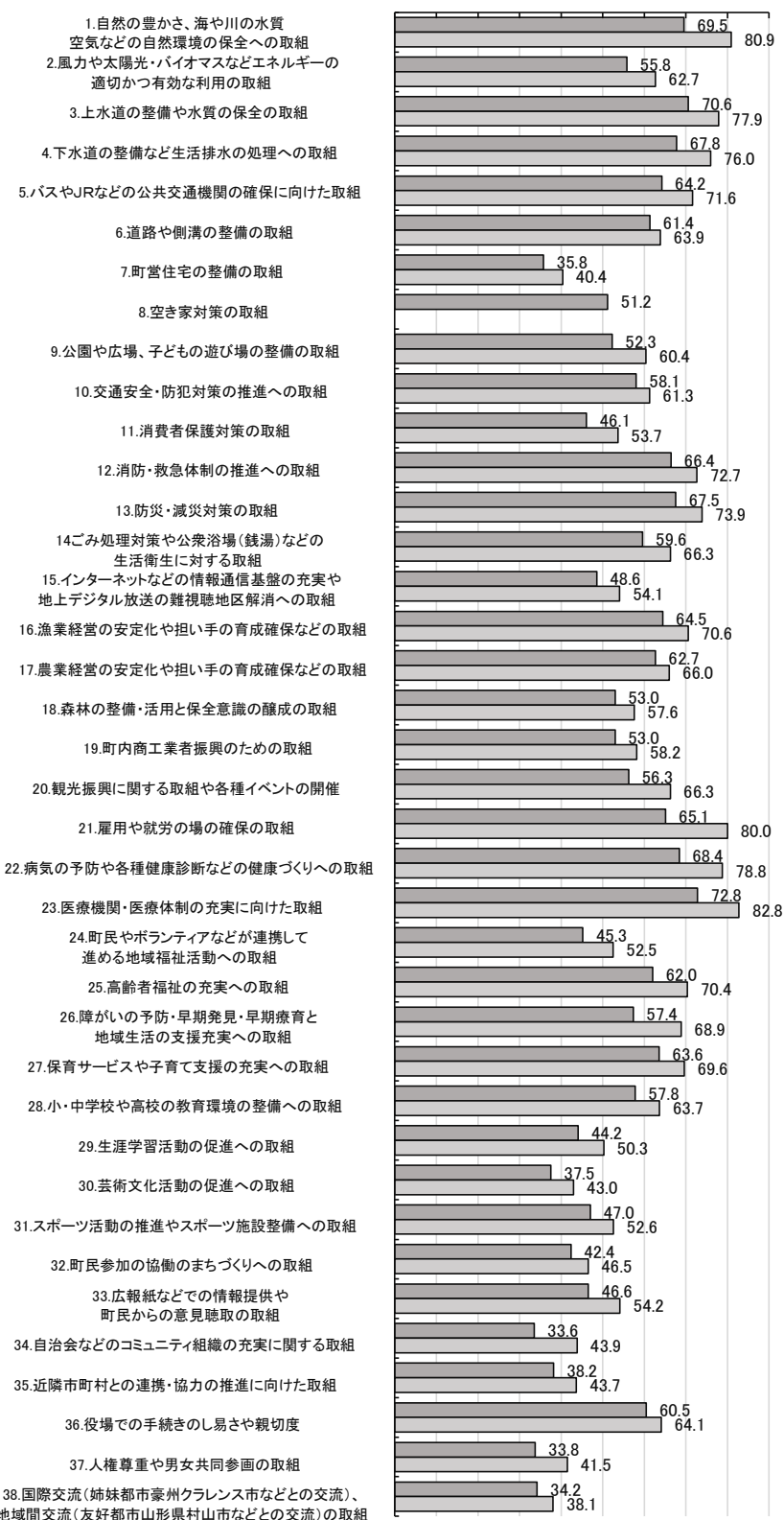
90% 80% 70% 60% 50% 40% 30% 20% 10% 0%



■ 令和5年度(n=453) ■ 平成29年度(n=362)

重要度(重要である+まあ重要である)

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90%



■ 令和5年度(n=453) ■ 平成29年度(n=362)

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

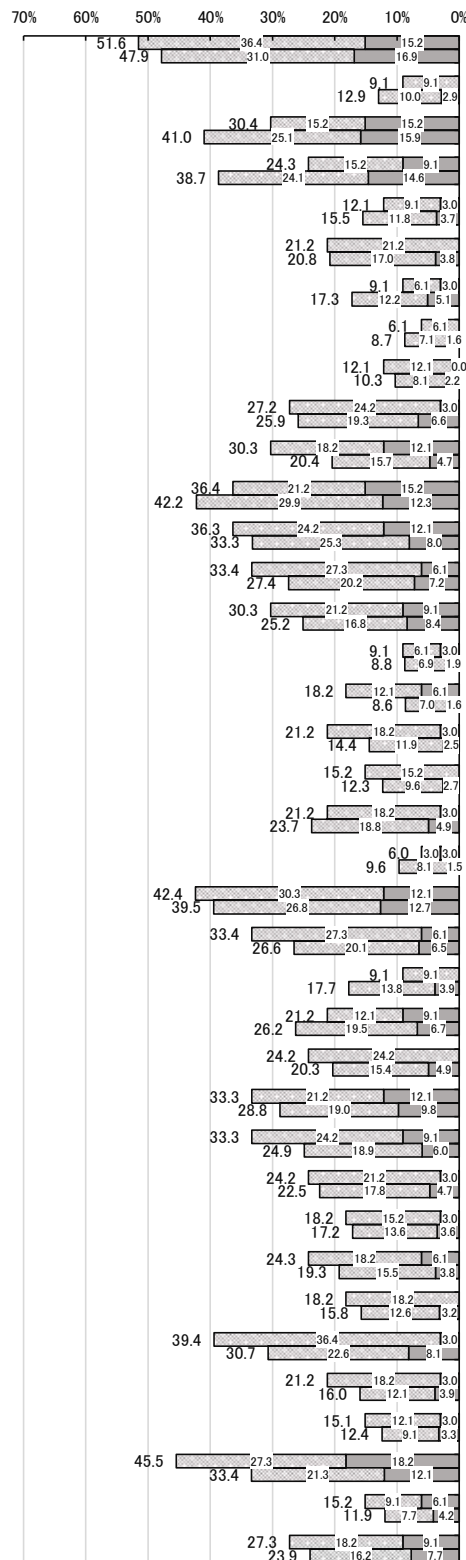
湖北北部

満足度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が51.5%と最も高く、次いで「36. 役場での手続きのし易さや親切度」(45.5%)、「22. 病気の予防や各種健康などの健康診断などの健康づくりへの取組」(42.4%)、「33. 広報誌などでの情報提供や町民からの意見聴取の取組」(39.4%)等の順となっています。全体と比べると、「4. 下水道の調整など生活排水の処理への取組」が24.2%で全体よりも14.5ポイント低くなっています。

重要度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が69.7%と最も高く、次いで「6. 道路や側溝の整備の取組」(63.6%)、「5. バスや JR などの公共交通機関の確保に向けた取組」「13. 消防・減災対策の取組」(それぞれ60.6%)等の順となっています。全体と比べると、「16. 漁業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組」が42.4%で全体よりも18.9ポイント低くなっています。

前回調査と比べると、満足度については、「28. 小・中学校や高校の教育環境への取組」では、令和5年度調査が33.3%で平成29年度調査よりも20.0ポイント高くなっています。重要度については、「17. 農業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組」では、令和5年度調査が45.5%で平成29年度調査よりも、27.8ポイント低くなっています。

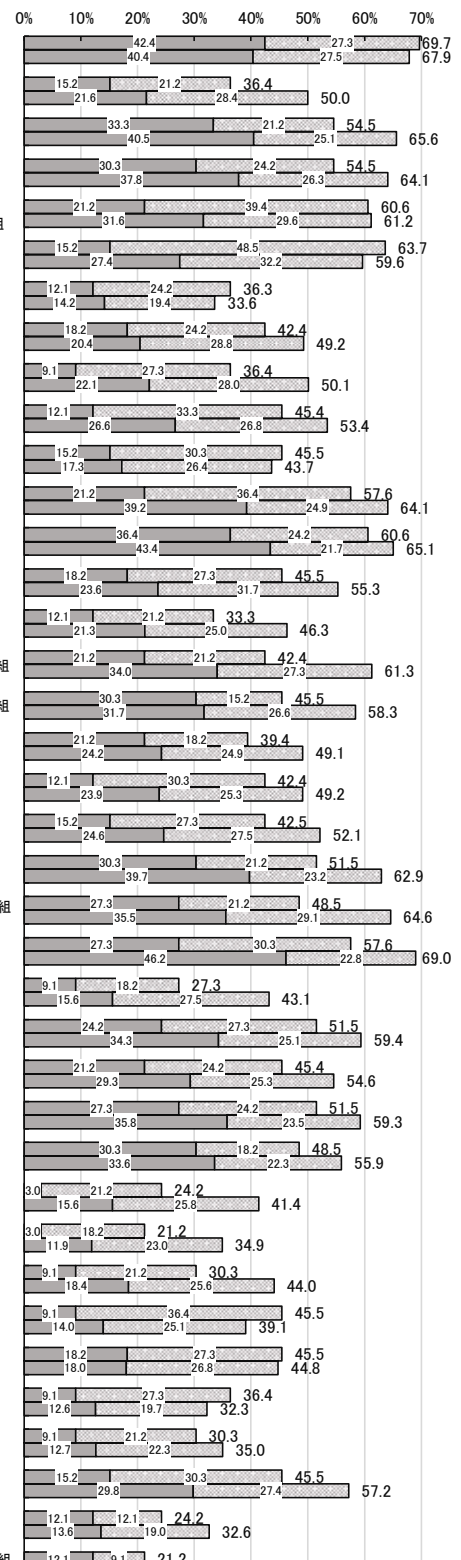
満足度(満足している+まあ満足である)



■ 満足している ■ まあ満足である

上段: 湖北北部 下段全体

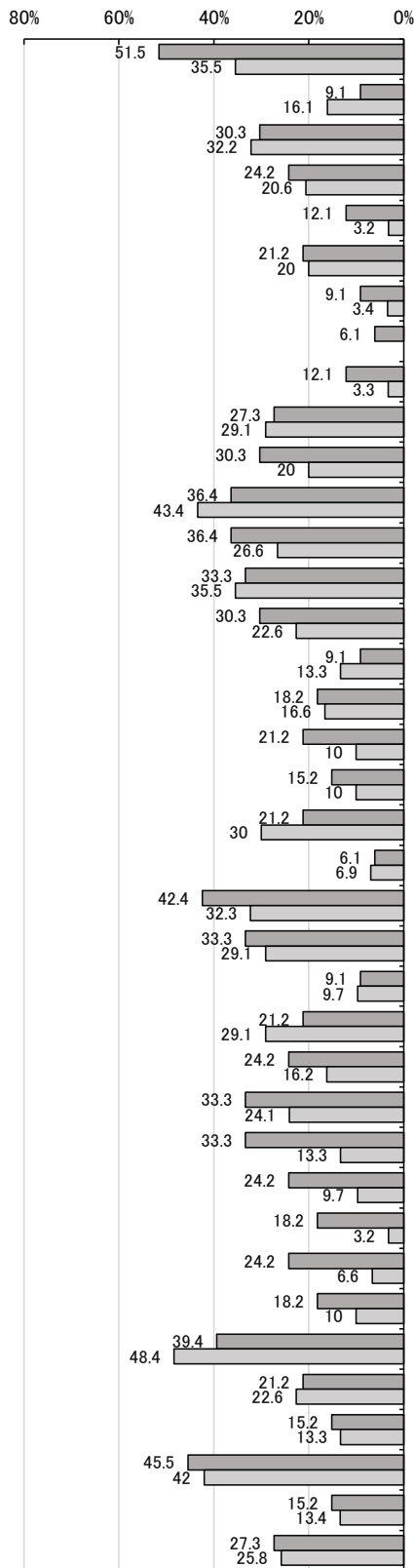
重要度(重要である+まあ重要である)



■ 重要である ■ まあ重要である

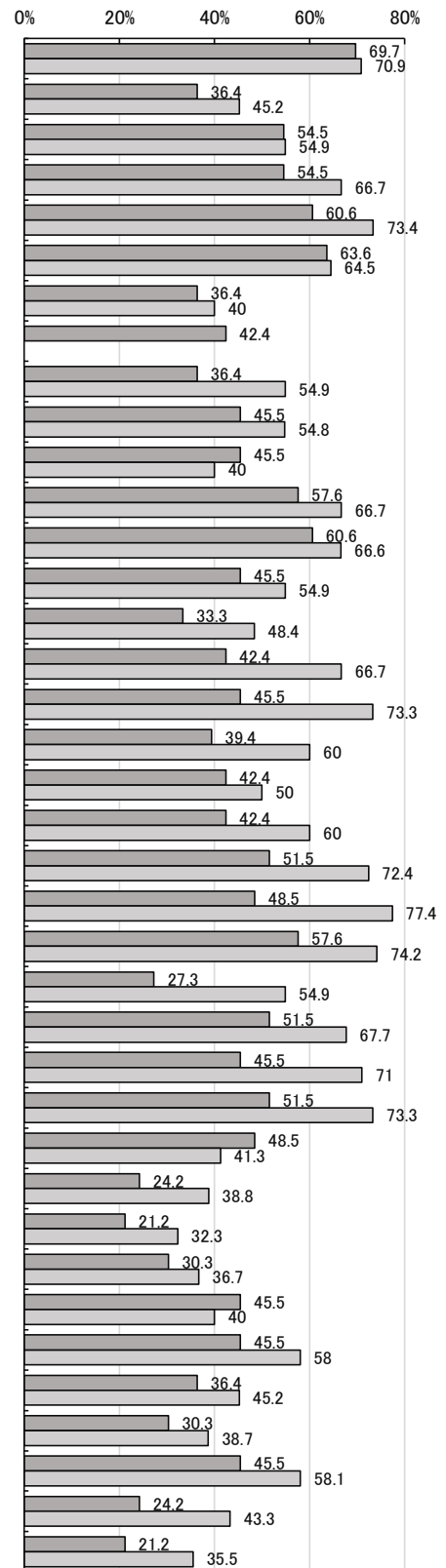
上段: 湖北北部 下段全体

満足度（満足している+まあ満足である）



■ 令和5年度(n=33) ■ 平成29年度(n=31)

重要度（重要である+まあ重要である）



■ 令和5年度(n=33) ■ 平成29年度(n=31)

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

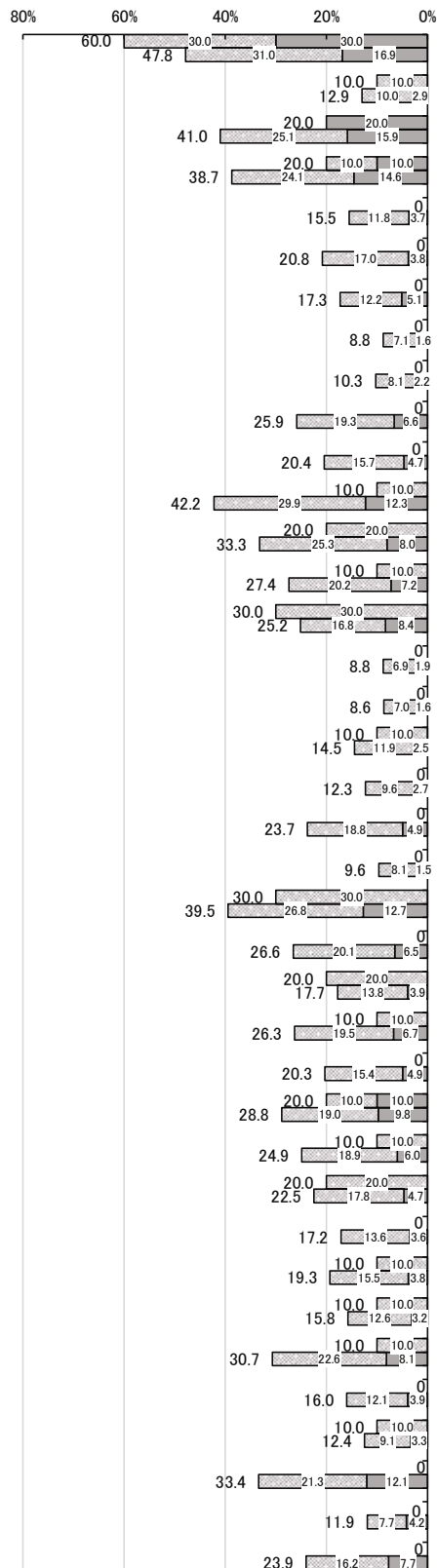
湖北東部

満足度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が60.0%と最も高く、次いで「15. インターネットなどの情報通信基盤の充実や地上デジタル放送の難視聴地区解消への取組」「22. 病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組」（それぞれ30.0%）等の順となっています。全体と比べると、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が60.0%で全体よりも12.2ポイント高くなっています。

重要度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が80.0%と最も高く、次いで「23. 医療機関・医療体制の充実に向けた取組」（70.0%）、「5. バスやJRなどの公共交通機関の確保に向けた取組」「13. 消防・救急体制の推進への取組」（それぞれ60.0%）等の順となっています。全体と比べると、「10. 交通安全・防犯対策の推進への取組」が全体よりも53.4ポイント低くなっています。

前回調査と比べると、満足度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」では、令和5年度調査が60.0%で平成29年度調査よりも21.5ポイント高くなっています。重要度については、「11. 消費者保護対策の取組」では、令和5年度調査が10.0%で平成29年度調査よりも61.4ポイント低くなっています。

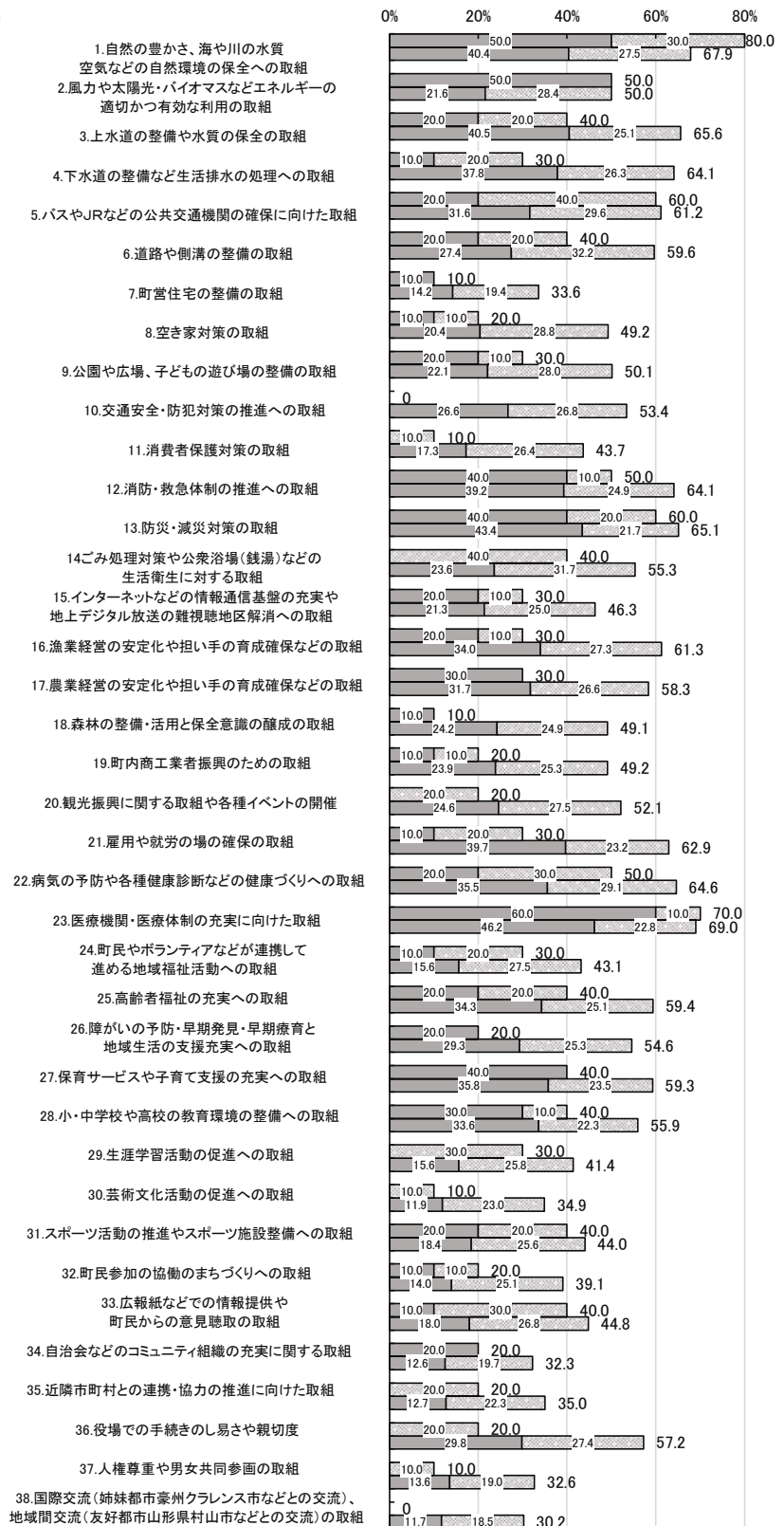
満足度(満足している+まあ満足である)



■ 満足している ■ まあ満足である

上段: 湖北東部 下段全体

重要度(重要である+まあ重要である)



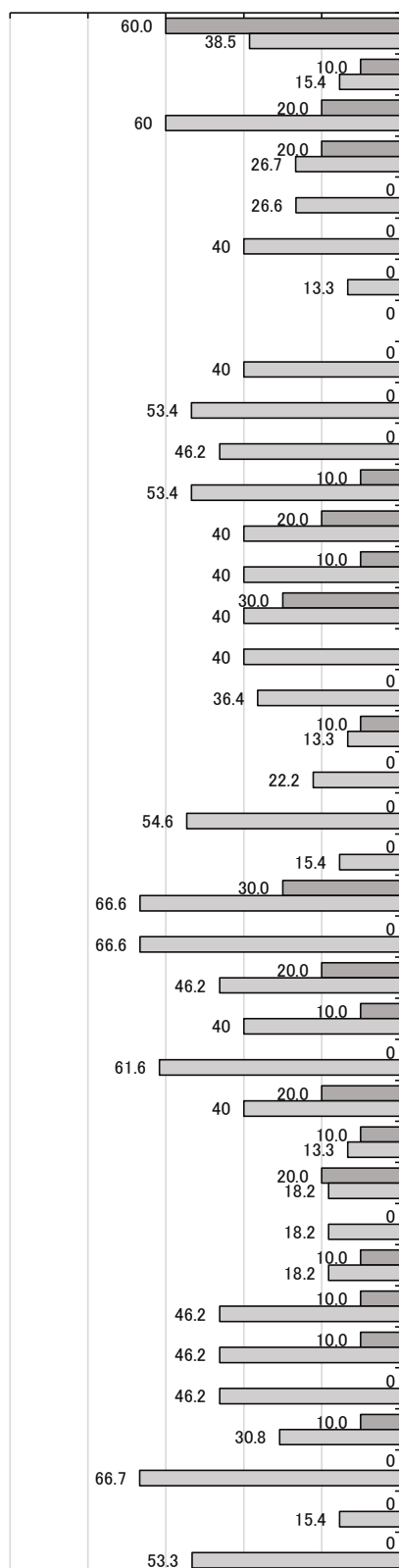
■ 重要である ■ まあ重要である

上段: 湖北東部 下段全体

満足度(満足している+まあ満足である)

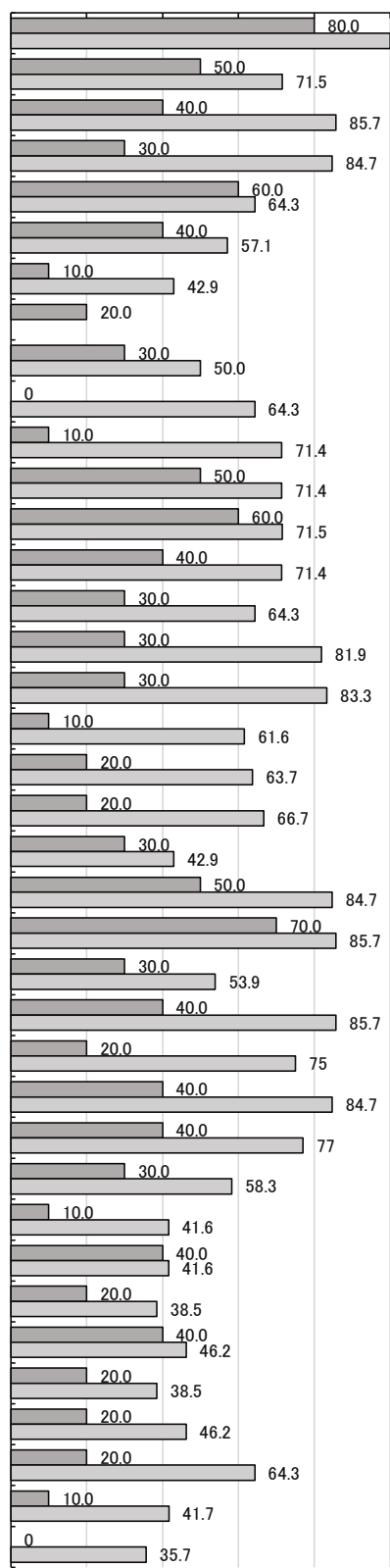
重要度(重要である+まあ重要である)

100% 80% 60% 40% 20% 0%



■ 令和5年度(n=10) ■ 平成29年度(n=16)

0% 20% 40% 60% 80% 100%



■ 令和5年度(n=10) ■ 平成29年度(n=16)

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

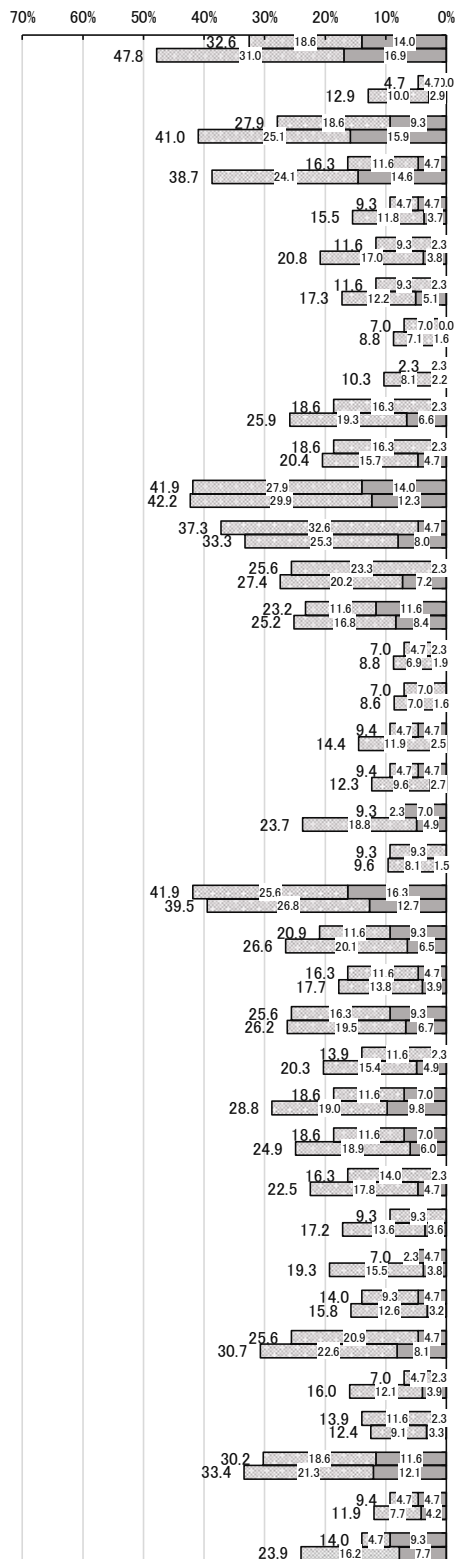
湖北西部

満足度については、「12. 消防・救急体制の推進への取組」「22. 病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組」が41.9%と最も高く、次いで「13. 防災・減災対策の取組」(37.2%)、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」(32.6%)、「36. 役場での手続きのし易さや親切度」(30.2%)等の順となっています。全体と比べると、「4. 下水道の整備など生活排水の処理への取組」が16.3%で全体よりも22.4ポイント低くなっています。

重要度については、「1. 自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が67.4%と最も高く、次いで「12. 消防・救急体制の推進への取組」(65.1%)、「28. 小・中学校や高校の教育環境の整備への取組」(62.8%)、「22. 病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組」(60.5%)等の順となっています。全体と比べると、「20. 観光振興に関する取組や各種イベントの開催」が34.9%で全体よりも17.3ポイント低くなっています。

前回調査と比べると、満足度については、「3. 上水道の整備や水質の保全の取組」では、令和5年度調査が27.9%で、平成29年度調査よりも25.1ポイント低くなっています。重要度については、「31. スポーツ活動の推進やスポーツ施設整備への取組」では、令和5年度調査が48.8%で平成29年度調査よりも19.4ポイント高くなっています。

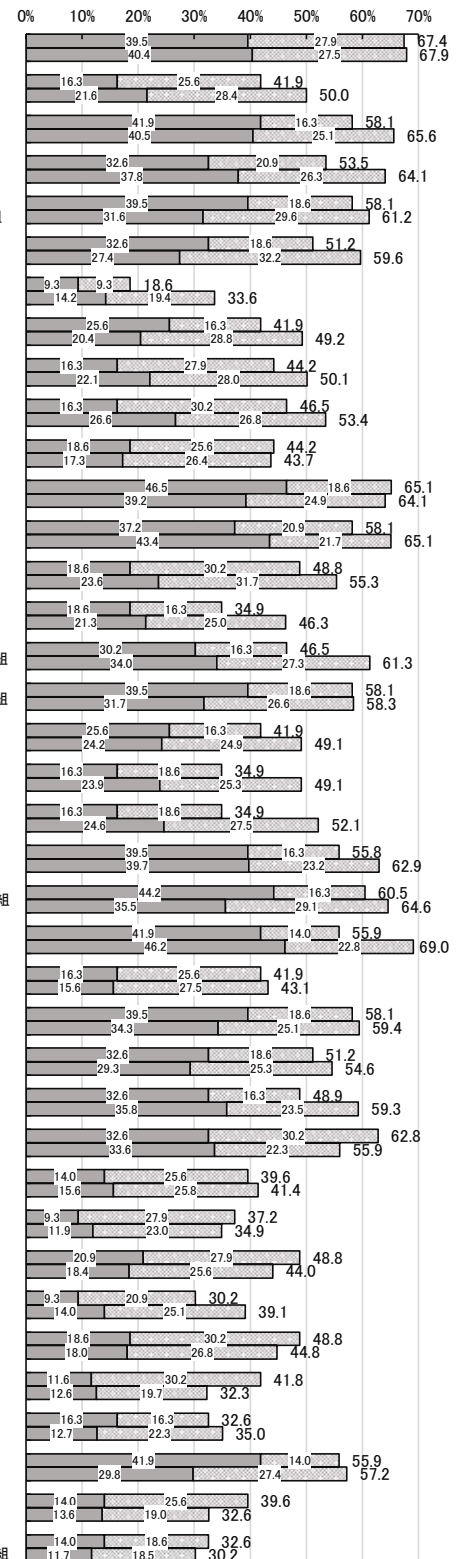
満足度(満足している+まあ満足である)



■ 満足している ■ まあ満足である

上段:湖北西部 下段全体

重要度(重要である+まあ重要である)

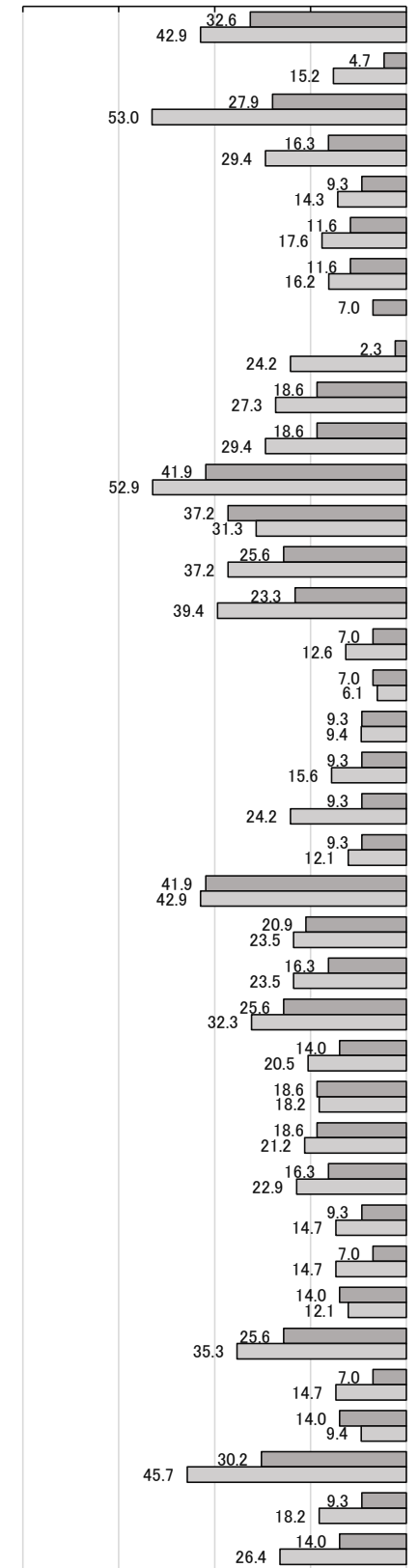


■ 重要である ■ まあ重要である

上段:湖北西部 下段全体

満足度(満足している+まあ満足である)

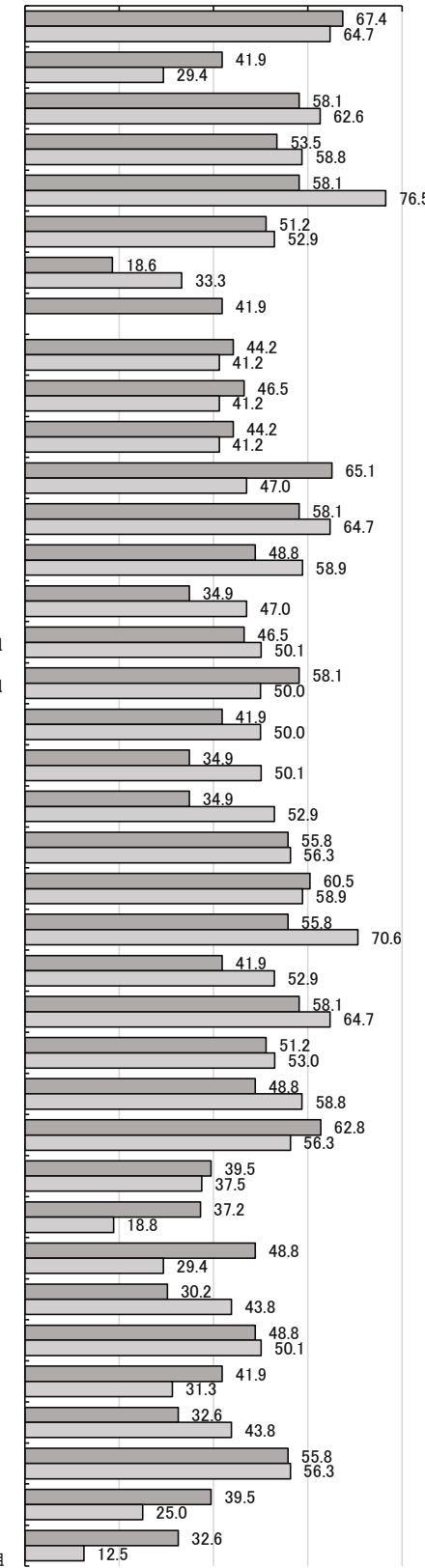
80% 60% 40% 20% 0%



■ 令和5年度(n=43) ■ 平成29年度(n=37)

重要度(重要である+まあ重要である)

0% 20% 40% 60% 80%



■ 令和5年度(n=43) ■ 平成29年度(n=37)

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

施策の満足度・重要度分析

(1) 満足度・重要度分析について

満足度・重要度により町の施策に対する町民の意向を相対的に分類することで、今後の方向性を検討する際の参考とするため、「問10 厚岸町の取組について」の結果をもとに、町民の考え方を散布図に整理しました。

以下の計算から、満足度・重要度の平均点を算出し、取組ごとの相対的な位置づけをより明らかにするために、全施策の平均点（重要度、満足度）の位置を軸としてグラフを作成し、4つのグループに分類しています。

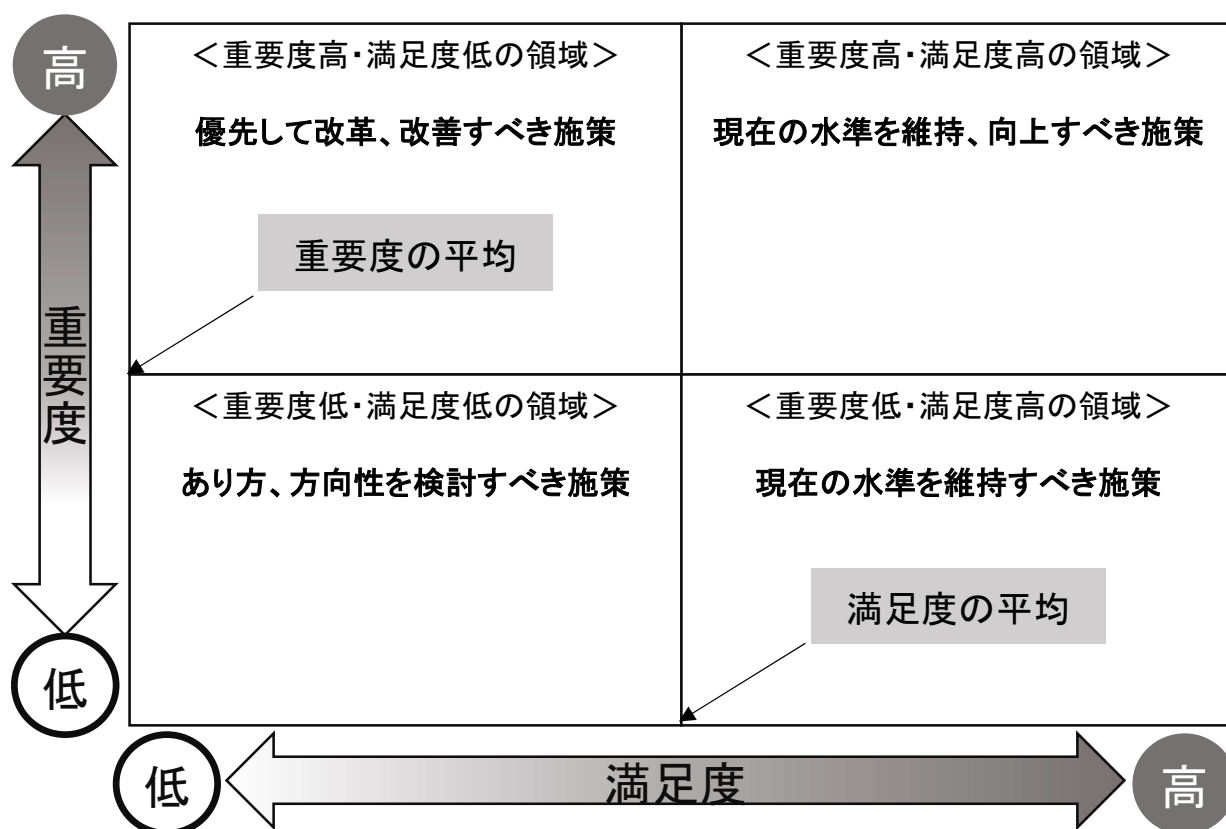
加重平均の算出方法については以下の通りです。

○加重平均の算出方法

$$\text{満足度} = \frac{\text{「満足している」} \times 5 + \text{「まあ満足である」} \times 4 + \text{「普通」} \times 3 + \text{「あまり満足していない」} \times 2 + \text{「満足していない」} \times 1}{\text{「無回答」を除く有効回答数}}$$

$$\text{重要度} = \frac{\text{「重要である」} \times 5 + \text{「まあ重要である」} \times 4 + \text{「普通」} \times 3 + \text{「あまり重要ではない」} \times 2 + \text{「重要ではない」} \times 1}{\text{「無回答」を除く有効回答数}}$$

○グラフの見方



(2) 満足度の一覧と時系列比較

令和5年度調査の満足度平均は3.09です。平成30年の3.09からポイントは変わっていません。

施策の満足度では、「自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が3.57と最も高く、次いで「消防・救急体制の推進への取組」(3.50)、「上水道の整備や水質の保全の取組」(3.47)等の順となっています。

平成30年度と比較して最も満足度が増加したのは、「保育サービスや子育て支援の充実」「スポーツ活動の推進や体育施設整備」がそれぞれ0.17ポイントと最も高く、次いで「自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」が0.13ポイント増えています。

施策項目	満足度			
	令和5年度	平成30年度	前回との差	
1.自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組	3.57	3.44	0.13	↗
2.風力や太陽光・バイオマスなどエネルギーの適切かつ有効な利用の取組	2.83	2.73	0.10	↗
3.上水道の整備や水質の保全の取組	3.47	3.60	-0.13	↘
4.下水道の整備など生活排水の処理への取組	3.40	3.43	-0.03	↘
5.バスやJRなどの公共交通機関の確保に向けた取組	2.70	2.71	-0.01	↘
6.道路や側溝の整備の取組	2.84	2.87	-0.03	↘
7.町営住宅の整備の取組	3.07	3.07	0.00	=
8.空き家対策の取組	2.54			
9.公園や広場、子どもの遊び場の整備の取組	2.66	2.66	0.00	=
10.交通安全・防犯対策の推進への取組	3.24	3.21	0.03	↗
11.消費者保護対策の取組	3.14	3.02	0.12	↗
12.消防・救急体制の推進への取組	3.50	3.52	-0.02	↘
13.防災・減災対策の取組	3.28	3.22	0.06	↗
14.ごみ処理対策や公衆浴場(銭湯)などの生活衛生に対する取組	3.13	3.05	0.08	↗
15.インターネットなどの情報通信基盤の充実や地上デジタル放送の難視聴地区解消への取組	3.15	3.09	0.06	↗
16.漁業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組	2.76	2.87	-0.11	↘
17.農業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組	2.83	2.91	-0.08	↘
18.森林の整備・活用と保全意識の醸成の取組	3.03	3.06	-0.03	↘
19.町内商工業者振興のための取組	2.92	2.86	0.06	↗
20.観光振興に関する取組や各種イベントの開催	3.11	3.17	-0.06	↘
21.雇用や就労の場の確保の取組	2.64	2.56	0.08	↗
22.病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組	3.44	3.42	0.02	↗
23.医療機関・医療体制の充実に向けた取組	3.05	3.02	0.03	↗
24.町民やボランティアなどが連携して進める地域福祉活動への取組	3.09	3.13	-0.04	↘
25.高齢者福祉の充実への取組	3.17	3.13	0.04	↗
26.障がいの予防・早期発見・早期療育と地域生活の支援充実への取組	3.12	3.06	0.06	↗
27.保育サービスや子育て支援の充実への取組	3.29	3.12	0.17	↗
28.小・中学校や高校の教育環境の整備への取組	3.20	3.16	0.04	↗
29.生涯学習活動の促進への取組	3.20	3.14	0.06	↗
30.芸術文化活動の促進への取組	3.09	3.09	0.00	↗
31.スポーツ活動の推進やスポーツ施設整備への取組	3.07	2.90	0.17	↗
32.町民参加の協働のまちづくりへの取組	3.03	3.04	-0.01	↘
33.広報紙などでの情報提供や町民からの意見聴取の取組	3.31	3.31	0.00	=
34.自治会などのコミュニティ組織の充実に関する取組	3.03	3.10	-0.07	↘
35.近隣市町村との連携・協力の推進に向けた取組	3.03	2.99	0.04	↗
36.役場での手続きのし易さや親切度	3.25	3.28	-0.03	↘
37.人権尊重や男女共同参画の取組	3.05	3.06	-0.01	↘
38.国際交流(姉妹都市豪州クラレンス市などとの交流)、地域間交流(友好都市山形県村山市などとの交流)の取組	3.25	3.32	-0.07	↘
平均	3.09	3.09	0.00	=

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

(3) 重要度の一覧と時系列比較

令和5年度調査の重要度平均は3.83です。平成30年度の3.85から0.02ポイント減少しています。

施策の重要度では、「医療機関・医療体制の充実に向けた取組」が4.26と最も高く、次いで「防災・減災対策の取組」(4.21)、「自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組」(4.20)等の順となっています。

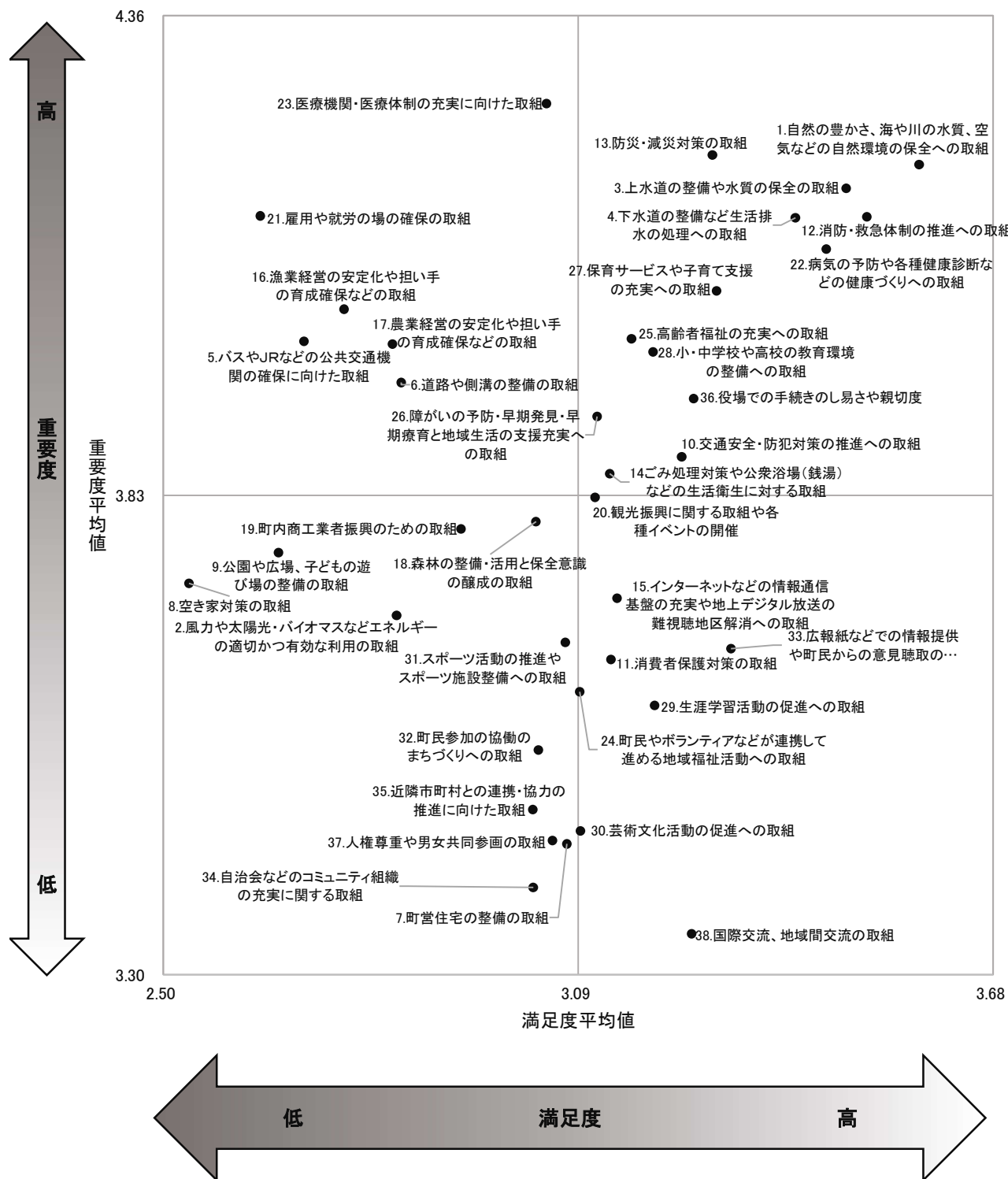
平成30年度と比較して最も重要度が増加したのは、「高齢者福祉の充実への取組」が0.08ポイントと最も高く、次いで「町内商工業者復興のための取組」「小・中学校や高校の教育環境の整備への取組」がそれぞれ0.05ポイント増えています。

施策項目	重要度		
	令和5年度	平成30年度	前回との差
1.自然の豊かさ、海や川の水質、空気などの自然環境の保全への取組	4.20	4.18	0.02
2.風力や太陽光・バイオマスなどエネルギーの適切かつ有効な利用の取組	3.70	3.78	-0.08
3.上水道の整備と水質の保全の取組	4.17	4.24	-0.07
4.下水道の整備など生活排水の処理への取組	4.14	4.18	-0.04
5.バスやJRなどの公共交通機関の確保に向けた取組	4.00	4.04	-0.04
6.道路や側溝の整備の取組	3.95	3.93	0.02
7.町営住宅の整備の取組	3.44	3.44	0.00
8.空き家対策の取組	3.73		
9.公園や広場、子どもの遊び場の整備の取組	3.77	3.74	0.03
10.交通安全・防犯対策の推進への取組	3.87	3.83	0.04
11.消費者保護対策の取組	3.65	3.61	0.04
12.消防・救急体制の推進への取組	4.14	4.16	-0.02
13.防災・減災対策の取組	4.21	4.24	-0.03
14.ごみ処理対策や公衆浴場(銭湯)などの生活衛生に対する取組	3.85	3.9	-0.05
15.インターネットなどの情報通信基盤の充実や地上デジタル放送の難視聴地区解消への取組	3.72	3.81	-0.09
16.漁業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組	4.04	4.03	0.01
17.農業経営の安定化や担い手の育成確保などの取組	4.00	4.01	-0.01
18.森林の整備・活用と保全意識の醸成の取組	3.80	3.76	0.04
19.町内商工業者復興のための取組	3.79	3.74	0.05
20.観光振興に関する取組や各種イベントの開催	3.83	3.88	-0.05
21.雇用や就労の場の確保の取組	4.14	4.18	-0.04
22.病気の予防や各種健康診断などの健康づくりへの取組	4.10	4.11	-0.01
23.医療機関・医療体制の充実に向けた取組	4.26	4.27	-0.01
24.町民やボランティアなどが連携して進める地域福祉活動への取組	3.61	3.69	-0.08
25.高齢者福祉の充実への取組	4.00	3.92	0.08
26.障がいの予防・早期発見・早期療育と地域生活の支援充実への取組	3.92	3.93	-0.01
27.保育サービスや子育て支援の充実への取組	4.06	4.02	0.04
28.小・中学校や高校の教育環境の整備への取組	3.99	3.94	0.05
29.生涯学習活動の促進への取組	3.60	3.6	0.00
30.芸術文化活動の促進への取組	3.46	3.46	0.00
31.スポーツ活動の推進やスポーツ施設整備への取組	3.67	3.64	0.03
32.町民参加の協働のまちづくりへの取組	3.55	3.55	0.00
33.広報紙などでの情報提供や町民からの意見聴取の取組	3.66	3.65	0.01
34.自治会などのコミュニティ組織の充実に関する取組	3.40	3.49	-0.09
35.近隣市町村との連携・協力の推進に向けた取組	3.48	3.51	-0.03
36.役場での手続きのし易さや親切度	3.94	3.91	0.03
37.人権尊重や男女共同参画の取組	3.45	3.5	-0.05
38.国際交流(姉妹都市豪州クラレンス市などとの交流)、地域間交流(友好都市山形県村山市などとの交流)の取組	3.35	3.41	-0.06
平均	3.83	3.85	-0.02

※「8. 空き家対策の取組」は、今回調査から新たに追加された選択肢。

(4) 満足度×重要度グラフ

令和5年度調査の結果から、各施策について施策の満足度・重要度をグラフにすると以下の通りです。



新型コロナウイルス感染症について

問11 あなたが、「困っていること・心配と感じていること」はどれですか。(○印は3つまで)

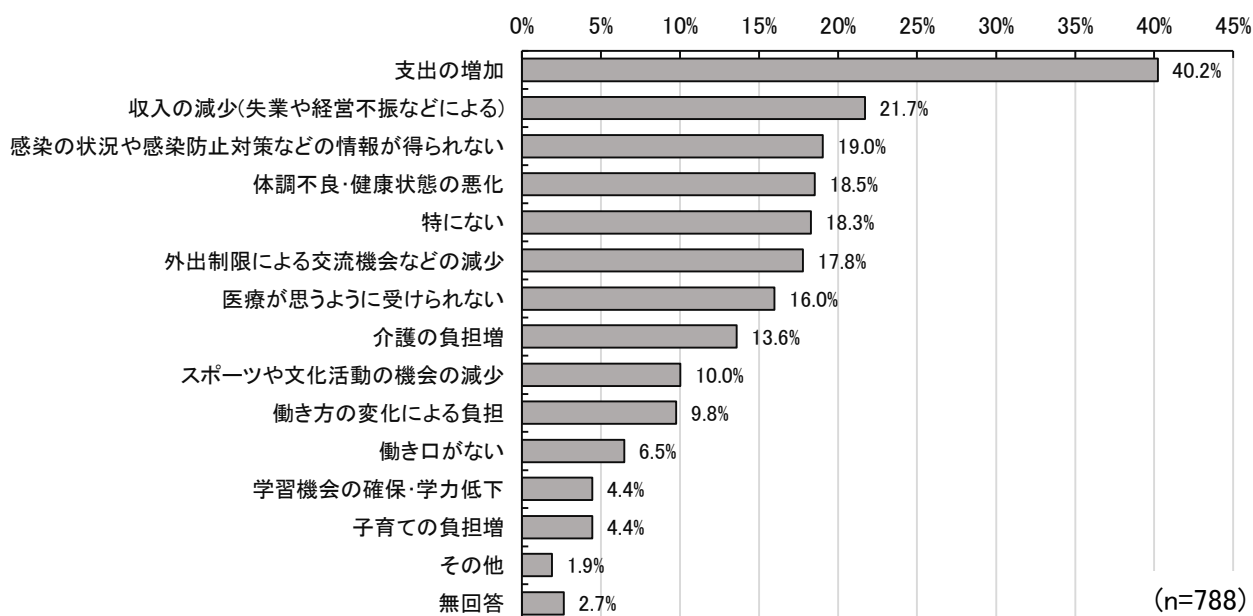
新型コロナウイルス感染症について困っていること・心配と感じていることについては、「支出の増加」が40.2%と最も高く、次いで「収入の減少(失業や経営不振などによる)」(21.7%)、「感染の状況や感染防止対策などの情報が得られない」(19.0%)、「体調不良・健康状態の悪化」(18.5%)等の順となっています。

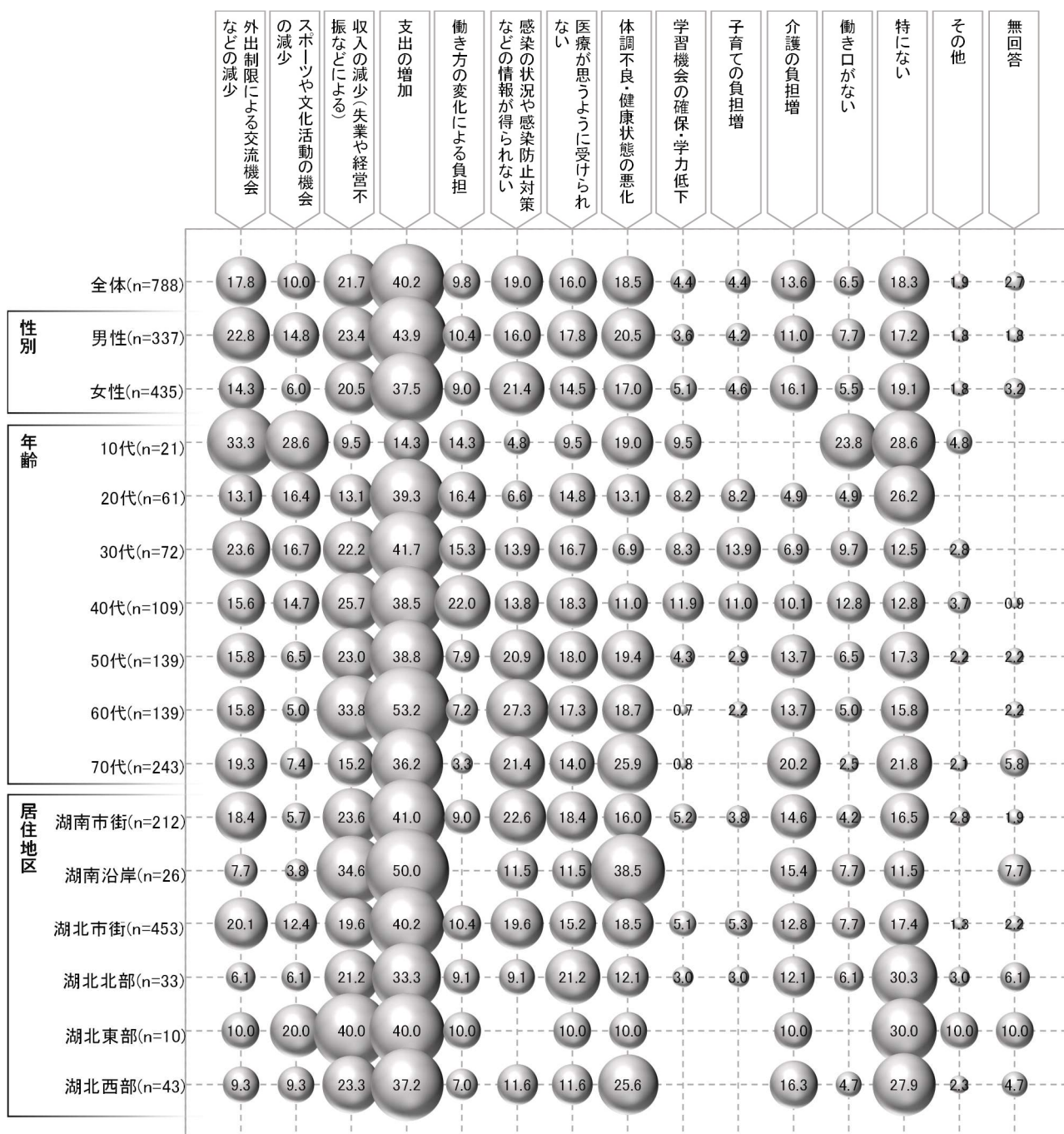
属性別にみると、性別では、「スポーツや文化活動の機会の減少」では、男性が14.8%で女性よりも割合が高くなっています。年齢別では、「スポーツや文化活動の機会の減少」では、10代が28.6%で他の年代に比べて割合が高く、年齢が上がるにつれ、割合が低くなっています。居住地区別では、「体調不良・健康状態の悪化」では、湖南沿岸が38.5%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

[その他]

町内外への交通手段不便/夜のタクシーがない/酪農なのでコロナにかかっても休めず不安/飲食店が高い、JRの本数が少ない/重度障がい者の生活の場/人間関係/交通手段がない/津波/過度な規制/物価等の値上がり等/すべてにおいてネット上で得られる情報が少ない/買い物が不便/マスク生活でのマスク着用が定着していること/働き手がない/孤独死、出会いがない/特養施設の運営形態の見直し/お祭りがなくなること

【新型コロナウイルス感染症について困っていること・心配なこと】





問12

町では、飲食店など中小企業や自営業者への経済的支援、子育て世代や妊婦を対象とした経済的支援などに取り組んでいるところですが、今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいと考える施策はどれですか。(〇印は3つまで)

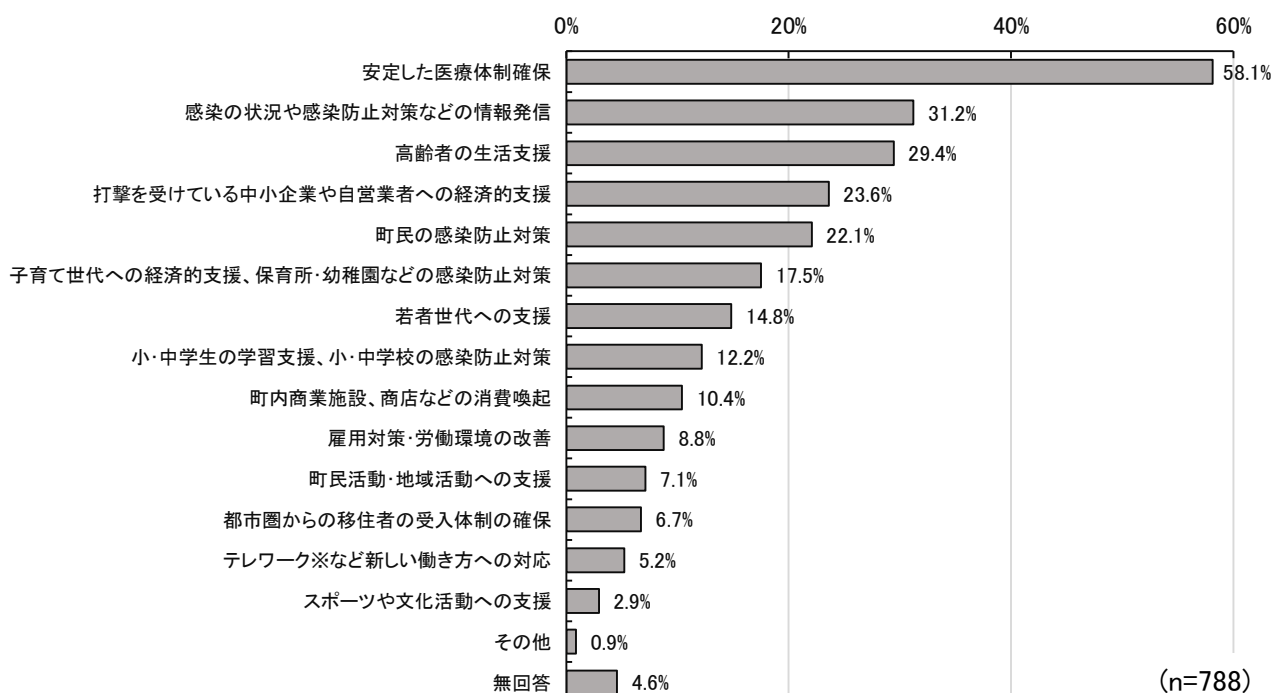
今後も新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいことについては、「安定した医療体制確保」が58.1%と最も高く、次いで「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」(31.2%)、「高齢者の生活支援」(29.4%)、「打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援」(23.6%)等の順となっています。

属性別にみると、性別では、「若者世代への支援」では、男性が14.2%で女性よりも割合が高くなっています。年齢別では、「感染の状況や感染防止対策などの情報発信」では、20代が4.9%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区別では、「高齢者の生活支援」では、湖南西部が41.9%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

[その他]

経済的支援について、子育て世代や若者世代、高齢者及び企業に重点を置いているが、この枠以外に該当する人の状況も同じであるため平等にするべき/公共交通機関の充実を/子育て世代の支援等対策/町自治会ではパークを基準として老人でも出来る他のスポーツがないことが残念です。他市町、音別などの記事を見るとつくづく思います/町内の飲食店などで使える商品券を配布し消費喚起を促してほしい。飲食店は折角の客を逃がさないようリピーターとなってもらえるよう、そのチャンスをいかしてほしい/事務的、聞かれるから話しても薬が増やされるだけで、副作用があると言われて、こわくて飲まれないです。/一人で生活をして収入が少なくとも税金を払っているのに国からの援助がない/特に無し/町民全世帯への生活支援/世代に問わずの支援

【新型コロナウイルス感染症の影響が続いた場合に、重点的に実施してほしいこと】



		安定した医療体制確保	町民の感染防止対策	情報の状況や感染防止対策などの情報発信	打撃を受けている中小企業や自営業者への経済的支援	感染防止対策	小・中学生の学習支援、小・中学校の感染防止対策	幼稚園などの感染防止対策	子育て世代への経済的支援、保育所・幼稚園などの感染防止対策	町内商業施設、商店などの消費喚起	若者世代への支援	高齢者の生活支援	雇用対策・労働環境の改善	テレワークなど新しい働き方への対応	スポーツや文化活動への支援	都市圏からの移住者の受入体制の確保	町民活動・地域活動への支援	その他	無回答
性別	全体(n=788)	58.1	22.1	31.2	23.6	12.2	17.5	10.4	14.8	29.4	8.8	5.2	2.9	6.7	7.1	0.8	4.6		
	男性(n=337)	57.3	20.2	28.5	26.1	12.2	17.5	14.2	20.8	27.0	8.9	4.5	4.2	9.5	9.8	0.8	3.9		
	女性(n=435)	59.3	23.7	33.8	21.8	12.2	17.9	7.8	10.3	31.0	8.7	5.5	1.8	4.8	4.6	0.7	4.8		
年齢	10代(n=21)	71.4	19.0	19.0	4.8	28.6	23.8	4.8	42.9		9.5	28.6	9.5		9.5				
	20代(n=61)	42.6	14.8	4.9	31.1	16.4	31.1	11.5	34.4	6.6	9.8	11.5	4.9	6.6	6.6	1.6	1.6		
	30代(n=72)	48.6	12.5	19.4	22.2	27.8	34.7	9.7	36.1	5.6	8.3	8.3	8.3	9.7	8.3	1.4	4.2		
	40代(n=109)	59.6	12.8	22.0	33.0	23.9	21.1	12.8	18.3	16.5	18.3	7.3	2.8	6.4	1.8	0.8	0.8		
	50代(n=139)	64.7	28.8	37.4	23.0	12.2	10.8	11.5	11.5	23.0	12.2	4.3	1.4	5.8	3.8	0.7	3.8		
	60代(n=139)	64.7	25.9	42.4	29.5	5.8	11.5	10.8	8.6	36.7	9.4	4.3	2.9	9.4	5.8	0.7	2.2		
	70代(n=243)	55.1	24.7	35.8	16.9	8.7	14.4	9.1	5.3	49.4	2.1	0.8	1.2	5.8	11.9	0.8	9.5		
居住地区	湖南省市街(n=212)	60.8	26.9	31.6	26.9	12.7	14.6	12.7	12.7	32.5	7.1	5.2	0.8	5.7	5.7	0.5	2.8		
	湖南沿岸(n=26)	69.2	15.4	34.6	26.9		7.7	3.8	3.8	30.8	7.7	3.8	3.8	3.8	3.8		11.5		
	湖北省市街(n=453)	57.0	21.0	31.6	21.4	13.0	20.5	10.8	16.3	27.2	10.6	6.0	3.3	7.1	6.4	0.8	4.4		
	湖北北部(n=33)	48.5	15.2	21.2	30.3	15.2	15.2	6.1	21.2	30.3	3.0	6.1		12.1	18.2		3.0		
	湖北東部(n=10)	60.0	30.0	20.0	20.0	10.0	30.0		20.0	20.0	10.0		10.0				20.0		
	湖北西部(n=43)	58.1	18.6	30.2	23.3	9.3	9.3	7.0	11.6	41.9	2.3		2.3	7.0	16.3	4.7	7.0		

情報通信機器の利用状況と町のデジタル化について

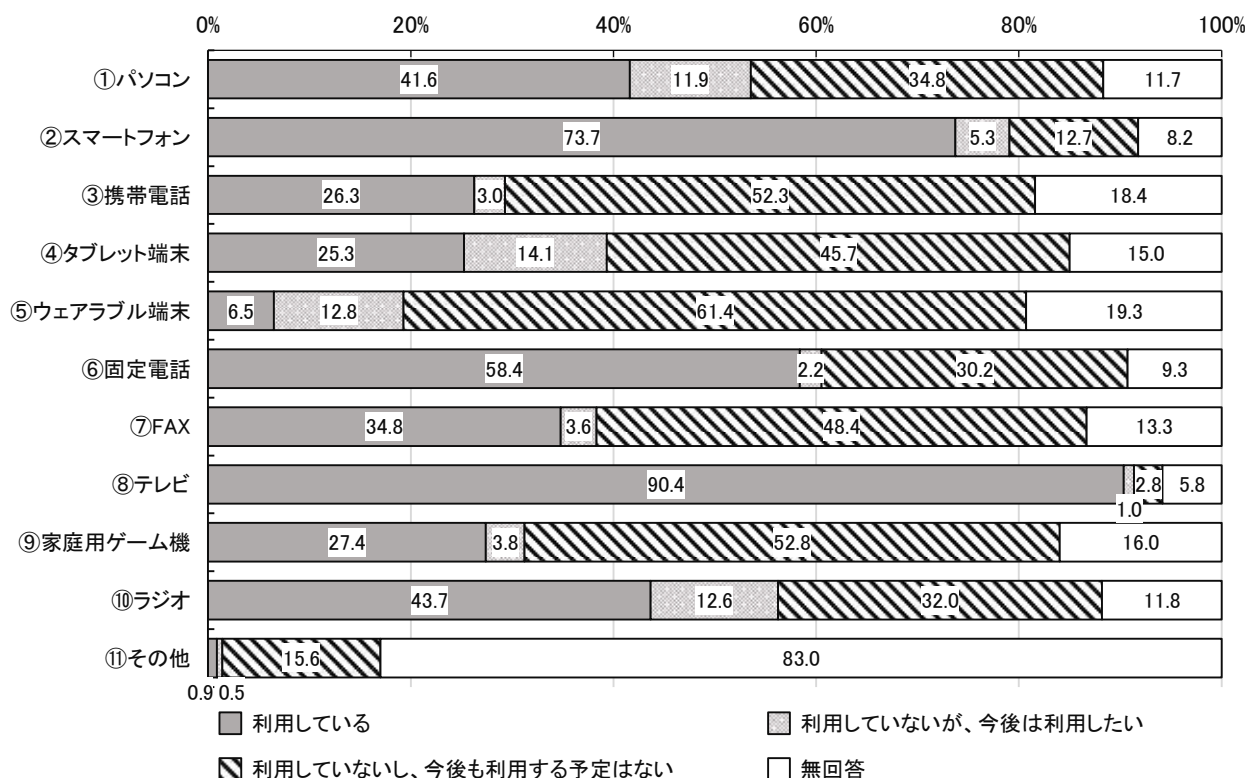
問13 あなたが利用している情報通信機器の利用状況についておたずねします。(①から⑪について、それぞれの項目ごとに1つつ〇印)

情報通信機器の利用状況については、「利用している」では、⑧テレビが90.4%と最も高く、次いで②スマートフォン(73.7%)、⑥固定電話(58.4%)等の順となっています。「利用していないが、今後は利用したい」では、④タブレット端末が14.1パーセントと最も高く、次いで⑤ウェアラブル端末(12.8%)、⑩ラジオ(12.6%)等の順となっています。「利用していないし、今後も利用する予定はない」では、⑤ウェアラブル端末が61.4%と最も高く、次いで⑨家庭用ゲーム機(52.8%)、③携帯電話(52.3%)等の順となっています。

[その他]

まちのIP端末/町の防災無線/入らない。ラジオ聞きたいけど/公衆電話/アレクサ/町のIP電話は、時代遅れだと思う。高齢者に対し、ウェアラブル端末を貸出で、徘徊老人対策や体調管理などしたら良いと思う/無線

【情報通信機器の利用状況】



問14 あなたにとって、次の行政分野のうちデジタル化が重要なものはどれですか。(○印はいくつでも)

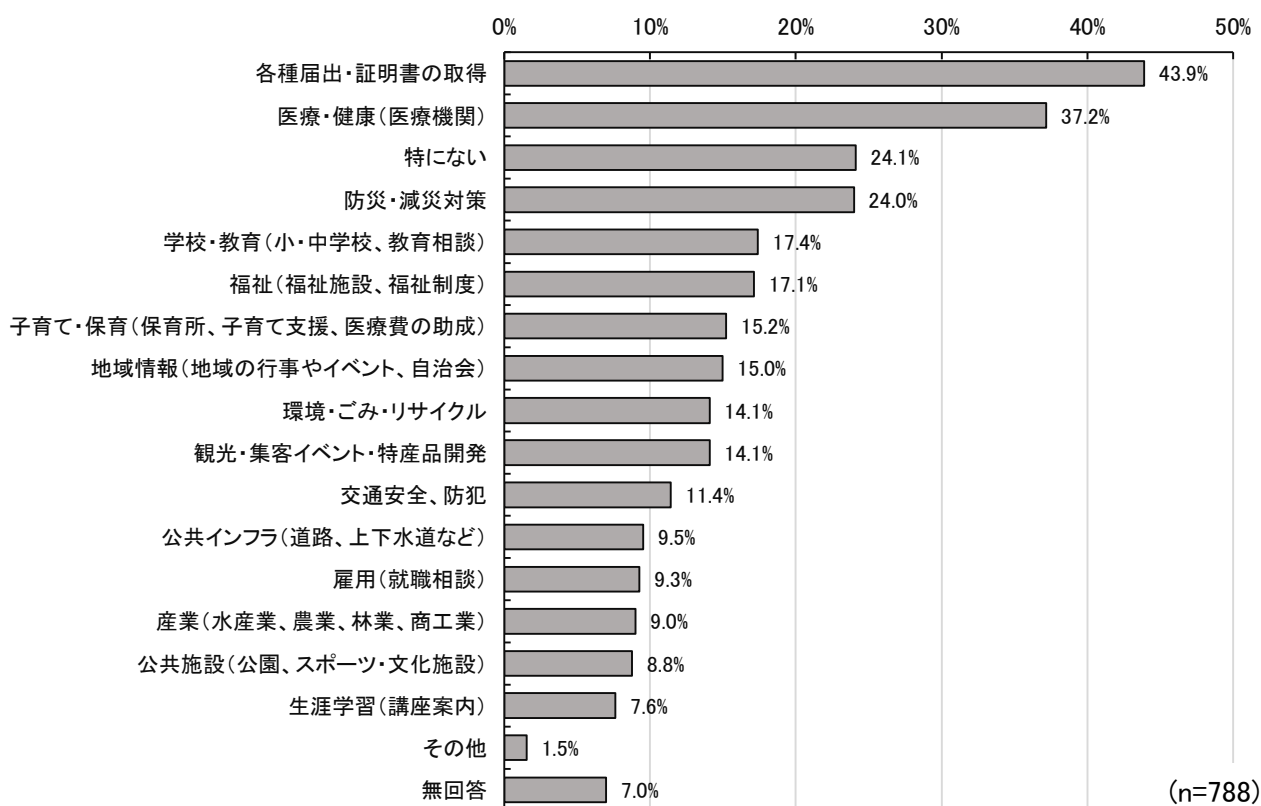
行政分野のうちデジタル化が重要なものについては、「各種届出・証明書の取得」が43.9%と最も高く、次いで「医療・健康(医療機関)」(37.2%)、「特にない」(24.1%)、「防災・減災対策」(24.0%)等の順となっています。

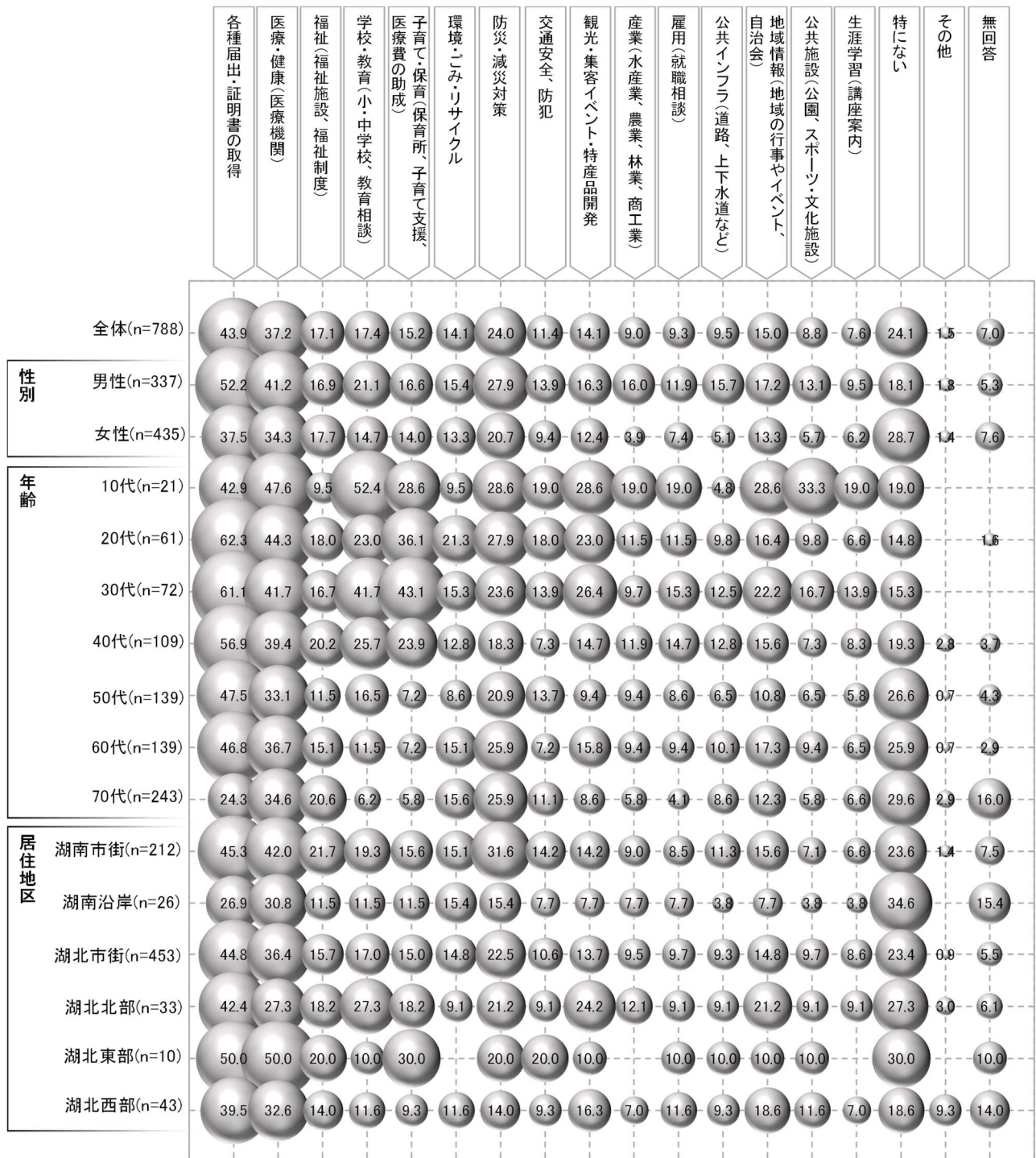
属性別にみると、性別では、「各種届出・証明書の取得」では、男性が52.2%で女性よりも割合が高くなっています。年齢別では、「公共施設(公園、スポーツ・文化施設)」では、10台が33.3%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、「各種届出・証明書の取得」では、湖南沿岸が26.9%で他の地区に比べて割合が低くなっています。

〔その他〕

デジタル化になるのは、うれしいが使い方に不安が。機材に弱い年寄りには、足が遠のくようなことです/老人にとってはデジタル化は大変です/デジタル化についていけません/選挙の投票/デジタル化廃止/使えない、わからない/携帯の電波が入らない/できるものから順次対策されたい/今の人の便利が私どもには不便で仕方ない!/デジタルに頼り過ぎだと思う。アナログ派です/高齢者対象に予習/デジタル化にするとどうなるのかわからないので答えられません

【デジタル化が重要なもの】





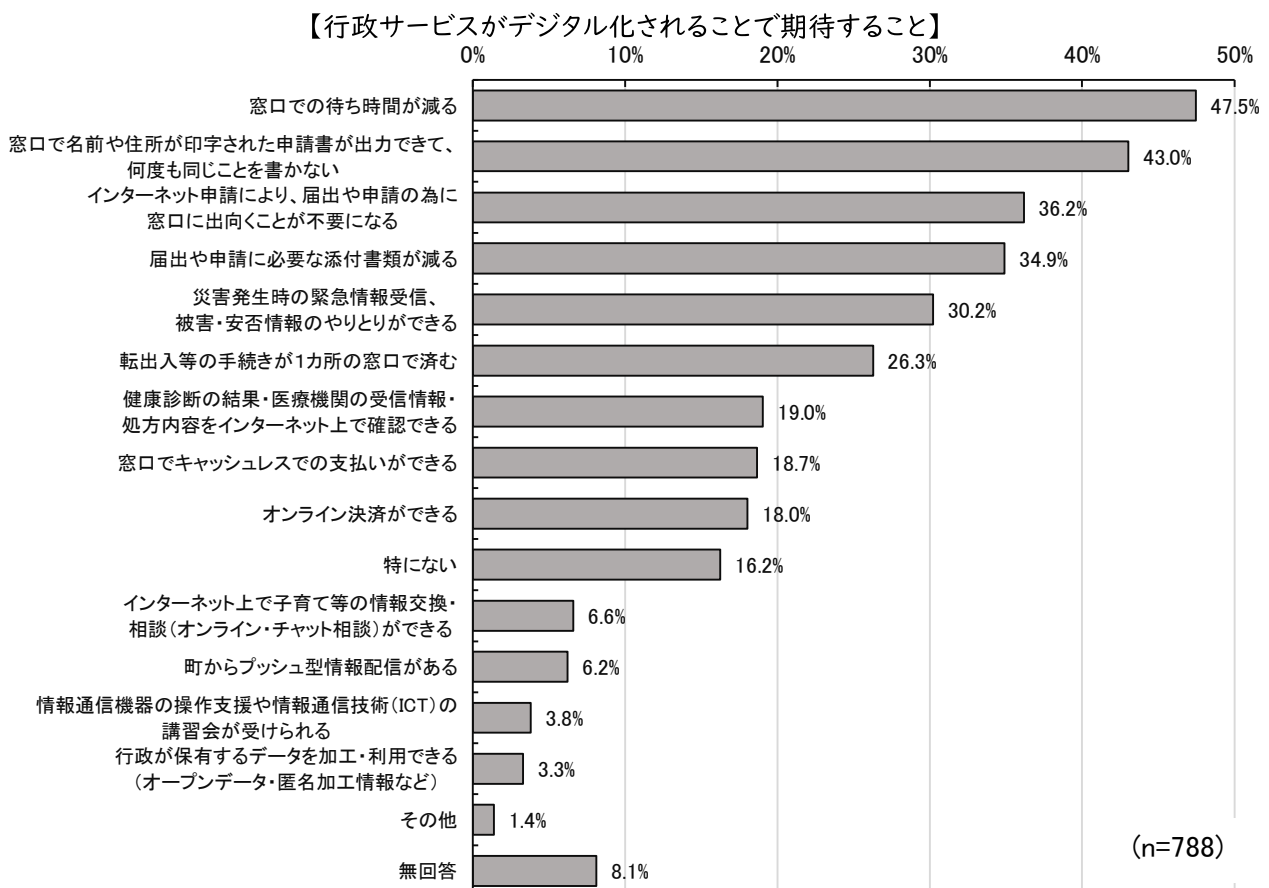
問15 あなたは今後行政手続きや行政サービスがデジタル化されることで、サービスがどのように良くなることを期待しますか。(○印はいくつでも)

行政サービスがデジタル化されることで期待することについては、「窓口での待ち時間が減る」が 47.5%と最も高く、次いで「窓口で名前や住所が印字された申請書が出力できて、何度も同じことを書かない」(43.0%)、「インターネット申請により、届出や申請の為に窓口に出向くことが不要になる」(36.2%)、「届出や申請に必要な添付書類が減る」(34.9%)等の順となっています。

属性別にみると、性別では、「オンライン決済ができる」では、男性が23.7%で女性よりも割合が高くなっています。年齢別では、「オンライン決済ができる」では、70代が3.3%で他の年代に比べて割合が低くなっています。居住地区別では、「窓口での待ち時間が減る」では、湖北東部が60.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

[その他]

広報写真(保有画像含む)のデータ提供/申請において関連するものへ一元的にできることを期待する。一度に連携できるシステム/若者にはいいことであるが、高齢者には大変なことでもあると思う/スマホの使い方がわからないので困ることの方が多い/時代についていけない人も沢山いると思う。今まで通りでいいと感じている人もいます/病院で待たされるのは嫌ですが、デジタル化して便利になるのはいいが、犯罪につながるのではないかと心配/ネット等 Wi-Fi の通信ができない(電波なし)ので、デジタル化されても特に利便性を感じない/梅香支所、本町もそうです。窓口にたずねると親切に教えてくれるので心配いらない/役場に行った方が早いし確実と思うところが田舎の良いところ/役場へ行かずにネット上で全ての手続きができる事。サービスの向上と人員の削減もしくは負担の低減



		窓口での待ち時間が減る	転出入等の手続きが1カ所の窓口で済む	窓口で名前や住所が印字された申請書が出 力できて、何度も同じことを書かない	届出や申請に必要な添付書類が減る	インターネット申請により、届出や申請の 為に窓口に向くことが不要になる	オンライン決済ができる	窓口でキャッシュレスでの支払いができる	災害発生時の緊急情報受信、被害・安否情 報のやりとりができる	健康診断の結果・医療機関の受診情報・ 処方内容をインターネット上で確認できる	インターネット上で子育て等の情報交換・相 談（オンライン・チャット相談）ができる	町からプッシュ型情報配信がある	行政が保有するデータを加工・利用できる （オープンデータ・匿名加工情報など）	情報通信機器の操作支援や情報通信技術 （ICT）の講習会が受けられる	特になし	その他	無回答
性別	全体(n=788)	47.5	26.3	43.0	34.9	36.2	18.0	18.7	30.2	19.0	6.6	6.2	3.3	3.8	16.2	1.4	8.1
	男性(n=337)	51.9	26.1	41.8	35.6	37.4	23.7	21.4	31.5	20.2	6.2	7.7	5.6	4.2	16.9	1.5	6.5
性別	女性(n=435)	44.1	26.4	43.7	34.5	35.2	13.3	16.3	29.9	18.4	6.4	5.3	1.4	3.4	15.6	1.4	9.0
年齢	10代(n=21)	61.9	28.6	38.1	42.9	52.4	42.9	23.8	33.3	28.6	33.3	9.5	9.5	14.3	9.5		
	20代(n=61)	65.6	50.8	52.5	45.9	63.9	37.7	41.0	31.1	26.2	16.4	4.9	6.6	1.6	4.9		
	30代(n=72)	65.3	34.7	51.4	51.4	62.5	44.4	33.3	38.9	23.6	20.8	16.7	6.9	4.2	11.1	1.4	
	40代(n=109)	53.2	36.7	44.0	42.2	49.5	25.7	23.9	23.9	18.3	3.7	4.6	5.5	3.7	11.0	2.8	4.6
	50代(n=139)	46.8	25.9	45.3	31.7	45.3	21.6	20.1	31.7	22.3	5.8	7.2	2.9	5.0	15.8	1.4	5.0
	60代(n=139)	46.8	25.9	43.2	40.3	28.8	7.9	15.1	40.3	17.3	4.3	7.2	2.9	2.2	17.3	0.7	4.3
	70代(n=243)	34.2	13.2	37.0	22.6	13.2	3.3	7.4	23.5	14.8	0.8	2.9	0.4	3.7	23.5	1.6	18.5
居住地区	湖南省市街(n=212)	45.8	25.9	45.8	31.6	36.3	17.0	20.3	34.9	21.7	6.1	4.7	3.8	3.3	16.0	1.4	7.5
	湖南沿岸(n=26)	38.5	11.5	34.6	23.1	26.9	11.5	7.7	23.1	7.7	3.8	7.7			23.1		19.2
	湖北省市街(n=453)	51.0	29.6	44.6	38.9	39.1	20.3	19.9	31.3	19.4	7.5	7.1	3.3	4.4	13.5	1.3	7.1
	湖北北部(n=33)	33.3	21.2	30.3	33.3	24.2	12.1	12.1	24.2	12.1	3.0	9.1	3.0	9.1	30.3		9.1
	湖北東部(n=10)	60.0	10.0	20.0	20.0	20.0					10.0				30.0		10.0
	湖北西部(n=43)	32.6	11.6	34.9	20.9	20.9	11.6	16.3	16.3	20.9	4.7	4.7	4.7		25.6	4.7	14.0

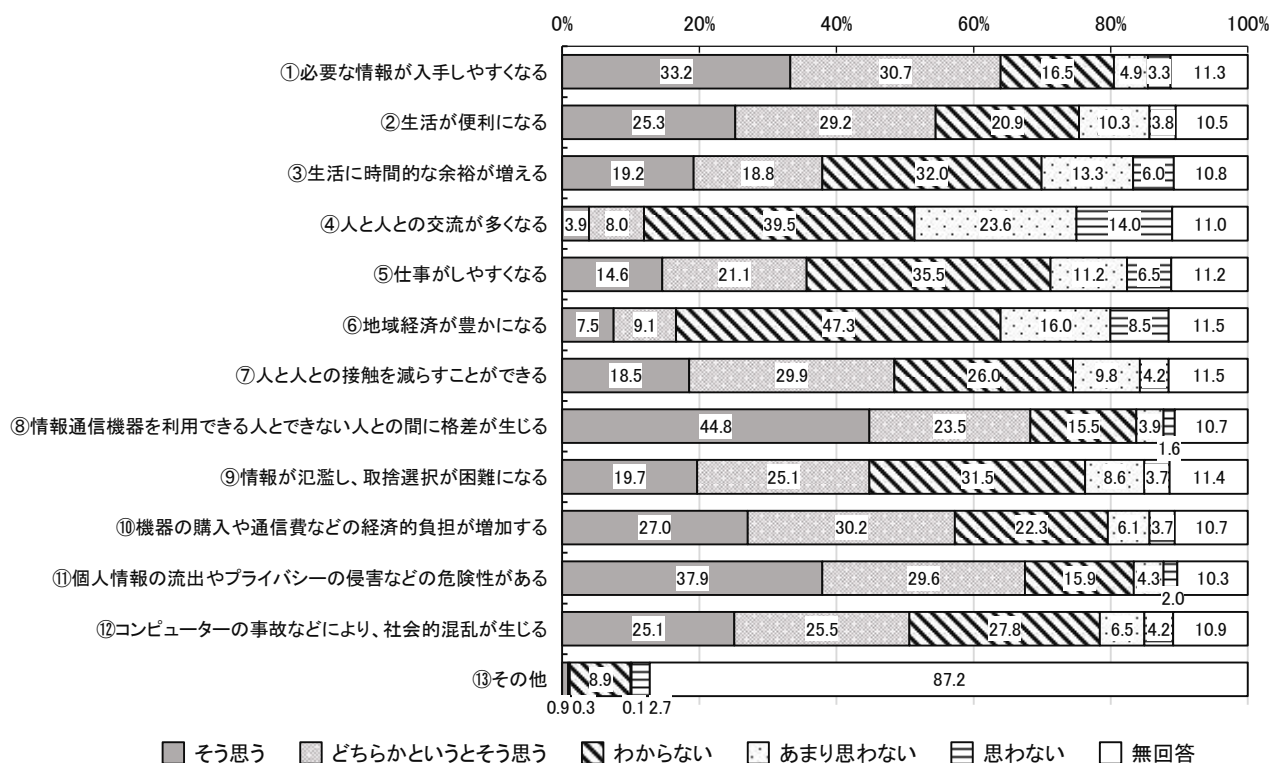
問16 あなたは、デジタル化が進展することによって生じる影響について、どのようにお考えですか。
(それぞれの項目ごとに1つずつ○印)

デジタル化が進展することによって生じる影響については、「そう思う」では、⑧情報通信機器を利用できる人とできない人との間に格差が生じるが44.8%と最も高く、次いで⑪個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある(37.9%)、①必要な情報が入手しやすくなる(33.2%)、⑩機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する(27.0%)等の順となっています。「どちらかというと思う」では、①必要な情報が入手しやすくなるが30.7%と最も高く、次いで⑩機器の購入や通信費などの経済的負担が増加する(30.2%)、⑦人と人との接触を減らすことができる(29.9%)、⑪個人情報の流出やプライバシーの侵害などの危険性がある(29.6%)等の順となっています。「わからない」では、⑥地域経済が豊かになるが47.3%と最も高く、次いで④人と人との交流が多くなる(39.5%)、⑤仕事がしやすくなる(35.5%)、③生活に時間的な余裕が増える(32.0%)等の順となっています。「あまり思わない」では、④人と人との交流が多くなるが23.5%と最も高く、次いで⑥地域経済が豊かになる(16.0%)、③生活に時間的な余裕が増える(13.3%)、⑤仕事がしやすくなる(11.2%)等の順となっています。「思わない」では、④人と人との交流が多くなるが14.0%と最も高く、次いで⑥地域経済が豊かになる(8.5%)、⑤仕事がしやすくなる(6.5%)、③生活に時間的な余裕が増える(6.0%)等の順となっています。

[その他]

防災や被災対策に有効な手段となる/高齢者を置き去りにされる/最近のテレビ等はニュースでは通信機器の利用が多くなると同時に犯罪が多くなる/人とのコミュニティーが減り、田舎地域が崩壊する/悪利用者が出るかと不安/世帯構成により利用理解度の差が生じるのではないかと/コンピュータウイルス増加

【デジタル化が進展することによって生じる影響】



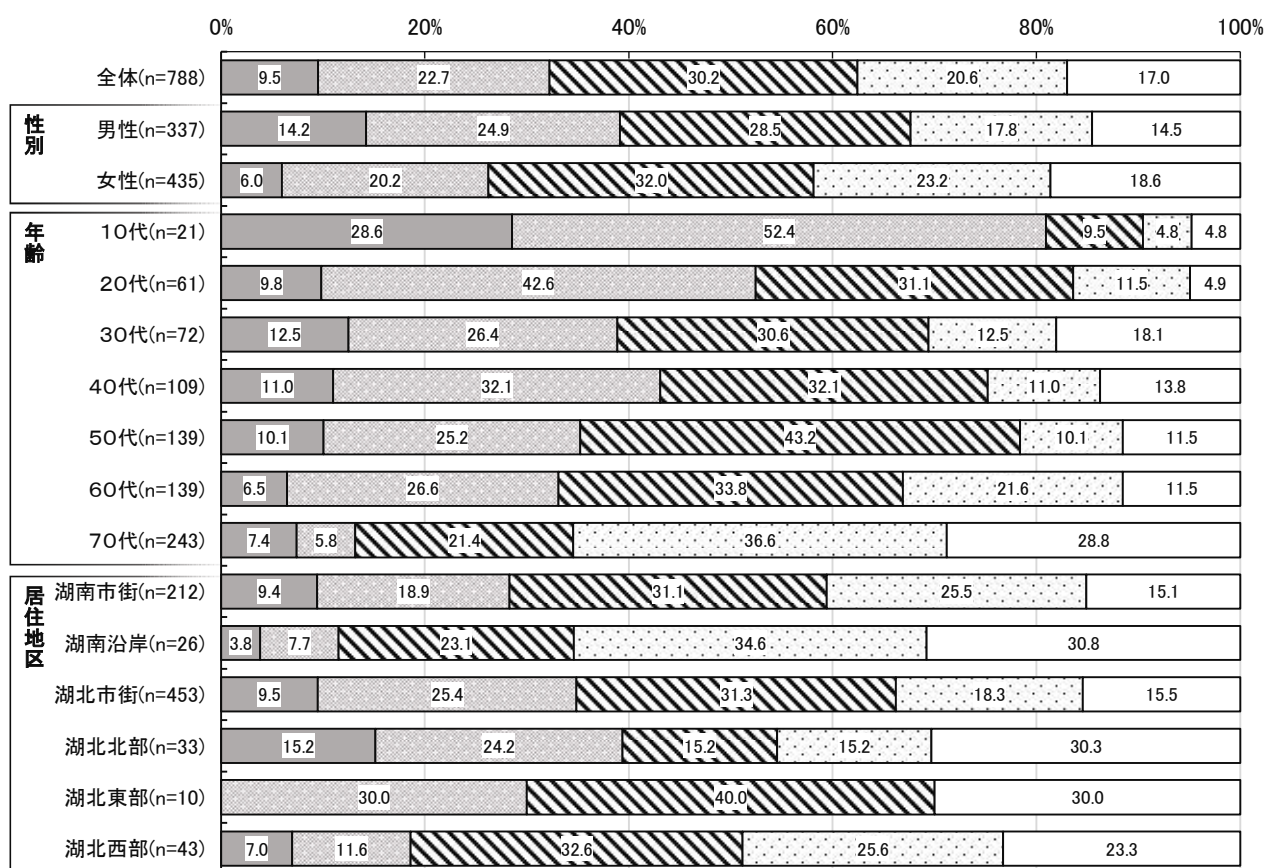
SDGsについて

問17 あなたは、SDGsをどの程度ご存じですか。(1つに○印)

SDGsの認知については、「SDGsという言葉は聞いたことがある、もしくはロゴは見たことがある」が30.2%と最も高く、次いで「何となく知っている」(22.7%)、「知らない(今回の調査で初めて知った)」(20.6%)、「内容まで理解している」(9.5%)の順となっています。

属性別にみると、性別では、「内容まで理解している」では、男性が14.2%で女性よりも割合が高くなっています。年齢別では、「内容まで理解している」では、10代が28.6%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、「内容まで理解している」では、湖北北部が15.2%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

【SDGsの認知】



■ 内容まで理解している(持続可能な開発を目指す上で経済、社会、環境の統合が重要であることを知っている)

■ 何となく知っている

(2030年までに達成すべきゴールであるということを知っている、もしくは17のゴール、169のターゲットから構成されていることを知っている)

■ SDGsという言葉は聞いたことがある、もしくはロゴは見たことがある

□ 知らない(今回の調査で初めて知った)

□ 無回答

厚岸町の行政に望むことや自由意見についておたずねします。

問18	町政に望むことや、今後のまちづくりについて、ご意見などがございましたらご自由にお書きください。
-----	---

デジタル化についてなど

意見
このような調査は難しい高齢者にとっては情報通信などのことなどよくわかりません。
デジタル化もいいですが、デジタルに弱い方もいるのでなんでもかんでもデジタルに依存するのはどうかと思っています。現在の小学生がタブレットを持ち帰るのはなぜでしょうか？昔であればノート学習のみだったはずなのに、持ち帰らせてまでのタブレット学習は必要でしょうか？アナログ人間なのでなんでもパソコンやスマートフォンで出来てしまう世の中は少しこわいなと感じております。
設備がアナログなものが多すぎると思うので、もう少しデジタル化を進めないと厚岸町に未来はないと思う。
デジタル化はいいことだが、高齢者はうまく使いこなせない可能性が高いため、行政側からのアクションが必要と考えます。
デジタル化をすすめ人員（人件費）を減らすこと。人口に対し多すぎる！
デジタル化の推進はいいが、高齢者を含む情報通信機器利用弱者（使用ができない者）の対策が必要と考える。
デジタル化などについていけません。スマホなどは電話で使うだけです。
デジタル化は必須で、仕事の仕方もテレワークは、普通にして、福祉の充実で幸福度を上げる。

役場についてなど

意見
公務員は町民サービス業であることを考えて仕事しなければ、厚岸町はよくなる。
精神的に弱い職員が少なくないと聞く。町民などからのクレーム体制の強化策を考えられないか？
しっかりした将来計画を策定し、町民へ示すべきと考える。また、老朽した施設の集約も必要と考える。例えば、散在している公園を数カ所として、行き届いた管理を行えば、子どもたちの利用増や管理費削減になるのでは。町職員なら町内に居住し、自治会活動へ積極的に協力すべきでないか。だから厚岸町に住んでいないものが、厚岸の将来を考えられるのかと揶揄されるのだ。窓口業務は各部署が連携し行う体制の構築と、職員の説明能力と就労意識の向上が必要。手続きに出向いても、こちらの都合で遅れている。担当者不在。とか…。管理職の能力不足？指導力不足？
係と打ち合わせを行っても守られない。施設の管理（草刈り、ごみ拾い等）を助けても「ありがとう」の一言もない。
申請書類を出すとき、同じような内容の書類に何枚も印を押すのでうんざりだ。
役場玄関の自動ドアの錆が気になります。まちの窓口として恥ずかしい。お金をかけるべきだと思います。
役場の中で部署によって、超過勤務の時間の多さに偏りがあると思うので、平準化するよう取り組んでほしい。
第6期厚岸町総合計画策定に当たる職員の皆さまご苦労様です。調査にご協力も大切であろうが、自分の目で目を見町民の声を聞き、民意を反映する政策を望む。

意見
役場職員の態度が悪い!笑顔がない。覇気がない。やる気も感じられない。感じが悪い。カウンター内ではまずまずの対応だが、一步外に出ると「別人」となる人物が多い。きっとその場限りの仕事しかしていないのだろう。職員の教育をきっちりすべき。行政サービス業であることを叩き込むべき。
我が家は母子家庭、子どもは高1で春に児童手当を切られ必死で働きました。すると公住の家賃があがり、税金も上がりました。扶養手当は少しだけ出ています。一生懸命働いても苦しいです。働かない方がいいのかな?と思うときもあります。時々やる気を失うことがあります。役場の人、払うものはなにがなんでも払えという。こちらでなにかお願いすると忘れて、次に電話しても初耳状態…。だから役場の人ってだめだねって言われるんです。
町役場の職員が毎年沢山やめていくと聞き、一人一人の負担が大きいのかと町民として心配です。人を増やせばいいという単純なことではないと思いますが、ブラックと言われることが少なくなる役場であってほしいです。
せっかく採用された町の職員が早く離脱するなど残念です。職場の仲間や上司が寄り添う気持ちが不足していると思います。上司は職員の家族関係や悩みわからないままになっているのでは、辞める時も上司は引き留めるでもなく、ああそうですかと終わっているのではないのでしょうか。もっと職員仲間に寄り添うなど、職場環境の改善を望みます。精神的ケアをする専門チームをつくってはどうか。
役場職員の数はたくさんいますが、手続き等に行った時に、こちらを見ても、挨拶もなし、誰かが、行くだろうから行かない という態度が見え見え な事が多々あり、不愉快な気持ちになる事があります 実際、手続きをしてもらおうと、親切丁寧に、教えてくれて感じは良いのに、残念です
防災面からも町職員は町内に在住して欲しいというのが本音です。

子育て支援など

意見
子育て世代に対する支援はすごく充実していると思いますが、それで出生率が上がるのか?という疑問はあります。子育て世代の生活が裕福になり、貯蓄が増えているだけのようによいと思います。お金の支給ではなく別な方法での支援を考えてほしいです。
・子育てに対する保育料の無償化等は満足しているが、保育所の時間の定めが明確に定まっておらず迷惑している。・子どもが遊べるところが少なすぎて困る。・公園の整備が不十分。・室内で遊べる施設がないので困る(夢の森公園のような公園を望む)。
部活動の外部化を早く進めて欲しい
子どもが遊ぶところが少ない。公園は草や鹿のフンが多く遊べないので、使えるように綺麗にしてほしいです。
子どもの遊び場が少ない気がします。公園も芝生が多く、鹿のフンがすごいです。なにか対策していただきたいです。
子どもたちが安心して遊べる室内運動場をつくってほしいです。他の町でもいろいろつくって楽しそうです!
子供を安全に遊ばせられる場所が少ないので、どうしても休みの日は釧路まで出てしまう。 蚊や鹿の糞などが多く、熊の出没も増えている事から町内の公園では自由に遊ばせることが出来ない。
子どもが遊べる場(綺麗な公園)がほしいです。

意見
屋内外で遊べる、水遊びの出来る公園。・子どもイベント（現状町民が主催しており負担が大きい）。・イベントの細かなスケジュール等の情報のデジタル化。・皮膚科、耳鼻咽喉科の設置。・子育て支援の充実（チャイルドボックスやおむつ、ミルク、米等の割引）。情報館が充実していたり、海事記念館の無料化、ランドセルの補助、子供医療費 18 歳まで無料等やっています。
冬でも遊べる室内の遊び場がほしいです。観光客がきても楽しめるところ。道の駅内に子ども用のプレイルームができるところが増えてます。漁網の再利用などできたらいいですね。たくさんの支援大変ありがたいです。これからもよろしくお願いします。
子育て世代への支援（給付金や保育料無料など）とても助かっており、子育てしやすいです。ぜひ続けてほしいです。しかし、長い間住み続けるには子どもに対する教育に不安があります。団体スポーツの希薄（昔はどの競技も強かったが、今はまったく聞かない）学力の低下などが気になるので、将来的には出なければならないのかな？と思ってしまいます。住みづらいまちではないので、その部分が改善されたらと思います。人口減少も気になります。
子どもの医療費助成など、すごく助かっています。その他の市町村のように、水道料金が無料であったり、安くなることもうらやましいですが、医療費の助成だけでも十分助かっています。ありがとうございます。
もう少し町民の声を聞いて動いてほしいと思います。子育て世帯とか言っても、ひとり親、低所得者だったりするし、両方親がいても同じでいいと思う。
現在妊婦も大事なんだろうが多子世帯への思い切った支援を望む。国とは真剣さが違うと言う姿を見てほしい

まちづくりについてなど

意見
町民同士が交流できる機会を多く企画してほしい！若い人とお年寄りの仕事を確保してほしい！とにかくまち全体が活気のあふれるように願っています！
今後の厚岸町を担っていく、子どもたちが進学就職についても視野を大きく広げられるような町であり、いつでも近くに感じられる”ふるさと”であってほしいと思います。この町で育ったこと、自慢できるということが重要だと。自然豊かで住みやすい町を今後も維持してほしいと思います。行政の方々の働きがあってこそ、保たれていると思います、いつもありがとうございます。今後ともよろしくお願いします。
福祉の充実。そこで暮らす人、働く人の安定した生活。
住みよいまちとなるよう、環境整備に力を入れてください。あまりにも鹿が自由に住み着いていることにより、自然をなくしています。
自分の厚岸、みんなの厚岸と一人一人が厚岸を大切に思える。子どもへの教育、文化、産業、自然を大切にする一人一人になろう！
買い物と遊び場を一体化するようなところ。現在のコンキリエには遊び場が外に少ししかないため、景色の見える山の一部をなにかしらの施設にしてほしい。
カキの産地なのに高い。美味しいが住民にお得感がまったくない。・まちが支援し、温泉（わかして OK）をつくってほしい。サウナを整備すれば観光客を含め、集客が見込める。風呂上がりのハイボールを打ち出せば産業になると思う。太田や浜中の牛乳もタイアップして。
議席数多すぎ、同じ顔ばかり、若い人の意見を聞かない。だから若い人の言葉が届かない。

意見
若者の町外流出を止められる良い案はないのでしょうか。どこかの企業の誘致や勧誘などは難しいのでしょうか。人口が年々減っていくのが寂しいです。
若い人の考えや意見を中心に将来のビジョンを作成すべきだと思います。若い人が積極的に意見を出せるような方法を考えるべきでは。
高齢化が著しく、若者が減ってきているので、若者の流出を食い止めるための努力をした方がいい（大型ショッピングモール、交通設備の充実）。
町全体的な取り組みとして、若年層の給料の見直しをする必要がある。
楽しいまちづくりですね。
少子高齢化の対策は必須と思う。今回のアンケート内容も大事だと考えますが、厚岸町の人口減少対策を最優先で対応すべきと考えます。
冬に標茶に SL 湿原号を見に行きました。標茶は SL のお客さんを受け入れる取組み、町民の協力、まあの PR がすごかったです。飲食店もたくさんあり、沢山の人が入っていました。厚岸町も別寒辺牛湿原など、素晴らしいものがあるのもったいないです。JR と協力して、ノロッコ号など走るようにしてはどうでしょうか？そのためには厚岸の飲食店の協力、町民の受け入れる気持ちが大事だと思います。厚岸町はいいところたくさんあります。もっと PR してなにかやった方がいいと思います。
若い世代の人たちが動きやすい、行動しやすい環境づくりをしてあげてほしい。若い世代の人を管理職に抜擢し（30代以下）今の時代に合った新しい形を作っていくことを持続して、魅力あるまちづくりをしてほしい。特に観光などの新しい可能性のある行政サービスは力を入れて取り組むべき課題。
町内に若い人が居住しやすい環境づくりは出来ないか。農業、漁業に関する知識や技術を学べる学校を誘致する等してはどうか。そうすることにより、町内に将来的に人がとどまるまたは町外からの転入者も増えるのではないか。
とにかく雇用が少ないこと。定年後や若者の働き場所。
子どもが住みやすいまちづくりをしてください。このまま人口が減り続けると、厚岸に住むメリットがなくなっていく気がします。一次産業の働き手もいなく、高齢化もどんどん進んでいるので、地域ぐるみでボランティアをしたり、公務員の人や会社員の人等、協力してあげられる人はたくさんいると思うので、その人たちが働ける（協力してあげられる）環境をつくってもいいのかなと思います。
小さい町は、職員も変わらず、町議も変わらずだと保守的で視野の狭い取組みが多くなり、新しい取組みが少ないと感じる。小さな町だからこそ合理的で革新的な取組みをしないと都市部へ人口の流出が止まらないと思うし、過疎化と高齢化率が進むと思うので、住み続けたいと思える町づくりを望んでいます。
町政に望むところはありますが、①町内の雇用拡大を図るために企業誘致を図ってほしいです。②空き店舗が少なく感じます。案ですが新規創業者のためにテナント物件をまちでつけれないものでしょうか？
漁業、農業、酪農業がピカリと光っている厚岸町であること。
行政が先に立って生産性を考えるメニューがない。町民が新しく思考、取り組むのにリスクが大きいので産業の施行に取り組んでほしい。

意見
日本の産業に対し、しっかりと協力（厚岸町内）をしなければ仕事が無くなり、人口は減り小さな町になります。
高齢者にやさしく、若い人には希望のあるまちに。
厚岸町発祥の地である湖南地区の振興をもっと具体的に注力して施策を検討し推進すること。湖区がそれなりに発展しても、厚岸町としては意味ない。大橋がいかされていない！
毎月町の広報誌の（ひとのうごき）の人口減に心痛めております。
町民が誰一人困ることなく、大好きな厚岸で暮らしていければと思います。よろしくお願いします。
車がなくても生きていける町。家を建てると長く利点があると思える町。子供達のがのびのびと遊ぶ場所がある町。何を町の魅力としたいのか一つの目標がある町。施設がまとまりあるコンパクトシティ。

障がい者についてなど

意見
介護の相談場所（悩みいえないこともあり）。
障がい者のような弱者も切り捨てない町政であってほしい。
障害者雇用促進 町内に就労継続支援 A 型が無いので 現状釧路方面で探すしかない

高齢者支援についてなど

意見
これからますます高齢化社会になっていく上で、介護等の相談をその他の集会所等で相談を受け付けるなど対策をしては？あみかなど、なかなか行けない人もいるのでは？
もっと高齢者に対して優しい生活をさせてくれ。お金を配ってくれたら生きるのが出来る気がします。金くれ。
特に年寄りにはいつも心穏やかに日々過ごせることを願っています。
年金生活で思うことは、介護保険のあまりの高額さに驚いております。国民年金では生活が大変かとだんだん老人ているからでしょうか？
高齢者にコロナワクチン予防接種の日と場所を決めて、郵送にて接種券を送っていただき嬉しく思っています。これからもよろしくお願いします。
高齢かなので、高齢者にやさしいまちづくりを（子育て世代も大変だが、年金暮らしも大変そう）。
後期高齢者の生活が厳しいと聞いています。町では後期高齢者に対してもう少し生活保護を充実させてはどうですか。高齢者世帯の税をもう少し考えてはどうですか。
個人的意見です。課税、非課税世帯の町からのフォローの差を感じます。課税世帯においても、高齢者（仮に 85 歳以上）と同居している場合優遇措置があっていると思います。現在町内で高齢者施設の入所がむずかしい（特に金額面と施設数）。お金がないと入所できないのが現状。
車を持っていない高齢者に暮らしやすい支援をして欲しい。

住居についてなど

意見
住む場所が少ないです。借家、貸家など、少なく住環境を整備してほしいです。
・売家や賃貸が少ない。・アパートが単身向けばかり。ファミリー向けの住宅があればいいと思う。・家を建てたりするときの助成を増やしてほしい。

空き家についてなど

意見
空き家があり、そこのご近所が生活に困っておられる様子です。できる限り片付けなどされてくださっています。自分たちも気をつけなければと感じています。
町で空き家バンク始めたのは知っていますが、登録件数はどれだけあるんでしょうか？周知が足りないのではないですか？
空き家がとても目立つので、解体申請の上限をもっと増やすべき。20件は少なすぎる。
空家の活用法。
空き家に店が建ってほしい。

環境・美化についてなど

意見
厚岸町の山の方に住む住人ですが、道路の脇の草、木々が垂れ下がっていて走るのに邪魔になるし、見にくいので早めに対処して下さると助かります。手を抜かないできちんと仕事してほしい。後で嫌な思いするから。
空地（土地の所有者）の雑草刈りなどしてほしいです。あと鹿の侵入防止のネットとかしてほしいです。
町の中が雑草などで汚いと思います。観光の町としてももう少し何とかしないと過疎の田舎って感じて残念です。せっかくコンキリエが道の駅で有名になっているのに、ほかはあんまりよくないと思います。
まちの景観への対策が必要（空き家、廃墟の放置、事業者の物品積み上げ等）
（暑い中の草刈りお疲れ様です）車が通るときに草刈りをやめてほしいです（石が飛んできて傷がつくので）。
高速道路の残土による悪影響と、残土自体はどう処理しようと考えているのか。
鹿、増えている。今のうちに減らしてください。真ダニがいるしコンキリエの近くにたくさん出てくる。
鹿の交通事故対策として、人感センサーのようなものを道路に付けられないか。
町の中に鹿が出ないようにしてほしい。花も野菜も食べられてしまうので作れない。難しいとは思いますが？
コンキリエの近くの鹿をどうにかしてほしい。
鹿による自宅周りのフン害、花壇を荒らされる、車と事故になりそうなところをよく見かける。鹿駆除に力を入れて欲しい
鹿、熊へ対応、対策。
熊や鹿の駆除は民間での対応では限界があると思うので、自衛隊の火器で駆除してほしい。
公園の草刈りを定期的にしてほしい。
環境保全に関する意識、リテラシーの向上を図っていただきたいと思います。

意見
全国豊かな海づくり大会当日、天皇陛下の前に「鹿がちらつかないよう」市街地に出没する鹿の退治を徹底的にやってほしい。
6月に買い物に行くとき、港町の第二公園の歩道を歩いていたら、上から枯木が落ちてきてびっくりしました。周りの木が高くなりすぎですね。三分の一くらいカットしてもいいんじゃないでしょうか。
・町が積極的に産業廃棄物の処理に取り組んでください。産業廃棄物がどのように処理されているかご存知ですか！（ゴミ収集で拒否されるゴミ類）。・森林を破壊した太陽パネルの設置の禁止。景観や自然保護の観点から規制してください。・産業に（漁業、農業）SDG の考えをもっと発信、SDGsを売り出した産業を厚岸の強みにする。
ゴミのポイ捨てが多いので対策をしてほしい。

スポーツ・健康づくりについてなど

意見
早急に町のケーブルテレビの前進と、スポーツに力を注いでほしいと思います。他町村からみても、厚岸町はスポーツ関係が大変遅れていると感じます。
体育振興を切り離し民間主導にして、まちの柱となるスポーツ振興を進めてほしい。
トレーニング施設（スミスだけでは不足、台数も限られているため十分な利用ができません）の拡充を図ってほしい。毎週釧路まで通うことは大変。高齢化が進んでいるため、介護予防のためにも必要性は高いと思われる。子育て世帯だけではなく、単身世帯の支援こそ必要だと思います。
学生のスポーツへの意欲がなさ過ぎると思うので、夏はマラソン等、冬はスケートの授業を増やしていった方がいいと思った。学校側が積極的に取り組んでいくべき。

アンケートについてなど

意見
アンケートは生活していることにあまり意味のあるものでもないことで、
わかる人は、返信用のバーコードで、誰が出したかわかるので、本当の意見は堕しづらと思います。工夫してはどうでしょう。抽出なのにアンケートが多いのはなぜでしょう。
返信用封筒は大きい袋がよかった。小さくて入れるのが大変！
SDGsについて詳しく説明しろ。P.9 ではわかんないぞ。一目でわかる説明しろ。
町民満足度調査というがなにをもって満足とするのか、若者と年寄りでは満足の度数が違うでしょう。
このアンケートで居住地域を答える必要があるのでしょうか。「ご自身のことをおたずねします」にすべて答えるとある程度の個人を特定できます。今後居住地域の質問を削除することを望みます。
アンケートについて。①満足度②重要度という問いの①及び②の関連性を考えるのは非常に難しい。
70 歳以上にはとてもむずかしかったです。回答する数が多すぎました。
アンケートがわかりにくかったです これについては こう言う取り組みをしていますが どうですか？じゃないと 何の取り組みをしてるのかがわからなかったです

道路・公共交通についてなど

意見
今 大変に道路整備をやっていますが、まだいろいろなところが悪い所がある。
とにかく交通が不便、福祉交通券をもらっているが利用していない。釧路まで列車乗車できるが、駅（厚岸 or 門静）までの便がない。思うように買い物ができない。公的手段で走るスーパーカーが町内を巡る、あるいは買い物集団を乗せる配車はできないでしょうか。他県の自治体で実施していた。
夜のタクシーを運行させてほしい。
札幌～厚岸の直行バスがほしい。乗り継ぎに時間を要する。
港町の（有）オートショップなかがわの近くの一時的停止の交差点の事故がなくなるので、何か対策をしてほしい（前に町報の町長へ質問に載ってたのを見ましたが相変わらず減らないので）。
買い物用のバスが新たに運行しているが、ちょっと不便という声を聞いたので、お試しツアーのようなことを自治体単位で体験出来たらもっと利用しやすくなると思う。
公共交通機関の充実を。車が乗れなくなったら駅までもいけない。不便。先が不安。
アサリ採取場所までの道路状態の改善を望みます。
特に地域交通機関の利用の利便性と、地域医療の確保を優先した行政施策を望む。
この度の買い物バスは大変よかったと思います。これは道庁の関係だと思いますが、ぽんと6丁目から7丁目まで子野日公園まであまりにもわるいので、早くなおしてほしいです。片方だけでいいのですが歩道について。
道路の整備（公園も）。歩道の劣化、白線の塗り直しなど多々あり。
厚岸町内での職が見つからず、釧路に通勤しているが、会社からの通勤費が全額出ず差額は実費となっております。今はバス通勤ですが、冬場になるとバスの時間だと間に合わなくなってきます。行きは JR、帰りはバスなど両方を利用しなくてはならなくなる。そうすると金銭的につらくなる。またバスも JR もダイヤが同じ時間帯なので、時間を少しずらすよう町から打診してほしい。あともう少しでよいので、学生ばかりにあわせるのではなく、通勤しやすくしてほしいです。
いつもなにかある度に電話してますが、今、住んでいる道路がガタガタ、マンホールは黒い袋で埋めてなおすだけ！大型バスが奥まで入ってアサリの潮干狩りをしていますが、とてもひどい道路です！トラックも出入りする道なので、もう少しきちんと整備してほしいです。
道路を直してほしいです。できれば街灯もつけてほしいです。
太田で生まれ育ち 92 歳まで生かされてもらってます。私たちの学校に通っていた昔は、春先は雪解けのとき歩くつも道路がドロドロで、いつも半泣きで学校に通ったことを思い浮かべると、今は太田でもはじからはじのアスファルトになり、町並みの道路にしてもらい、今はなにひとつ言うことありません。ありがとうございます。町長さんありがとう。元気で町のためまだまだがんばってください。困ったことがありましたら、町議さんに頼みますので、そのときはよろしくお力添えください。老女より。
望洋台前の国道がガタガタなので直してほしい。

医療についてなど

意見
医療体制の充実を！
コロナに感染したとき、医療費を町で少しでも助成してくれたら助かります。

意見
町立病院について、職員の質の改善、受付順番は大事ですが、より体調の悪い患者を待たせることがあり、改善してほしい。何時間も待たせて「お待たせしました」「大丈夫ですか」など声かけがなく、医師も患者待たせて休憩に行くなどもってのほか。受診したいと思えないので釧路まで受診している。町民にとって医療は重要と思うので改善してほしいです。
町立病院、整形、どうですかと聞かれるので話すけど、薬ばかり増やされて、副作用があると言われ怖くて飲んでいません。痛いと言っても薬増やされるだけで、診察1〜2分、薬もらうのに1時間、それをなんとかしてほしいし、応援券はとってもうれしいし助かりますが、医者をもっとかしてほしい。そのために金を使っしてほしいと思います。長寿社会なのだから、私たちみたいに中途半端の年齢では、何も出来ずに痛い足を引きずり病院に行っています。そんなことも見てほしいと思います。介護保険の年にならなくても、まだ大変な人がいると思います。もう少し視野を広げてほしいと思います。毎日が大変です。
町立病院の診療体制、もう少し総合的にみられるようになるといい。
医療が全然充実していきなくすごく不便。

災害・防災についてなど

意見
釧路沖の巨大地震が起きると言われていますが、津波がきたら役場が飲み込まれたらまちが機能しなくなるのではないかと不安になります。
床潭の避難所、とくに高島食品裏山の方は老朽化しているようだし、高齢者も多いなかで階段を上がるのは難しいように思います。階段を上がった後、今ある小屋1つでは、みんなはなかに入れないし、避難所として機能してないのでは？生死にかかわることなので、早急に改善を求めます。
厚岸町のお風呂（銭湯）はどう考えているのでしょうか？津波などの災害で階段ばかりでは年寄りには無理です。
真龍側で洪水などで通行止めの場合は、本町川の厚岸大橋の下でも通行止めをするべきだと思う。橋を渡ってからでは遅い（車が塩水で壊れるため）。
町内の通行止め情報は早く知りたい。特に厚岸大橋付近の洪水の時など。
防災無線の放送はできるだけ重要なことだけにしてほしい。本当の防災のみで。
津波時の避難先が遠すぎる。本町はあの階段はあがるのが大変無理だと思います。
しんりゅう保育所の地震、津波の避難場所の低さが心配です。高くする対策をお願いします。
雨が降ると排水がうまくいかない地域の工事進めるべき。
津波対策の避難場所の整備を強化して欲しい。
津波対策事業の推進
いつかくる大地震、大津波に向けて、町民全体、役場全体で取り組みを強化した方が良い。いまそれが起きたらどうすればいいのかみんなわからない。

その他

意見
動物（犬や猫）にもやさしいまちになってほしい。愛護センターなど。
野良猫や野犬の取り組みをもう少しきちんとしてほしい！命のある動物たちを助けてほしいです。

意見
ふるさと納税額が管内市町村より低いことも気になります。もっとあれば、いろいろなことに活用できるのでは？
役場職員の住居手当について、なぜアパート暮らしで手当が出るのに、持ち家は手当が出ないのか意味が分からない。永住する人に対する誠意が感じられない。
町民文化祭に町職員、町議会議員の出場を期待する。
「豊かな海の大会」と言うけれど、内容的にはなにもわからないです。どんなことをするんですか？
事業者が事業停止、廃業した場合、建物の固定資産税等の免除をしていただきたい。
若者に優しくしてください。もちろん高齢の方にもね。
農林水産への支援対策は多いが、商工業については非常に少ない。支援格差の是正が必要。
職場での収入格差をどうにかしてほしいです。
最近の国会でマイナ総点検等でなんの不自由なく解決すると発表しておりますが、これは国が総点検〇〇言って国民に説明されるが、これは無理な説明である。私たち町民からもっと時間が必要とするので、延期するか撤回を望む。
しっかりやってほしい。
私の家族は厚岸へきてちょうど 50 年になりました。大橋が出来た年です。2 年前に主人が亡くなりました。子どもたち、息子は今警視庁本庁で、娘は札幌の警察と二人とも遠いので私一人でがんばっております。今は 1 週間に 1 日だけデイサービスにお世話になっております。みなさまによくしていただき、とても感謝しております。
夏祭りは、連休にやるべきだと思う。今年だと 14～16 日がベストだったと思う。継の日が学校だと休む子供が多いため。継の日仕事の大人も大変だと思う。
物価高のあおりで生活が苦しくなってます。そんな中まちでがんばろう券などの発行はありがたいと思っています。町職員の方の対応も親切でわかりやすく説明していただけるので助かってます。
税金が高いので負担が大きい。商品券はありがたいのでもっと増やしてほしい。
水道代が少し高い気がします。
外国人労働者について。高齢化による就業人口の大幅な減少は目前。外国人労働者に対する政策を総合計画で明確にすべき。
オソ 18 を早く処分してほしい。まったく本気度が感じられない。物価高対策をしてほしい。国と政府はまったく信用、信頼できない。国と政府にガンガン言ってほしい。国の政治家は全然つかえない。仕事できる人間がいない。どんどん国と政府を突き上げてほしい。絶対許せない。
太田小中は廃校にしてよい。子どものため、地域のため、厚岸のため。
他市町村より町の行事が少なすぎる。なんとか町民を盛り上げることをたくさんする事を望む。
女性の参入が必要不可欠。
花火大会について、厚岸大橋、弁天島あり、かんこうしてやれないものか。厚岸草（サング草）の方は一生懸命やっているのはよくわかります。必ず成功してください。厚岸のためになると思います。
観光について港祭り等盛り上がりがいまいち足りないと感じた。町の明るさや、出店等が少ない点。
イベントが少ない気がする。厚岸のよさを知ってもらえるイベントを増やしてもいいんじゃないかと思います。
ゴミについて、燃えるの回収が 1 週間に 2 回、資源ゴミの回収は祝日もしてほしい。

意見
まちのうわさ。・コンキリエの近くにある業者がホテル建設希望したが町は断った。・厚岸町で事業を始めた方が町から断られた。
昆布漁の陸回りさんがいないので、昆布漁を辞める人や2人乗りから1人乗りに変更しなければならない人が近年多くみられます。働く人が確保できず困っている人のために、何か対策を考えてほしいです。
港町のあたりがくさい。工場からのかな？
ゴミのポイ捨て。大通りは花を植えたり綺麗ですが、路地（大橋も）などすごく汚いです。モラルの問題です。
ゴミの分別が厳しいと思う。分別方法を緩和して、もっと町民が処理しやすいようにしてほしい。
介護保険料の金額差はどこからくるのか。120万未満が80,350円 6.7%、500万以上が117,180円 2,34%、収入の違い4倍強なのに差がない。高所得の優遇なのではないか！税務課に行っても説明できない！
今、厚岸町が行っている支援に該当していない人にも、しっかりと支援される体制をとってほしい。町民一人一人が困っている時に、お金の支援などいろんな支援を受けられる体制をしっかりとってほしい！自分是对象外だったが、次の年には自分と同じ条件の人が、支援の対象になっていて不平等だと思った。応援券をこれからもたくさん発行してほしい（年に何回も）。三千名の意見を集約するのは大変だと思うが、しっかり町民の意見をきいてほしいと思う。これからも厚岸のためにがんばってほしい！
湖北地区は駅前から大橋までの間、歩道に花壇がつくられ綺麗に彩られているが、湖北側は殺風景で空地が目立ってきている。町に人の流れができるにはどうしたらいいか！国泰寺や正行寺、アイヌの人々の昔の生活など、歴史を振り返ることや、新規喫茶店の誘致などできないだろうか。様々なアイデアに期待しています。
少子高齢化対策。結婚について、道内、道外問わず、女性を移住PRを行う。結婚したい男性と会わせる。お見合い大作戦、厚岸は人が減るばかり。今より人口減は非常に危ないと思う。
人口減少対策が最も重要な課題であると考えています。街の活気を取り戻し子育て世代への経済的な支援を充実させていただければ、若者の流出を食い止めることができるのではと考えています。これからの世代が暮らしやすい町にしていきたいです。
都心の企業に勤めながら、厚岸からリモートワークで働いています。実際に生活してみて、殆ど不便なく生活でき、厚岸がとても魅力的な町である方を実感した。しかし、厚岸のことをよく知らない方に、なかなか「住む」という選択をしてもらうには、外部に出ている情報が少ないように思います。少子高齢化で町の人口はどうしても減ってってしまうため、今後より移住者が増えるよう、積極的に情報発信をしていくべきだと感じています。
①少子化対策に力を入れてほしい。②公務員の方々から率先してボランティアを。③つくっても利用しない箱物、不備な設備が多すぎる。
観光客をもっと呼べる施設をもっとつくるといいと思う。せっかく海があるのだから、海の近くにカフェや遊べる場所があると、町民の人も楽しめそう！もっと他の町を検索して、今なにが流行っているか見てほしい。あと、桜、カキ祭りとかキ祭の期間長くないですか？土日でよくないですか？長々とやって出店出している人だけ儲けているって…。だから町民はカキまつりいいかないんですよー。その時期のカキは高いし、ぼったくってる！利益あるのは出店出してる人だけでは、町は利益あるんですか？町民は無関心では！

意見
門静一丁目の集落の出入り口が一カ所しかないので、心和園の裏側とつなげて2ヶ所にしたほうがいい。
厚岸町は仲いいほうですか？この頃は人と話しづらい。コロナのせいだけでしょうか？住みづらいまちだと思うのは自分だけか？一部分の人たちはいいかも。心の弱い人大勢いると思うけど気のせいかもしれない。戦争だけはやめてほしい。なにも残らないのに。人ごとなのかな皆さん…!!??
宮園に住んでいますが、今年の5月以降、雑品屋の騒音がうるさすぎて困っています。気候や自然環境がよくすごく気に入っていたのですが、その業者は国道沿いにあり、景観も悪く大変失礼かと思いますが、ごみの山のように見えて不快です。
買い物する場所も少なく不便。働きたくても働く場所が少なく求人も少ない。
毎月人口が減って、若い人が少ないのに、まちづくりなんて出来るのでしょうか？町長は長くやりすぎて、そろそろ変わってください。このまちは住みにくいです。特に受けられない医療科目があり、釧路に行くのは大変です。
人口が減っていることに不安があります。若者が働ける場所、進学後戻れるようなまちづくりをしてほしい。また、今いる町民が過ごしやすいまちづくりをしてほしい。
厚岸に住んでいる人は、厚岸が好きで、よくしようと思ってる人が多い。子供からお年寄りまで安心して暮らしたいと思っている。役場の人は忙しい中、色々やってくれてると思う。若者が街を出て行かざるを得ないのは、働く場所がないから。厚岸はアパートの家賃もかなり高い。公住に入りたくても入れない。申し込んでも、すぐには入れず、ちゃんと、相手の立場にたって考えてもらえてないように感じる。雇用をしっかりとしないと、どんどん人口は減るばかりで不安しかない
人口の減り方が急激であり、対策が急務と感じる。厚岸のいいところ（子育て支援対策など）をもっとアピールして移住者を増やすなどの施策も必要ではと思います。
厚岸町の人口が毎年減少しております。なかなか難しい取り組みではありますが、他町村の取り組みも参考にしながら、働く場所、住居等の確保に取り組んでほしい。さみしいまちにしないでほしい。
人口を増やしていきたい。
働ける場所をもっと増やしてほしい。このままではどんどん人が減っていくと思います。
厚岸町内で車の運転免許更新（高齢者更新）ができるといいです。
厚岸町はなにがしたいの？スローライフでもいいんじゃない。なにをやってもまちを出て行く人は出てくから。
税金を無駄遣いしないでほしい。観光も大切かもしれないが、第1次産業の発展に力をいれてほしい。町長いつまでもお元気でいてください。
非課税世帯やひとり親家庭ばかり援助しないでほしい。納税者がお金を使うことで経済はまわります。地域おこし隊等、外部の意見を聞くが、地元の意見にも耳を傾けるべきだ。
人員と財源の確保を頑張ってください。
早朝深夜帯に開いている飲食店が欲しいです。
パワハラなど仕事のトラブルについて気軽に報告できる窓口があればいいと思います。
家族みんなで過ごせる大きな公園や温泉施設を作してほしい。
ウィンターフェスティバルやお祭り等大人からこどもまで楽しめるイベントがあって良い町だだと思います。これからもこういったイベントを続けてもらえたらと思います。

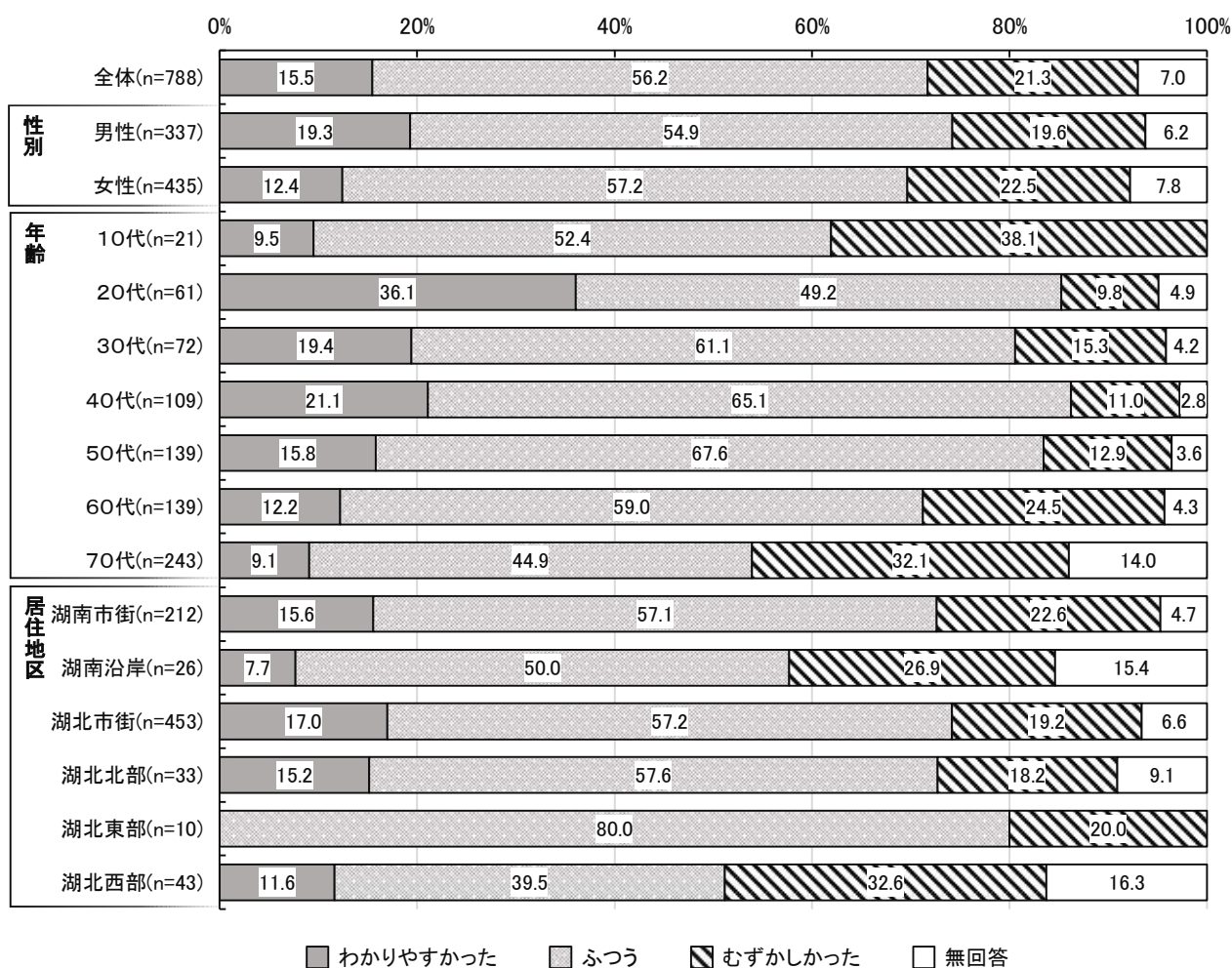
意見
厚岸大橋での歩くイベントが楽しかったのであいった町主催の家族で体を動かして楽しめるイベントがもっとあれば嬉しい
タクシーの夜8時終了は論外。最終JRの利用もできない。観光客不在の考えです。居酒屋店主などに高齢者が多いが、今後の検討が必要です。個人に任せていて良いのでしょうか。また、道の駅観光客や車中泊者の飲食店への取り込みを考えるべきです。その他、観光振興のため、温泉施設や宿舎施設の立地を考えるべきです。
生活応援券などの配布は素晴らしい!ありがたい!これからも続けて欲しい!お願いします。活性化に間違いなく貢献してる。他に自慢出来る。
若者でも遊べるようなところを作って欲しい、その分告知をすれば人も集まりやすくなりそう。厚岸町のCMの意味わからないから変えてほしい。

問19 最後に調査票全体に関する感想をお知らせください。(1つに○印)

調査票全体については、「わかりやすかった」が15.5%、「ふつう」が56.2%、「むずかしかった」が21.3%となっています。

属性別にみると、性別では、「わかりやすかった」では、男性が19.3%で女性よりも割合が高くなっています。年齢別では、「むずかしかった」では、10代が38.1%で他の年代に比べて割合が高くなっています。居住地区別では、「ふつう」では、湖北東部が80.0%で他の地区に比べて割合が高くなっています。

【調査票全体について】



8 標本誤差（参考）

統計調査のなかで、調べたい対象全体を調べる（悉皆調査）のではなく、標本すなわち調査対象である世帯や個人、施設などを一部抽出・選定して実施される調査を標本調査といいます。この標本調査では、調査した対象が、全体とは必ずしも一致しないことに起因する標本誤差というものが存在します。すなわち、標本調査の結果として統計表などに示されている結果数値は、この標本誤差を含んだものとして見る必要があります。

標本誤差は、無作為標本調査による推計結果値が真の値からどのくらい離れているかの幅を示す数値です。

無作為抽出により実施した標本調査では、推計値の前後にそれぞれ標準誤差の2倍の値をとると、真の値は約 95 パーセントの確率でこの幅の中にあるといえるという性質があります。

誤差の大きさは、抽出の方法（無作為抽出の方法という意味）や調査対象とした集団の性質など、様々な要因により影響を受けますが、最も関連性を持つのが「標本数の大きさ」、すなわち、調査の客体としたサンプル数です。例えば、同一の調査、同一の項目においては、サンプル数が多い程標本誤差は小さくなり、逆に、サンプル数が少ない程標本誤差は大きくなります。

一般的には、標本誤差を小さくするようにしたほうが、推計値の精度が上がることから、標本誤差の観点からは、サンプル数を増やして調査を行うほうが望ましいこととなりますが、サンプル数が増加すると調査の手間や経費などが増加するため、むやみにサンプル数を増やすわけにはいきません。

従って、サンプル数の決定は、誤差の大きさとコストなどとの兼ね合いということになります。その標本調査の推計値の標本誤差をどの程度におさめて、サンプル数をいくつにするかというのが、標本調査の企画における重要な部分になりますが、これを「標本設計」と呼んでいます。

標本誤差は下記の式で得られ、①比率算出の基数（n）、②回答の比率（p）によって誤差幅が異なります。

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{p(1-p)}{n}}$$

N=母数集団（厚岸町の 15 歳以上人口）

n=比率算出の基数（回答者数）

p=測定値

そこで、アンケートの母数集団（令和5年7月の15歳以上人口）7,474、サンプル数 3,000、有効回答者数788、回収率は 26.3%であり、これを上式にあてはめての標本誤差について計算すると、

測定値(%)	信頼区間の 1/2 幅(%)
50	3.4%
45・55	3.4%
40・60	3.3%
35・65	3.2%
30・70	3.1%
25・75	2.9%
20・80	2.7%
15・85	2.4%
10・90	2.0%
5・95	1.5%

となり、すべての区間において誤差率は4パーセント以内に納まっています。

この表の使い方は、ある設問に対しての回答が 50%であったとすると、測定値 50%の 1/2 幅は 3.4%ですから、同じアンケートを対象者全数に行っても、46.6～53.4%の間で回答が得られるということを示しています。